

宇土市 新型コロナ対策二一ズ調査
【調査結果報告書】

令和3年3月

宇土市 企画部 企画課

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	2
2	調査の実施要領	2
(1)	市民調査	2
(2)	企業調査	2
(3)	学校調査	2
3	調査結果利用上の注意	3
II	調査結果総括	5
1	市民意識調査による事業効果	6
(1)	市民調査	6
(2)	企業調査	7
(3)	学校調査	8
2	事業効果分析	9
(1)	市民調査	9
(2)	企業調査	10
(3)	学校調査	10
3	ニーズ比較（自粛期・現在・今後）	11
(1)	市民調査	11
(2)	企業調査	12
(3)	学校調査	13
III	市民向け調査	15
1	回答者について	16
2	国の交付金を活用した市の取組について	26
(1)	感染拡大の防止のための事業	26
(2)	地域経済を支援するための事業	47
(3)	社会生活を維持するための事業	63
3	日常生活における困りごとについて（ニーズ調査）	78
4	感染予防について	85
5	感染予防や新たな生活様式などに関する意見やアイデア等	87
IV	企業向け調査	93
1	貴社の概要について	94
2	国等の各種支援策について	101
3	国の交付金を活用した市の取り組みについて	108

4	企業経営における困りごとについて（ニーズ調査）	133
5	感染予防や新たな生活様式などに関する意見やアイデア等	139
V	学校向け調査	142
1	児童・生徒の状況について	143
2	国の交付金を活用した市の取り組みについて	145
(1)	感染拡大の防止のための事業	145
3	学校における困りごとについて（ニーズ調査）	151
4	感染予防や新たな生活様式などに関する意見やアイデア等	154

I 調査の概要

1 調査の目的

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業について効果検証を行い、感染防止と地域経済、市民生活の回復とのベストバランスを実現する事業を検討することを目的に、市民・企業・小中学校に対しニーズ調査を実施しました。

2 調査の実施要領

(1) 市民調査

調査時期	令和3年1月～2月
調査対象者	市内在住の20歳以上の方及び制度利用者より無作為抽出（令和2年12月17日現在）
調査方法	郵送による配布・回収
配布数	2,400件
有効回収数	1,394件
有効回答率	58.1%

(2) 企業調査

調査時期	令和3年1月～2月
調査対象者	市内に所在する企業（支店含む）より無作為抽出（令和2年11月27日現在）
調査方法	郵送による配布・回収
配布数	300件
有効回収数	172件
有効回答率	57.3%

(3) 学校調査

調査時期	令和3年2月
調査対象者	宇土市立小中学校
調査方法	郵送による配布・回収
配布数	10件
有効回収数	10件
有効回答率	100.0%

3 調査結果利用上の注意

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- グラフ中の回答割合について、グラフが繁雑になる場合は省略している場合があります。

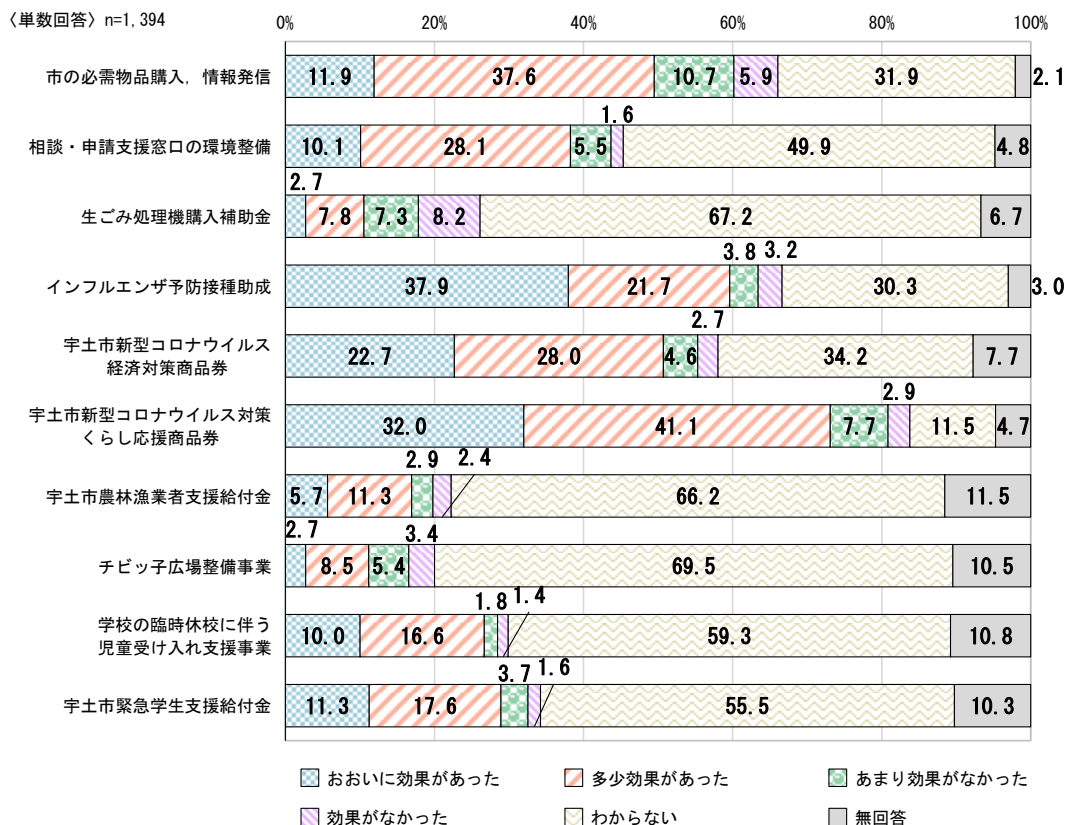
Ⅱ 調査結果総括

1 市民意識調査による事業効果

(1) 市民調査

◇「インフルエンザ予防接種助成」、「宇土市新型コロナウイルス経済対策商品券」、「宇土市新型コロナウイルス対策くらし応援商品券」については、効果があった（「おおいに効果があった」+「多少効果があった」）との回答が半数を超えており、特に市民が効果を実感していると思われる事業です。

◇「生ごみ処理機購入補助金」、「宇土市農林漁業者支援給付金」、「チビッ子広場整備事業」については、「わからない」の回答が6割を超えており、事業の周知・改善が必要です。



インフルエンザ予防接種助成：6か月児～高校生相当・妊婦・60～64歳・高齢者を対象に、個人負担額が1,000円になるよう予防接種費用の助成

宇土市新型コロナウイルス経済対策商品券：市内店舗で利用できる商品券を、高校生以下の子育て世帯に1万円、うち就学援助費受給対象世帯・児童扶養手当受給世帯には2万円を加算して給付

宇土市新型コロナウイルス対策くらし応援商品券：市内店舗等で利用できる商品券を、全世界帯に1人5千円給付

生ごみ処理機購入補助金：外出自粛で増加した家庭から出る生ごみを熱・乾燥処理し、ごみを媒体とした感染拡大を防ぐため、生ごみ処理機の購入費を3/4（上限6万円）補助

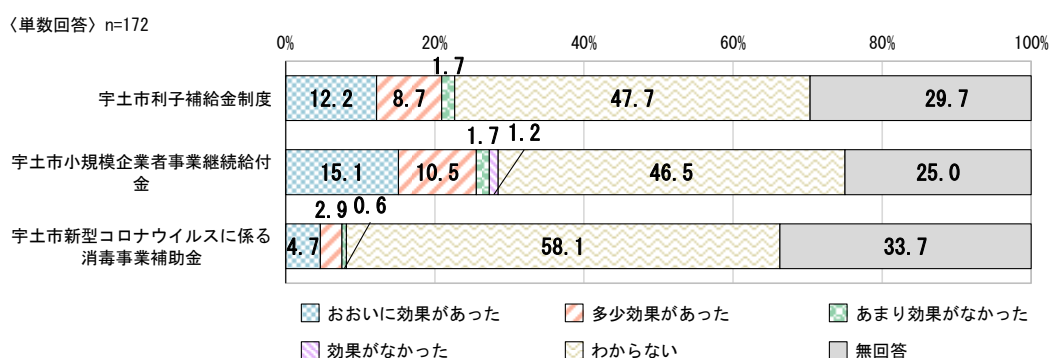
宇土市農林漁業者支援給付金：新型コロナウイルス感染症の影響を受けている農林漁業を営む個人・法人に対して、上限20万円の支給

チビッ子広場整備事業：外出自粛や子どもの遊び場の減少に伴い、子どもの居場所や遊び場を提供するため、チビッ子広場の遊具を設置

(2) 企業調査

◇「宇土市利子補給金制度」,「宇土市小規模企業者事業継続給付金」,「宇土市新型コロナウイルス対策くらし応援商品券」については,効果があったとの回答が2割以上ですが,「わからない」の回答は,約半数と高くなっており,事業の周知・改善も必要と思われます。

◇「宇土市新型コロナウイルスに係る消毒事業補助金」については,効果があったとの回答も他事業と比べ低く,「わからない」の回答が半数を超えており,事業の周知・改善が必要です。



宇土市利子補給金制度：中小企業が新型コロナ関連の制度融資を利用した場合，最大3年間100万円まで利子補給を行う

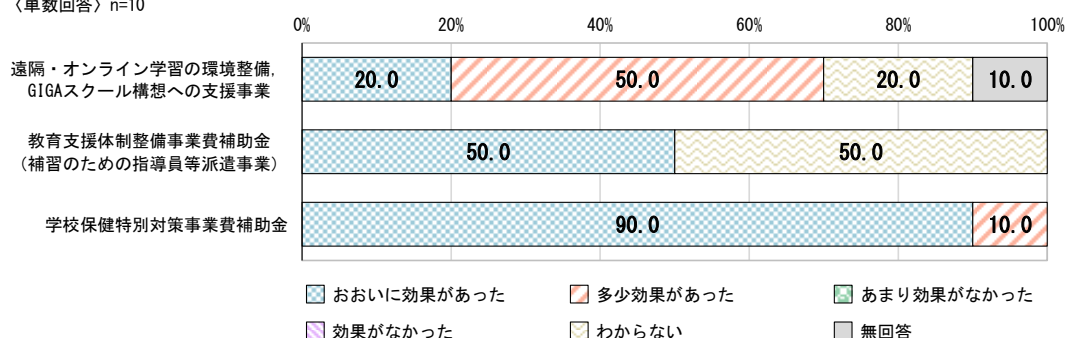
宇土市小規模企業者事業継続給付金：同月の売上高がR1年と比較し50%以上減少した場合，30万円（賃料がある場合は35万円）給付

宇土市新型コロナウイルスに係る消毒事業補助金：感染者が訪問した事業所の消毒作業の1/2（上限50万円）を補助

(3) 学校調査

- ◇「遠隔・オンライン学習の環境整備,GIGA スクール構想への支援事業」についても7割が、効果があったと回答しています。また、「学校保健特別対策事業費補助金」については、10校中10校が、効果があったと回答し、高い効果があった事業だと思われます。
- ◇「教育支援体制整備事業費補助金（補習のための指導員等派遣事業）」については、半数が、効果があったと回答していますが、分からないとの回答も半数あることから、事業の改善も必要だと思われます。

〈単数回答〉n=10



遠隔・オンライン学習の環境整備, GIGAスクール構想への支援事業：生徒や指導者用のコンピュータ, デジタル教科書用学習用サーバの購入, GIGAスクールサポーターを配置し, ICTを活用した学習環境の充実を図る

教育支援体制整備事業費補助金（補習のための指導員等派遣事業）：児童生徒の学びの保障のため, 臨時休業による未指導分の回復措置期間【夏季（7月22日～23日, 8月17日～28日／冬季12月25日／1月6日～7日）】に, 本来配置できなかった学習支援員(市会計年度任用職員)について, 交付金を活用し, 小中学校に追加配置を行う

学校保健特別対策事業費補助金：フェースシールドや消毒液, 非接触型検温器等の新型コロナウイルス感染症対策用品の購入や児童生徒の学びの保障のための体制整備の予算を学校に配分することにより, 安心して児童生徒が学習できる体制を整備

2 事業効果分析

事業ごとの効果を比較するために、以下のとおり数値化して分析しました。

「おおいに効果があった」を2点、「多少効果があった」を1点、「あまり効果がなかった」を-1点、「効果がなかった」を-2点、「わからない」を0点として点数付けを行い、その合計を回答者数で割った平均点数を算出しました。

また、各事業の平均点数を算出し、平均よりも高いものは緑の網掛け、低いものは赤字にしています。

(1) 市民調査

◇概ね、効果があったという回答が多くプラスの点数になっていますが、「チビッ子広場整備事業」は0点に近く、「生ごみ処理機購入補助金」では効果がなかったという回答が多く、マイナスになっています。

◇「インフルエンザ予防接種助成」、「宇土市新型コロナウイルス経済対策商品券」、「宇土市新型コロナウイルス対策くらし応援商品券」については、各事業の平均点を超え、高い点数となっています。

事業	点数
市の必需物品購入、情報発信	0.40
相談・申請支援窓口の環境整備	0.42
生ごみ処理機購入補助金	-0.11
インフルエンザ予防接種助成	0.90
宇土市新型コロナウイルス経済 対策商品券	0.69
宇土市新型コロナウイルス 対策くらし 応援商品券	0.96
宇土市農林漁業者支援給付金	0.17
チビッ子広場整備事業	0.02
学校の臨時休校に伴う児童 受け入れ支援事業	0.36
宇土市緊急学生支援給付金	0.37
平均	0.42

(2) 企業調査

- ◇全事業ともに、効果があったという回答が多くプラスの点数とになっています。
- ◇「宇土市利子補給金制度」、「宇土市小規模企業者事業継続給付金」については、各事業の平均点を超え、高い点数となっています。

事業	点数
宇土市利子補給金制度	0.45
宇土市小規模企業者事業継続給付金	0.49
宇土市新型コロナウイルスに係る消毒事業補助金	0.18
平均	0.37

(3) 学校調査

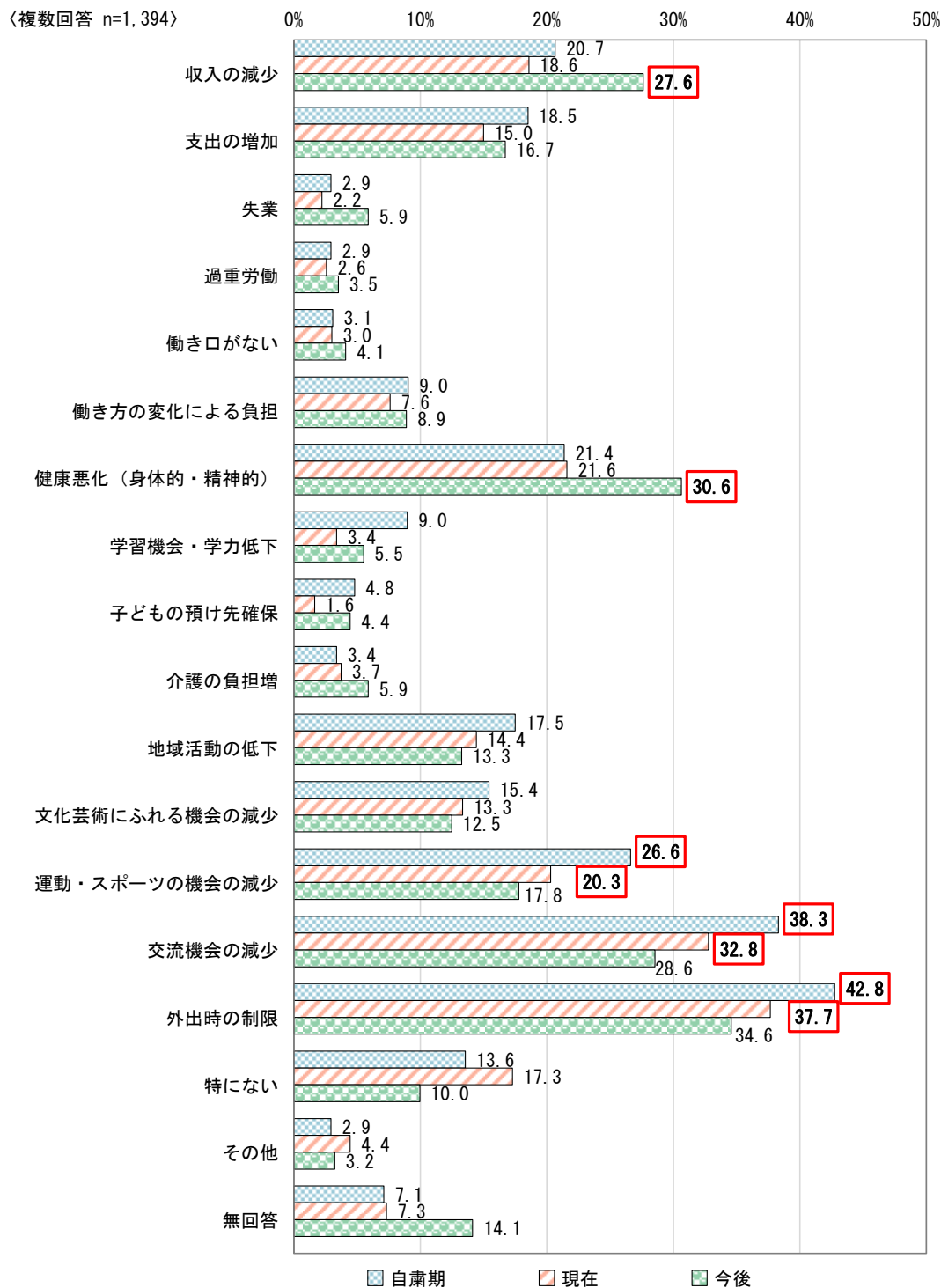
- ◇全事業ともに、効果があったという回答が多くプラスの点数とになっています。
- ◇「学校保健特別対策事業費補助金」については、各事業の平均点を超え、高い点数となっています。

事業	点数
遠隔・オンライン学習の環境整備, GIGAスクール構想への支援事業	1.00
教育支援体制整備事業費補助金 (補習のための指導員等派遣事業)	1.00
学校保健特別対策事業費補助金	1.90
平均	1.30

3 ニーズ比較（自粛期・現在・今後）

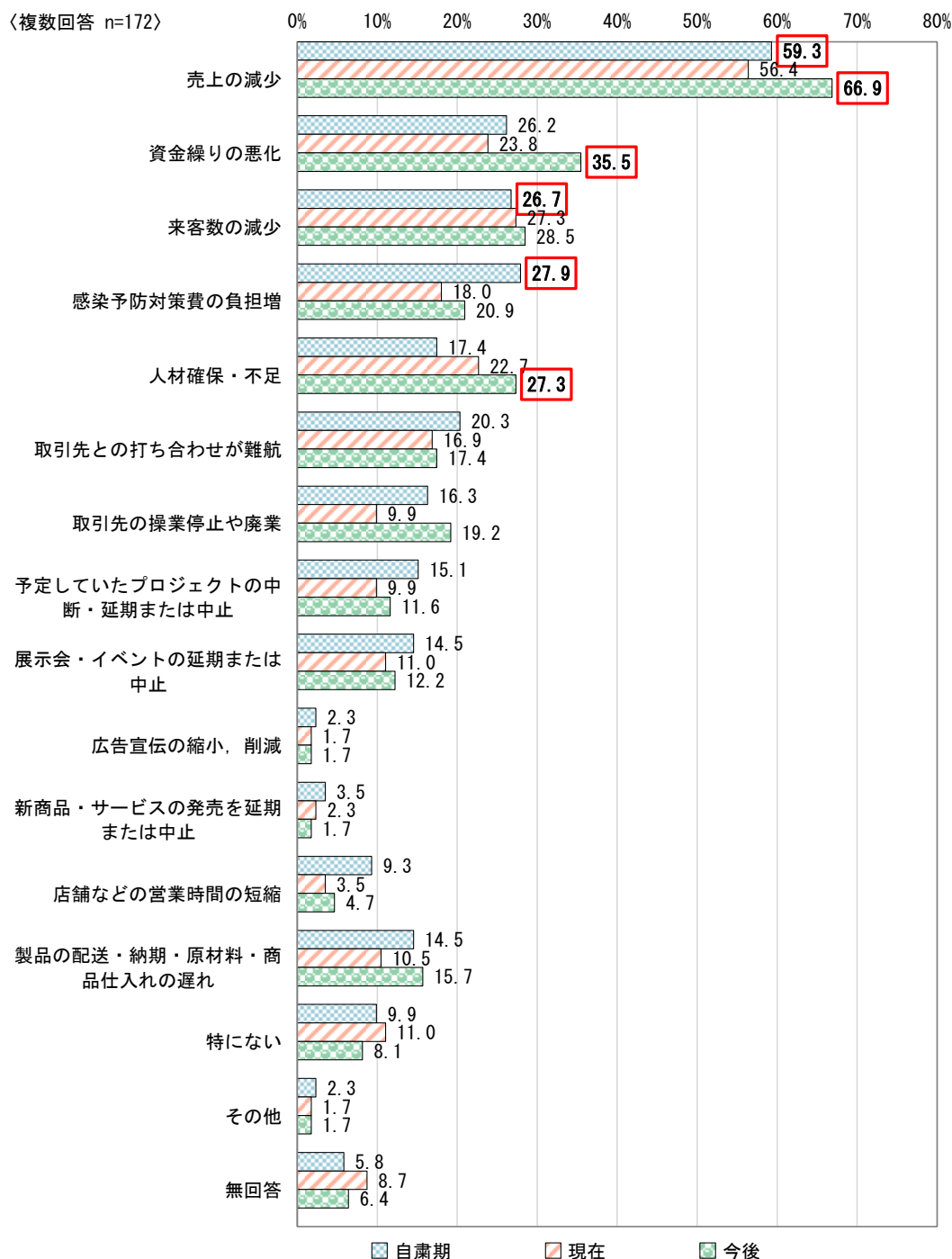
(1) 市民調査

◇自粛期,及び現在では,「外出時の制限」,「交流機会の減少」,「運動・スポーツの機会の減少」などの不安が高くなっていますが,今後の不安として「収入の減少」,「健康悪化（身体的・精神的）」の割合が増えています。



(2) 企業調査

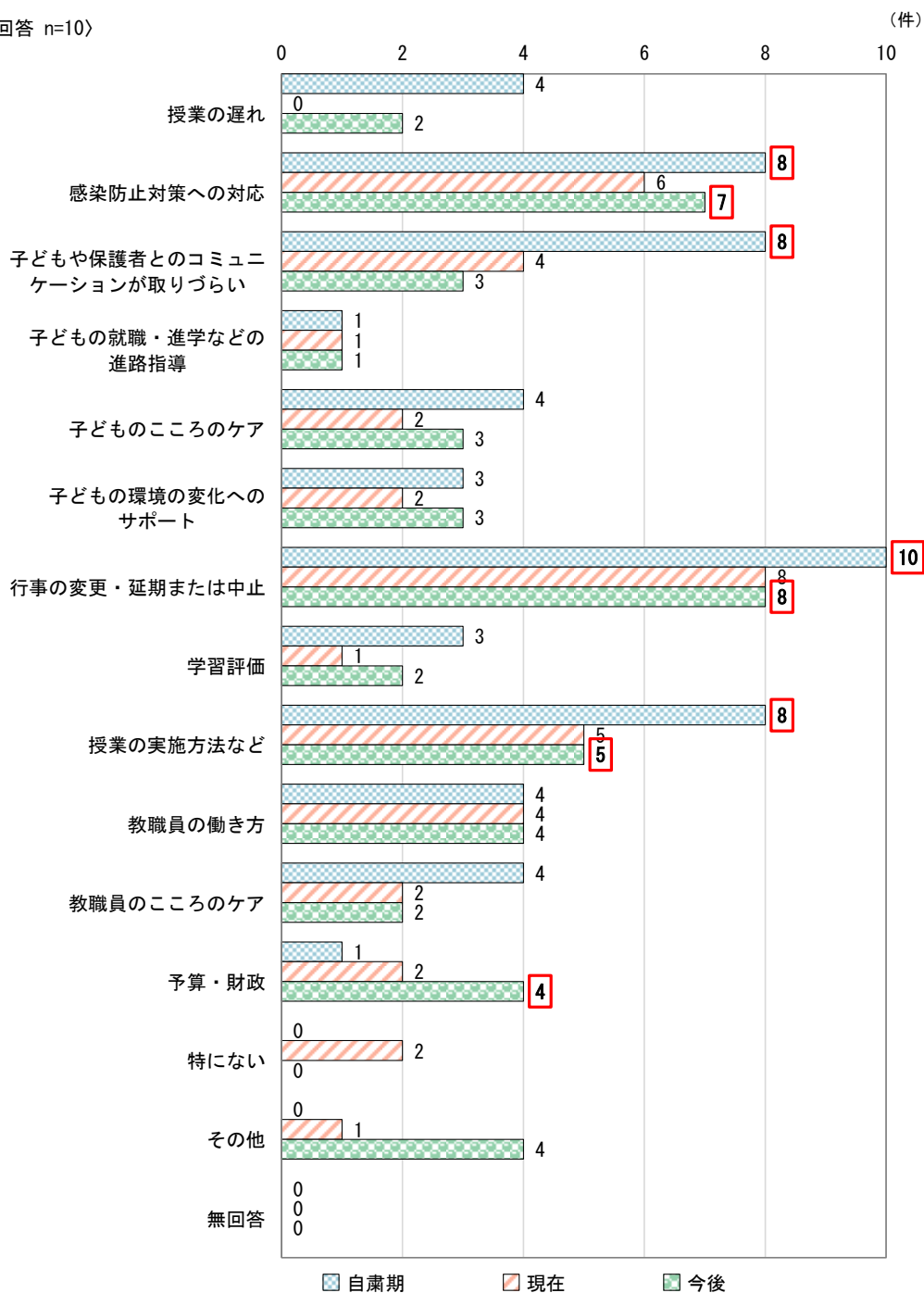
◇自粛期では、「売上の減少」、「感染予防対策費の負担増」、「来客数の減少」などの不安が高くなっていますが、今後の不安として「売上の減少」、「資金繰りの悪化」、「人材確保・不足」の割合が増えています。



(3) 学校調査

◇自粛期では全校で、「行事の変更・延期または中止」が困っているとなっており、「感染防止対策への対応」、「子どもや保護者とのコミュニケーションが取りづらい」、「授業の実施方法など」等も高くなっています。今後の不安として前述の項目に加えて「予算・財政」の割合が増えています。

〈複数回答 n=10〉

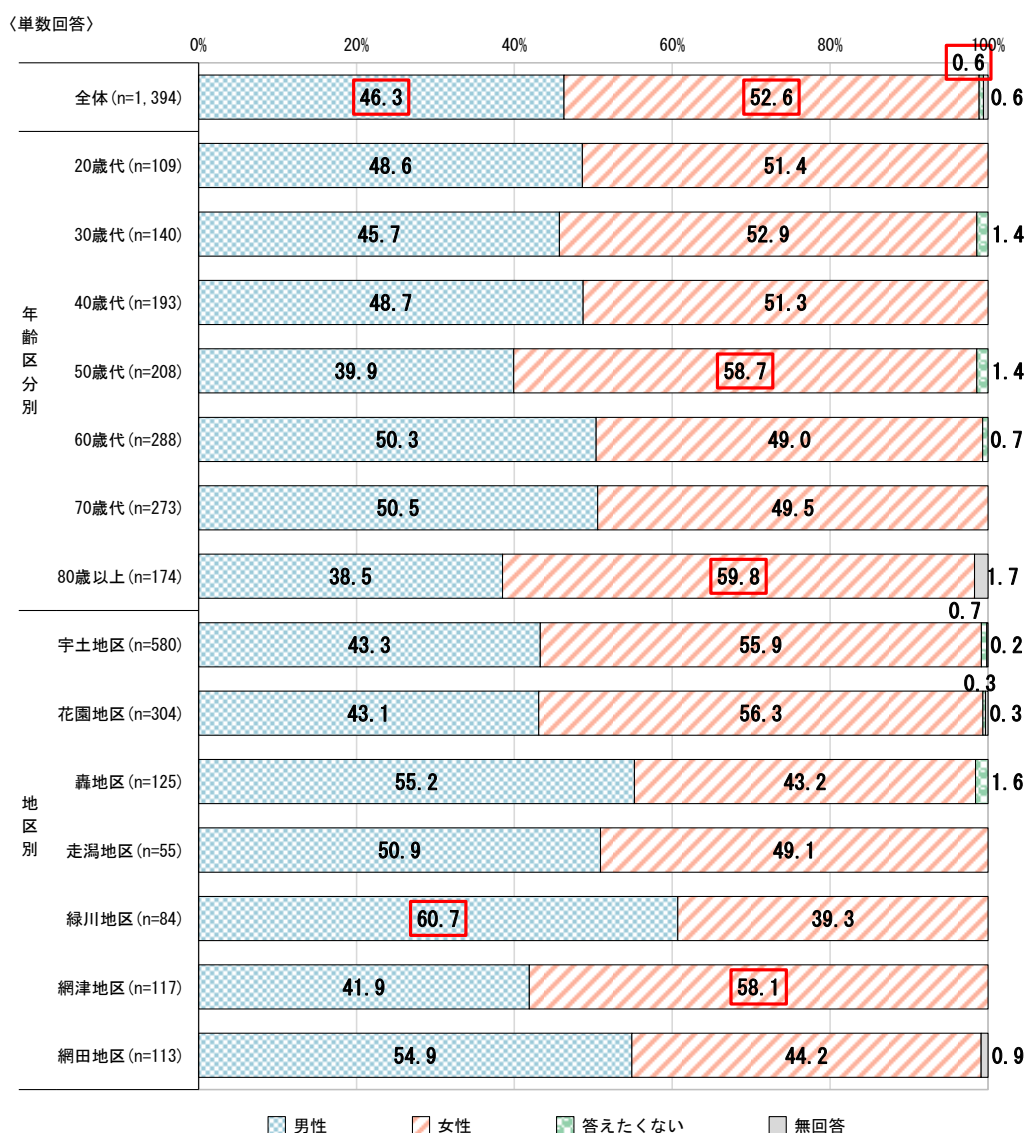


Ⅲ 市民向け調査

1 回答者について

問1 あなたの性別をお答えください。

- ◇ 「男性」が46.3%、「女性」が52.6%、「答えたくない」が0.6%となっています。
- ◇ 年齢区別にみると、50歳代（58.7%）と80歳代（59.8%）では「女性」の割合が高くなっており、その他の年齢区分ではほぼ同じ割合となっています。
- ◇ 地区別にみると、緑川地区（60.7%）では「男性」の割合が、網津地区（58.1%）では「女性」の割合が高くなっていきます。

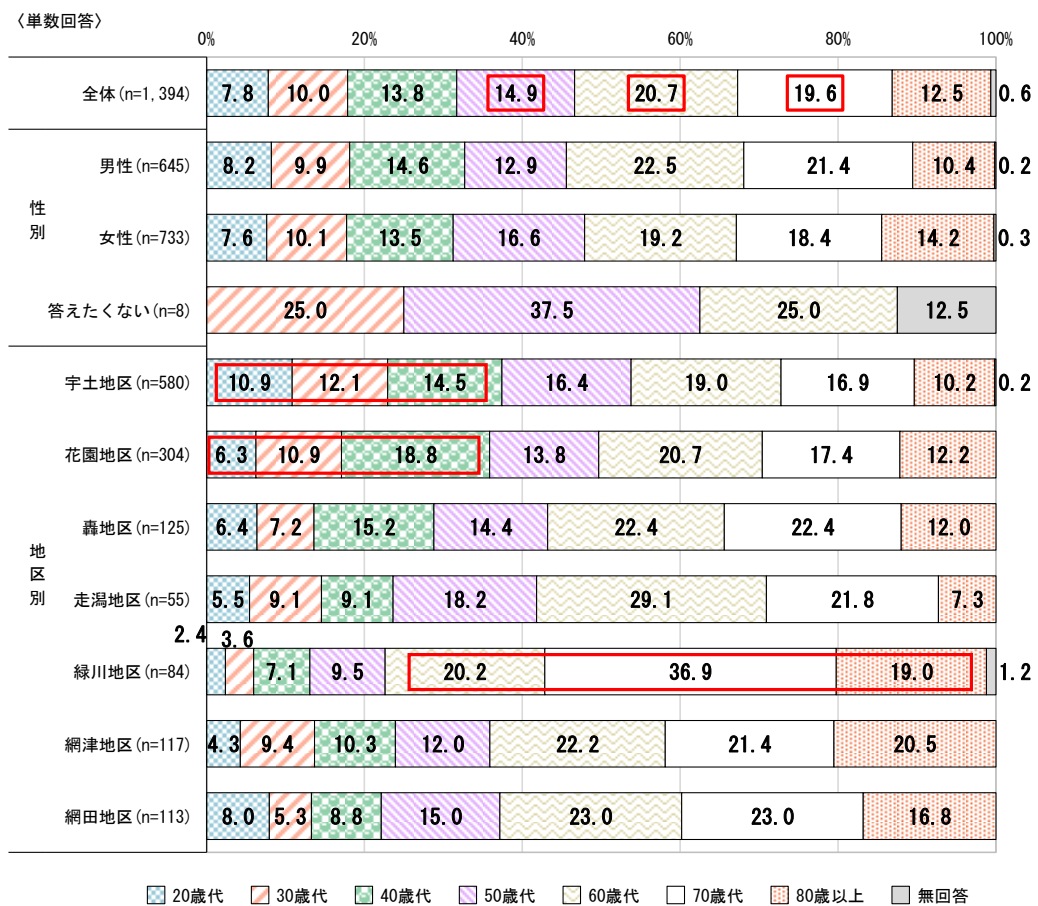


問2 あなたの年齢をお答えください。

◇「60歳代」が20.7%と最も高く、次いで「70歳代」が19.6%、「50歳代」が14.9%となっています。

◇性別にみると、回答者の年代の構成は、ほぼ同じ傾向となっています。

◇地区別にみると、宇土地区（37.5%）と花園地区（36.0%）では40歳代以下の割合がその他の地区より高くなっています。一方、その他の地区では、60歳代以上が半数以上を占め、特に緑川地区では、76.1%と非常に高くなっています。

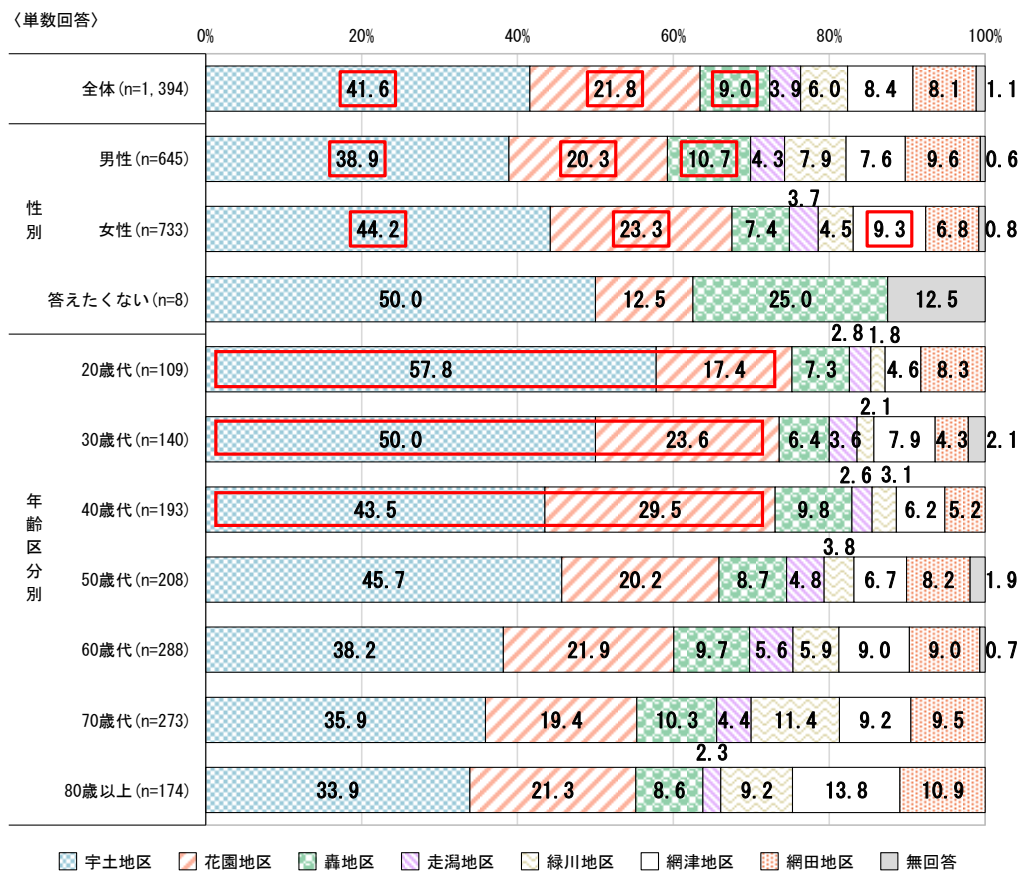


問3 あなたのお住いの地区をお答えください。

◇「宇土地区」が41.6%と最も高く、次いで「花園地区」が21.8%、「轟地区」が9.0%となっています。

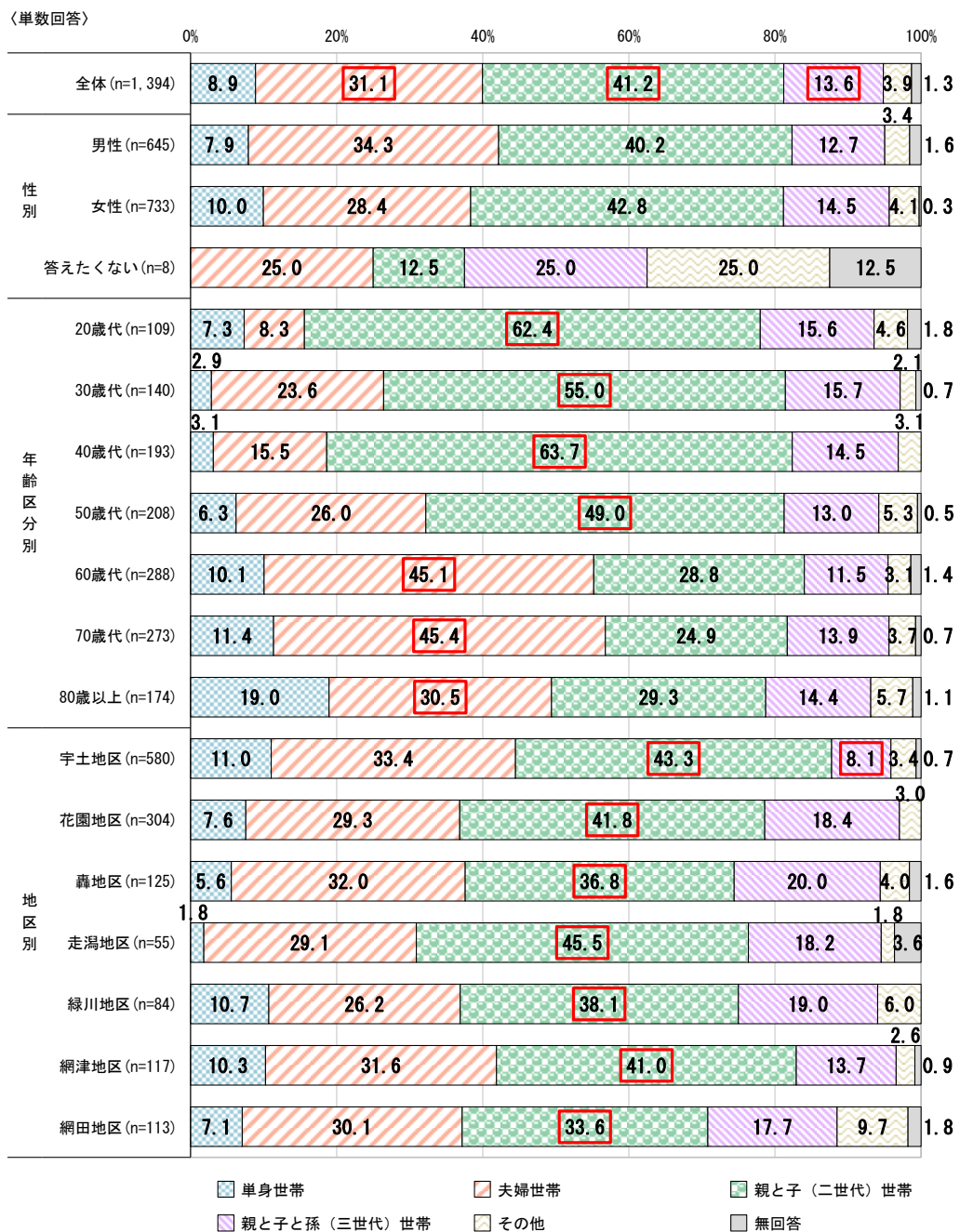
◇性別にみると、男性、女性ともに「宇土地区」、「花園地区」の順に高く、次いで男性では「轟地区」が、女性では「網津地区」が高くなっています。

◇年齢区分別にみると、20～40歳代の若年層は、「宇土地区」と「花園地区」で占める割合が7割を超えています。



問4 あなたの世帯構成をお答えください。

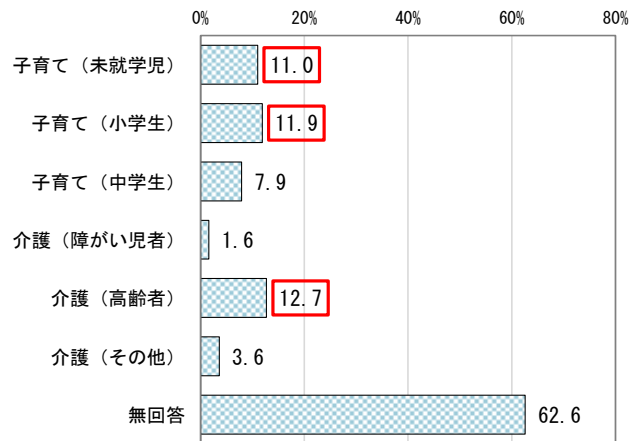
- ◇「親と子（二世代）世帯」が41.2%と最も高く、次いで「夫婦世帯」が31.1%、「親と子と孫（三世代）世帯」が13.6%となっています。
- ◇性別による世帯構成の大きな違いは見受けられません。
- ◇年齢区別にみると、20～50歳代では「親と子（二世代）世帯」の割合が最も高く、60歳代以上では「夫婦世帯」の割合が最も高くなっています。
- ◇地区別にみると、全ての地区において「親と子（二世代）世帯」の割合が最も高くなっています。また、宇土地区では、「親と子と孫（三世代）世帯」の割合が他の地区より低く、特に核家族化が進んでいることが伺えます。



問5 あなたと一緒に暮らすご家族に以下に当てはまる方はいらっしゃいますか。
(当てはまるものすべて選んでください)

◇「介護（高齢者）」が12.7%と最も高く、次いで「子育て（小学生）」が11.9%、「子育て（未就学児）」が11.0%となっています。

〈複数回答〉n=1,394



◇性別にみると、男性では「介護（高齢者）」が最も高く、女性では「子育て（小学生）」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、20歳代、30歳代では「子育て(未就学児)」, 40歳代では「子育て（小学生）」, 50歳代以上では「介護（高齢者）」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

◇地区別にみると、緑川地区と網田地区で「介護（高齢者）」の割合が、他の地区より高くなっています。

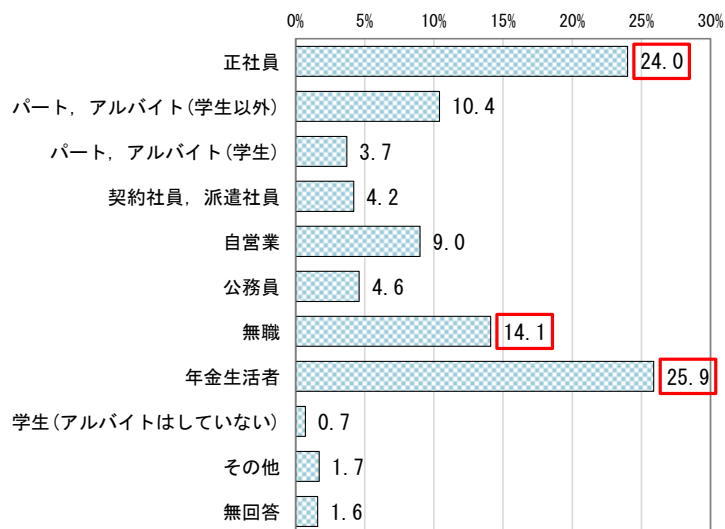
(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	子育て(未就学児)	子育て(小学生)	子育て(中学生)	介護(障がい児者)	介護(高齢者)	介護(その他)	無回答
全体(単純集計)		1,394	154 11.0%	166 11.9%	110 7.9%	23 1.6%	177 12.7%	50 3.6%	872 62.6%
性別	男性	645	68 10.5%	70 10.9%	51 7.9%	13 2.0%	87 13.5%	33 5.1%	393 60.9%
	女性	733	86 11.7%	96 13.1%	59 8.0%	10 1.4%	90 12.3%	17 2.3%	463 63.2%
	答えたくない	8	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%
年齢区分別	20歳代	109	21 19.3%	4 3.7%	4 3.7%	0 0.0%	9 8.3%	0 0.0%	77 70.6%
	30歳代	140	67 47.9%	45 32.1%	16 11.4%	4 2.9%	7 5.0%	3 2.1%	46 32.9%
	40歳代	193	34 17.6%	66 34.2%	52 26.9%	4 2.1%	26 13.5%	5 2.6%	63 32.6%
	50歳代	208	10 4.8%	15 7.2%	14 6.7%	2 1.0%	26 12.5%	7 3.4%	146 70.2%
	60歳代	288	11 3.8%	15 5.2%	5 1.7%	6 2.1%	31 10.8%	13 4.5%	218 75.7%
	70歳代	273	8 2.9%	11 4.0%	13 4.8%	3 1.1%	37 13.6%	14 5.1%	198 72.5%
	80歳代	174	3 1.7%	9 5.2%	5 2.9%	3 1.7%	41 23.6%	8 4.6%	117 67.2%
地区別	宇土地区	580	70 12.1%	68 11.7%	42 7.2%	5 0.9%	62 10.7%	17 2.9%	374 64.5%
	花園地区	304	43 14.1%	53 17.4%	33 10.9%	7 2.3%	39 12.8%	10 3.3%	169 55.6%
	轟地区	125	10 8.0%	13 10.4%	12 9.6%	1 0.8%	18 14.4%	4 3.2%	82 65.6%
	走湯地区	55	4 7.3%	4 7.3%	1 1.8%	1 1.8%	4 7.3%	2 3.6%	43 78.2%
	緑川地区	84	7 8.3%	5 6.0%	5 6.0%	4 4.8%	18 21.4%	10 11.9%	43 51.2%
	網津地区	117	14 12.0%	13 11.1%	10 8.5%	2 1.7%	15 12.8%	2 1.7%	74 63.2%
	網田地区	113	6 5.3%	10 8.8%	7 6.2%	3 2.7%	21 18.6%	5 4.4%	71 62.8%

問6 あなたの主なご職業の就業形態等を次の中から1つ選んでください。

◇「年金生活者」が25.9%と最も高く、次いで「正社員」が24.0%、「無職」が14.1%となっています。

〈単数回答〉n=1,394



〈その他〉※省略

◇性別にみると、男性では「正社員」(32.1%)、女性では「年金生活者」(26.5%)の割合が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、20～50歳代では「正社員」、60歳代以上では「年金生活者」の割合が最も高くなっています。

◇地区別にみると、宇土地区と花園地区で「正社員」の割合が最も高く、その他の地区では「年金生活者」の割合が最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

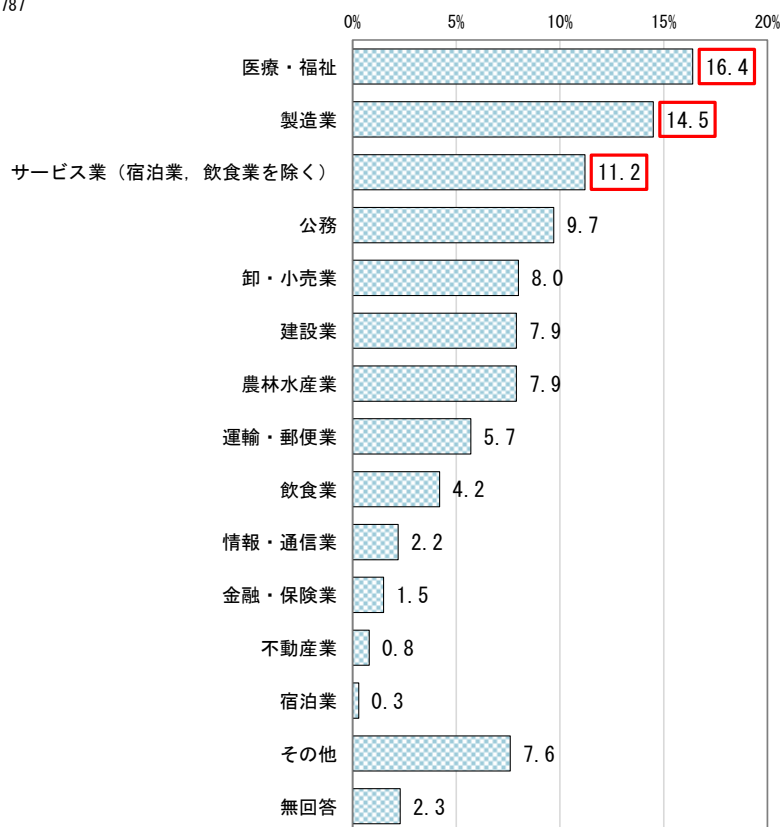
		標本数(人)	正社員	パート・アルバイト(学生以外)	パート・アルバイト(学生)	契約社員・派遣社員	自営業	公務員	無職	年金生活者	い学生(アルバイトはしていない)	その他	無回答
全体(単純集計)		1,394	334 24.0%	145 10.4%	52 3.7%	59 4.2%	125 9.0%	64 4.6%	197 14.1%	361 25.9%	10 0.7%	24 1.7%	23 1.6%
性別	男性	645	207 32.1%	32 5.0%	10 1.6%	27 4.2%	84 13.0%	36 5.6%	61 9.5%	164 25.4%	8 1.2%	10 1.6%	6 0.9%
	女性	733	125 17.1%	111 15.1%	41 5.6%	32 4.4%	41 5.6%	28 3.8%	135 18.4%	194 26.5%	2 0.3%	14 1.9%	10 1.4%
	答えたくない	8	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%
年齢区別	20歳代	109	39 35.8%	9 8.3%	23 21.1%	8 7.3%	8 7.3%	6 5.5%	5 4.6%	0 0.0%	10 9.2%	1 0.9%	0 0.0%
	30歳代	140	80 57.1%	21 15.0%	6 4.3%	4 2.9%	2 1.4%	11 7.9%	12 8.6%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.9%	0 0.0%
	40歳代	193	105 54.4%	29 15.0%	6 3.1%	8 4.1%	15 7.8%	17 8.8%	11 5.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.0%
	50歳代	208	75 36.1%	32 15.4%	8 3.8%	15 7.2%	27 13.0%	21 10.1%	24 11.5%	2 1.0%	0 0.0%	3 1.4%	1 0.5%
	60歳代	288	32 11.1%	43 14.9%	6 2.1%	19 6.6%	29 10.1%	8 2.8%	51 17.7%	87 30.2%	0 0.0%	8 2.8%	5 1.7%
	70歳代	273	2 0.7%	10 3.7%	2 0.7%	5 1.8%	33 12.1%	1 0.4%	61 22.3%	153 56.0%	0 0.0%	3 1.1%	3 1.1%
	80歳以上	174	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	10 5.7%	0 0.0%	33 19.0%	119 68.4%	0 0.0%	5 2.9%	6 3.4%
	地区別	宇土地区	580	158 27.2%	63 10.9%	27 4.7%	20 3.4%	32 5.5%	38 6.6%	73 12.6%	142 24.5%	7 1.2%	16 2.8%
花園地区		304	82 27.0%	34 11.2%	11 3.6%	14 4.6%	17 5.6%	12 3.9%	53 17.4%	75 24.7%	1 0.3%	2 0.7%	3 1.0%
轟地区		125	31 24.8%	13 10.4%	3 2.4%	6 4.8%	12 9.6%	7 5.6%	18 14.4%	32 25.6%	1 0.8%	2 1.6%	0 0.0%
走潟地区		55	15 27.3%	5 9.1%	0 0.0%	2 3.6%	5 9.1%	1 1.8%	7 12.7%	18 32.7%	0 0.0%	1 1.8%	1 1.8%
緑川地区		84	7 8.3%	7 8.3%	1 1.2%	6 7.1%	10 11.9%	1 1.2%	14 16.7%	36 42.9%	0 0.0%	1 1.2%	1 1.2%
網津地区		117	22 18.8%	12 10.3%	5 4.3%	7 6.0%	18 15.4%	3 2.6%	22 18.8%	25 21.4%	0 0.0%	1 0.9%	2 1.7%
網田地区		113	17 15.0%	8 7.1%	4 3.5%	3 2.7%	30 26.5%	2 1.8%	10 8.8%	33 29.2%	1 0.9%	1 0.9%	4 3.5%

●収入を伴う仕事をされている方のみ

問7 あなたの主なご職業の業種を次の中から1つ選んでください。

◇「医療・福祉」が16.4%と最も高く、次いで「製造業」が14.5%、「サービス業（宿泊業、飲食業を除く）」が11.2%となっています。

〈単数回答〉n=787



〈その他〉※省略

◇性別にみると、男性では「製造業」(18.5%)、女性では「医療・福祉」(26.6%)の割合が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、70歳代(21.8%)と80歳代(58.3%)では「農林水産業」の割合が最も高くなっています。

◇地区別にみると、宇土地区、花園地区、轟地区では「医療・福祉」の割合が最も高く、走潟地区、緑川地区、網田地区では「農林水産業」の割合が最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	医療・福祉	サービス業(宿泊業・飲食業を除く)	公務	卸・小売業	製造業	建設業	金融・保険業	飲食業	情報・通信業	運輸・郵便業	不動産業	農林水産業	宿泊業	その他	無回答	
全体(単純集計)	787	129 16.4%	88 11.2%	76 9.7%	63 8.0%	114 14.5%	62 7.9%	12 1.5%	33 4.2%	17 2.2%	45 5.7%	6 0.8%	62 7.9%	2 0.3%	60 7.6%	18 2.3%	
性別	男性	399	27 6.8%	43 10.8%	39 9.8%	23 5.8%	74 18.5%	51 12.8%	4 1.0%	12 3.0%	12 3.0%	38 9.5%	5 1.3%	43 10.8%	0 0.0%	22 5.5%	6 1.5%
	女性	383	102 26.6%	45 11.7%	37 9.7%	39 10.2%	38 9.9%	11 2.9%	8 2.1%	21 5.5%	5 1.3%	7 1.8%	1 0.3%	19 5.0%	2 0.5%	36 9.4%	12 3.1%
	答えたくない	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%
年齢区別	20歳代	94	12 12.8%	10 10.6%	7 7.4%	11 11.7%	14 14.9%	6 6.4%	2 2.1%	11 11.7%	3 3.2%	4 4.3%	0 0.0%	4 4.3%	0 0.0%	9 9.6%	1 1.1%
	30歳代	125	31 24.8%	22 17.6%	12 9.6%	6 4.8%	19 15.2%	8 6.4%	0 0.0%	6 4.8%	0 0.0%	9 7.2%	1 0.8%	2 1.6%	0 0.0%	9 7.2%	0 0.0%
	40歳代	180	31 17.2%	17 9.4%	22 12.2%	8 4.4%	34 18.9%	14 7.8%	5 2.8%	3 1.7%	7 3.9%	9 5.0%	3 1.7%	10 5.6%	0 0.0%	12 6.7%	5 2.8%
	50歳代	178	36 20.2%	9 5.1%	22 12.4%	16 9.0%	27 15.2%	12 6.7%	3 1.7%	4 2.2%	3 1.7%	9 5.1%	1 0.6%	14 7.9%	1 0.6%	17 9.6%	4 2.2%
	60歳代	140	14 10.0%	24 17.1%	12 8.6%	11 7.9%	15 10.7%	17 12.1%	2 1.4%	5 3.6%	4 2.9%	11 7.9%	1 0.7%	13 9.3%	1 0.7%	7 5.0%	3 2.1%
	70歳代	55	5 9.1%	5 9.1%	1 1.8%	9 16.4%	3 5.5%	5 9.1%	0 0.0%	4 7.3%	0 0.0%	2 3.6%	0 0.0%	12 21.8%	0 0.0%	5 9.1%	4 7.3%
	80歳以上	12	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	7 58.3%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%
	地区別	宇土地区	344	56 16.3%	45 13.1%	44 12.8%	31 9.0%	52 15.1%	24 7.0%	5 1.5%	17 4.9%	7 2.0%	12 3.5%	5 1.5%	8 2.3%	0 0.0%	33 9.6%
花園地区		171	35 20.5%	21 12.3%	13 7.6%	14 8.2%	26 15.2%	17 9.9%	3 1.8%	5 2.9%	1 0.6%	12 7.0%	0 0.0%	4 2.3%	2 1.2%	14 8.2%	4 2.3%
轟地区		73	15 20.5%	4 5.5%	8 11.0%	6 8.2%	10 13.7%	2 2.7%	3 4.1%	2 2.7%	4 5.5%	5 6.8%	1 1.4%	8 11.0%	0 0.0%	3 4.1%	2 2.7%
走潟地区		28	4 14.3%	1 3.6%	1 3.6%	2 7.1%	5 17.9%	2 7.1%	0 0.0%	1 3.6%	2 7.1%	4 14.3%	0 0.0%	6 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
緑川地区		32	2 6.3%	0 0.0%	3 9.4%	1 3.1%	5 15.6%	4 12.5%	0 0.0%	1 3.1%	1 3.1%	3 9.4%	0 0.0%	6 18.8%	0 0.0%	4 12.5%	2 6.3%
網津地区		67	9 13.4%	10 14.9%	4 6.0%	3 4.5%	6 9.0%	9 13.4%	0 0.0%	4 6.0%	2 3.0%	5 7.5%	0 0.0%	9 13.4%	0 0.0%	3 4.5%	3 4.5%
網田地区		64	6 9.4%	6 9.4%	3 4.7%	5 7.8%	7 10.9%	3 4.7%	1 1.6%	3 4.7%	0 0.0%	4 6.3%	0 0.0%	21 32.8%	0 0.0%	3 4.7%	2 3.1%

2 国の交付金を活用した市の取組について

(1) 感染拡大の防止のための事業

① 必需物品購入、情報発信についてお伺いします。

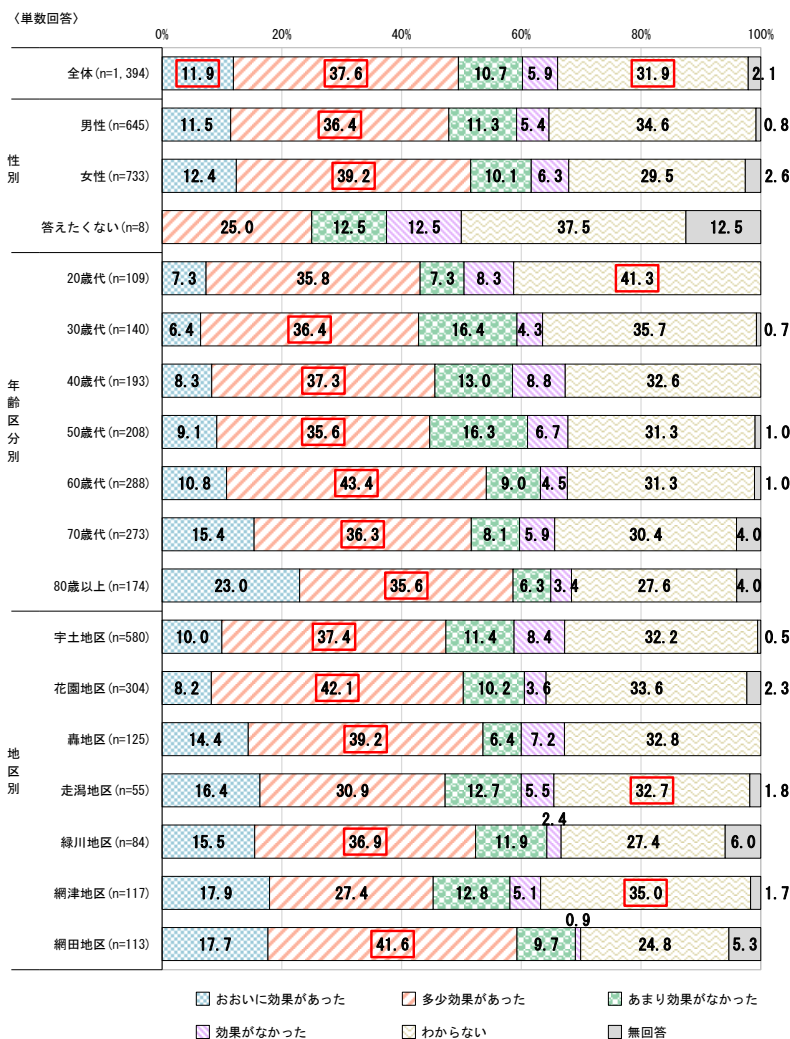
問8 市では、マスク・消毒液等の必需品の購入や公共施設等での配布・設置、新型コロナウイルス感染症に関する情報を発信していますが、効果があったと思われますか。
(いずれか1つに○)

◇全体的にみると「多少効果があった」が37.6%と最も高く、次いで「わからない」が31.9%、「おおいに効果があった」が11.9%となっています。

◇性別にみると、男性(36.4%)、女性(39.2%)ともに、「多少効果があった」が最も高くなっています。

◇年齢区分別にみると、20歳代では、「わからない」が41.3%と最も高くなっており、その他の年代では、「多少効果があった」が35~45%程度と最も高くなっています。

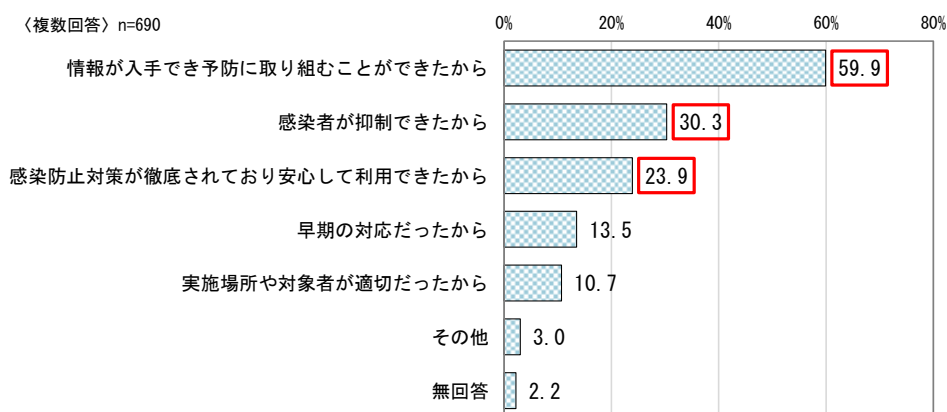
◇地区別にみると、走潟地区と網津地区では「わからない」が3割を超え最も高くなっており、その他の地区では「多少効果があった」が4割程度と最も高くなっています。



●問8で「1. おおいに効果があった」または「2. 多少効果があった」と回答された方のみ

問9 あなたが、「効果があった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「情報が入手でき予防に取り組むことができたから」が59.9%と最も高く、次いで「感染者が抑制できたから」が30.3%、「感染防止対策が徹底されており安心して利用できたから」が23.9%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・安心できるほど、効果があったとは思えない。
- ・一般の人たちがコロナに対して理解が出来る。
- ・感染しないように注意しようという意識が高まった。
- ・広報を見ている人と、見ていない人。情報の確保の仕方では効果に差が出ている。
- ・自分にも危険が迫っている、自覚が出来る。
- ・情報発信の放送は意識づけになっていると思う。
- ・全国に対して、2カ月くらい早かったらよかったと思う。4月頃だから、2月頃からすればと思います。

◇性別にみると、男性（57.3%）、女性（61.6%）ともに、「情報が入手でき予防に取り組むことができたから」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、全ての年代において「情報が入手でき予防に取り組むことができたから」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、全ての地区において「情報が入手でき予防に取り組むことができたから」が最も高くなっています。

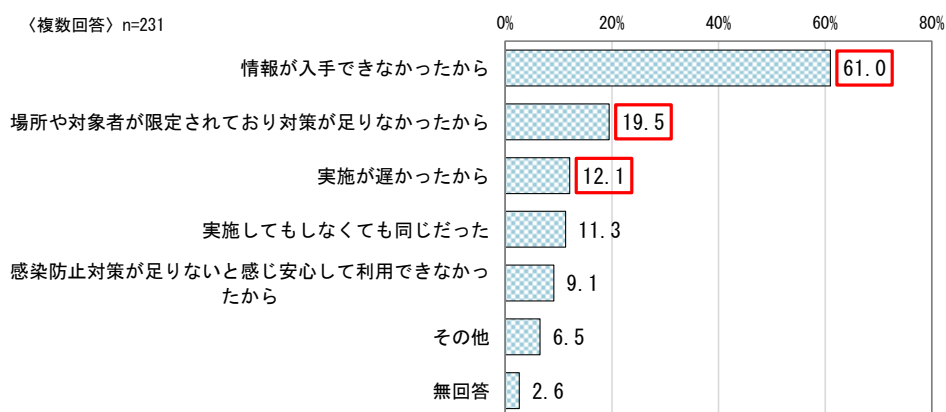
(上段：人 下段：%)

		標本数（人）	感染者が抑制できたから	情報が入手でき予防に取り組むことができたから	感染防止対策が徹底されており安心して利用できたから	早期の対応だったから	実施場所や対象者が適切だったから	その他	無回答
全体（単純集計）		690	209 30.3%	413 59.9%	165 23.9%	93 13.5%	74 10.7%	21 3.0%	15 2.2%
性別	男性	309	106 34.3%	177 57.3%	74 23.9%	47 15.2%	32 10.4%	11 3.6%	4 1.3%
	女性	378	103 27.2%	233 61.6%	91 24.1%	46 12.2%	42 11.1%	10 2.6%	11 2.9%
	答えたくない	2	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区別	20歳代	47	12 25.5%	29 61.7%	14 29.8%	7 14.9%	4 8.5%	2 4.3%	0 0.0%
	30歳代	60	14 23.3%	33 55.0%	14 23.3%	8 13.3%	5 8.3%	2 3.3%	1 1.7%
	40歳代	88	23 26.1%	56 63.6%	16 18.2%	7 8.0%	11 12.5%	2 2.3%	0 0.0%
	50歳代	93	31 33.3%	67 72.0%	18 19.4%	11 11.8%	8 8.6%	1 1.1%	1 1.1%
	60歳代	156	48 30.8%	94 60.3%	36 23.1%	18 11.5%	20 12.8%	4 2.6%	3 1.9%
	70歳代	141	47 33.3%	79 56.0%	40 28.4%	25 17.7%	14 9.9%	5 3.5%	3 2.1%
	80歳以上	102	33 32.4%	54 52.9%	26 25.5%	17 16.7%	11 10.8%	5 4.9%	7 6.9%
	地区別	宇土地区	275	80 29.1%	165 60.0%	64 23.3%	31 11.3%	27 9.8%	10 3.6%
花園地区		153	42 27.5%	93 60.8%	38 24.8%	16 10.5%	21 13.7%	3 2.0%	2 1.3%
轟地区		67	21 31.3%	36 53.7%	15 22.4%	8 11.9%	6 9.0%	2 3.0%	5 7.5%
走潟地区		26	12 46.2%	16 61.5%	5 19.2%	5 19.2%	3 11.5%	0 0.0%	0 0.0%
緑川地区		44	16 36.4%	28 63.6%	19 43.2%	7 15.9%	4 9.1%	3 6.8%	0 0.0%
網津地区		53	23 43.4%	27 50.9%	9 17.0%	12 22.6%	4 7.5%	1 1.9%	2 3.8%
網田地区		67	14 20.9%	46 68.7%	15 22.4%	14 20.9%	8 11.9%	2 3.0%	0 0.0%

●問8で「3. あまり効果がなかった」または「4. 効果がなかった」と回答された方のみ

問10 あなたが、「効果がなかった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「情報が入手できなかったから」が61.0%と最も高く、次いで「場所や対象者が限定されており対策が足りなかったから」が19.5%、「実施が遅かったから」が12.1%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・ 知らなかった，情報発信不足。
- ・ 各地区に設置してあるマイクをもっと利用して，情報を流してほしい。
- ・ 検査の実施が他県と比較すると（PCR 検査）遅い。

◇性別にみると、男性（59.3%）、女性（63.3%）ともに、「情報が入手できなかったから」が最も高くなっています。

◇年齢区分別にみると、全ての年代において「情報が入手できなかったから」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、全ての地区において「情報が入手できなかったから」が最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

		標本数（人）	安心して利用できなかつたから	情報が入手できなかったから	実施が遅かつたから	場所や対象者が限定されてお	た実施してもしなくても同じだ	その他	無回答
全体 (単純集計)		231	21 9.1%	141 61.0%	28 12.1%	45 19.5%	26 11.3%	15 6.5%	6 2.6%
性別	男性	108	9 8.3%	64 59.3%	13 12.0%	20 18.5%	13 12.0%	6 5.6%	1 0.9%
	女性	120	12 10.0%	76 63.3%	14 11.7%	24 20.0%	13 10.8%	9 7.5%	4 3.3%
	答えたくない	2	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区分別	20歳代	17	1 5.9%	10 58.8%	2 11.8%	5 29.4%	2 11.8%	3 17.6%	0 0.0%
	30歳代	29	2 6.9%	21 72.4%	0 0.0%	6 20.7%	4 13.8%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代	42	4 9.5%	24 57.1%	6 14.3%	4 9.5%	7 16.7%	2 4.8%	3 7.1%
	50歳代	48	4 8.3%	31 64.6%	6 12.5%	12 25.0%	5 10.4%	4 8.3%	0 0.0%
	60歳代	39	5 12.8%	24 61.5%	5 12.8%	9 23.1%	1 2.6%	1 2.6%	1 2.6%
	70歳代	38	2 5.3%	22 57.9%	8 21.1%	6 15.8%	5 13.2%	2 5.3%	0 0.0%
	80歳以上	17	3 17.6%	8 47.1%	1 5.9%	3 17.6%	2 11.8%	3 17.6%	2 11.8%
	地区別	宇土地区	115	8 7.0%	69 60.0%	12 10.4%	26 22.6%	15 13.0%	8 7.0%
花園地区		42	3 7.1%	35 83.3%	3 7.1%	6 14.3%	4 9.5%	2 4.8%	0 0.0%
轟地区		17	2 11.8%	9 52.9%	5 29.4%	3 17.6%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%
走潟地区		10	1 10.0%	6 60.0%	0 0.0%	2 20.0%	3 30.0%	1 10.0%	0 0.0%
緑川地区		12	3 25.0%	6 50.0%	2 16.7%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
網津地区		21	1 4.8%	12 57.1%	6 28.6%	2 9.5%	1 4.8%	1 4.8%	0 0.0%
網田地区		12	2 16.7%	3 25.0%	0 0.0%	3 25.0%	2 16.7%	2 16.7%	1 8.3%

②相談・申請支援窓口の環境整備についてお伺いします。

問 11 市では、新型コロナウイルス感染症対策室の設置や、各窓口において感染症対策を行っています。効果があったと思われますか。(いずれか1つに○)

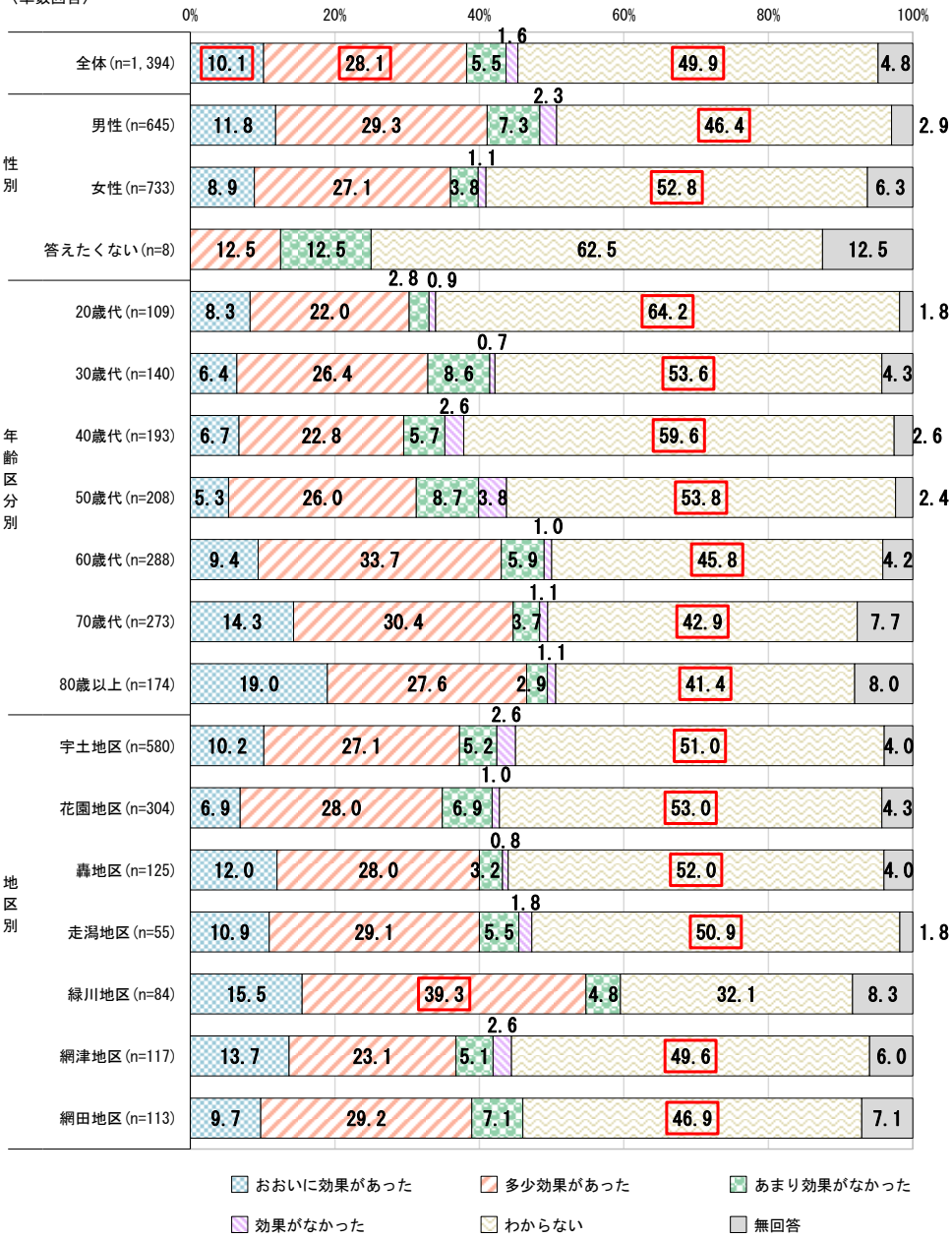
◇全体的にみると「わからない」が 49.9%と最も高く、次いで「多少効果があった」が 28.1%、「おおいに効果があった」が 10.1%となっています。

◇性別にみると、男性(46.4%)、女性(52.8%)ともに、「わからない」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、全ての年代において「わからない」が最も高くなっており、年代が低くなるほどその割合は高い傾向にあります。

◇地区別にみると、緑川地区では、「多少効果があった」(39.3%)が最も高く、その他の地区では「わからない」が最も高くなっています。

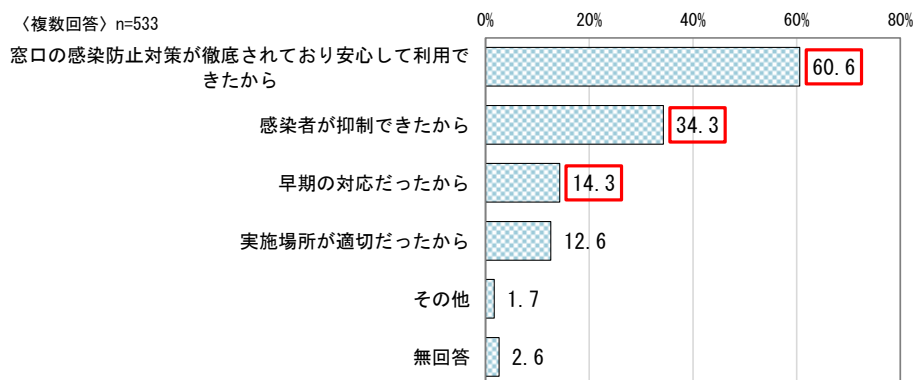
〈単数回答〉



●問 11 で「1. おおいに効果があった」または「2. 多少効果があった」と回答された方のみ

問 12 あなたが、「効果があった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「窓口の感染防止対策が徹底されており安心して利用できたから」が 60.6%と最も高く、次いで「感染者が抑制できたから」が 34.3%、「早期の対応だったから」が 14.3%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・ 伝染病に対する知識を高めた。
- ・ 手洗い、血圧計、温度計徹底的に利用出来てありがたい。
- ・ 市役所、市民双方の意識づけ。

◇性別にみると、男性（56.2%）、女性（64.8%）ともに、「窓口の感染防止対策が徹底されており安心して利用できたから」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、全ての年代において、「窓口の感染防止対策が徹底されており安心して利用できたから」最も高くなっています。

◇地区別にみると、全ての地区において「窓口の感染防止対策が徹底されており安心して利用できたから」が最も高くなっています。

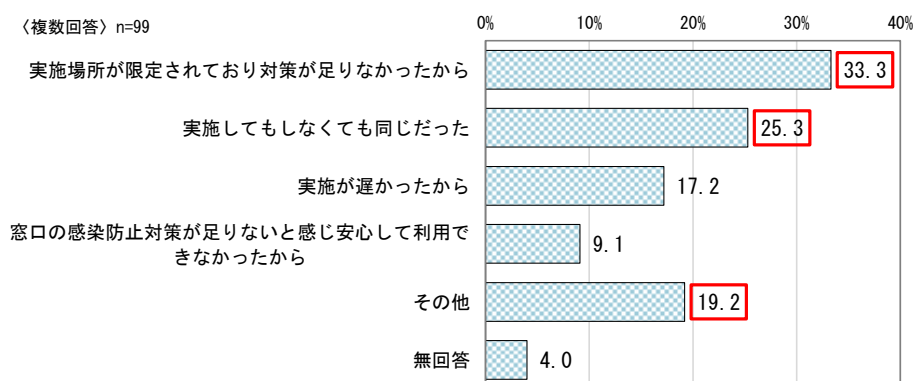
(上段：人 下段：%)

		標本数（人）	感染者が抑制できたから	窓口の感染防止対策が徹底されており安心して利用できたから	早期の対応だったから	実施場所が適切だったから	その他	無回答
全体（単純集計）		533	183 34.3%	323 60.6%	76 14.3%	67 12.6%	9 1.7%	14 2.6%
性別	男性	265	101 38.1%	149 56.2%	40 15.1%	29 10.9%	6 2.3%	7 2.6%
	女性	264	81 30.7%	171 64.8%	34 12.9%	37 14.0%	3 1.1%	7 2.7%
	答えたくない	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区別	20歳代	33	10 30.3%	21 63.6%	5 15.2%	4 12.1%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	46	16 34.8%	19 41.3%	9 19.6%	10 21.7%	1 2.2%	2 4.3%
	40歳代	57	19 33.3%	32 56.1%	8 14.0%	7 12.3%	3 5.3%	0 0.0%
	50歳代	65	23 35.4%	37 56.9%	11 16.9%	5 7.7%	0 0.0%	1 1.5%
	60歳代	124	44 35.5%	81 65.3%	13 10.5%	16 12.9%	1 0.8%	3 2.4%
	70歳代	122	40 32.8%	82 67.2%	15 12.3%	12 9.8%	1 0.8%	3 2.5%
	80歳以上	81	29 35.8%	48 59.3%	13 16.0%	12 14.8%	3 3.7%	5 6.2%
	地区別	宇土地区	216	79 36.6%	120 55.6%	33 15.3%	28 13.0%	4 1.9%
花園地区		106	33 31.1%	68 64.2%	12 11.3%	12 11.3%	2 1.9%	1 0.9%
轟地区		50	18 36.0%	26 52.0%	9 18.0%	4 8.0%	2 4.0%	3 6.0%
走潟地区		22	9 40.9%	11 50.0%	3 13.6%	4 18.2%	0 0.0%	1 4.5%
緑川地区		46	16 34.8%	34 73.9%	3 6.5%	2 4.3%	0 0.0%	0 0.0%
網津地区		43	15 34.9%	33 76.7%	4 9.3%	9 20.9%	0 0.0%	0 0.0%
網田地区		44	11 25.0%	28 63.6%	9 20.5%	7 15.9%	1 2.3%	2 4.5%

●問 11 で「3. あまり効果がなかった」または「4. 効果がなかった」と回答された方のみ

問 13 あなたが、「効果がなかった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「実施場所が限定されており対策が足りなかったから」が 33.3%と最も高く、次いで「実施してもしなくても同じだった」が 25.3%、「その他」が 19.2%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・ 対策室設置を知らない。
- ・ 市役所に行かないので分からない。
- ・ いまだにマスクをしていない人を時折見かけるし、密な場所もある。そもそも市として取っている対策がどんな事なのか、放送以外何も知らない。
- ・ 感染症対策の実態を知らない。
- ・ 情報が入手できなかったから。

◇性別にみると、男性（30.6%）、女性（36.1%）ともに、「実施場所が限定されており対策が足りなかったから」が最も高くなっています。また、男性では「実施してもしなくても同じだった」が同率で最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、20歳代（50.0%）、30歳代（46.2%）、50歳代（50.0%）では、「実施場所が限定されており対策が足りなかったから」が最も高くなっています。また、30歳代では「実施してもしなくても同じだった」が同率で最も高くなっています。

◇地区別にみると、轟地区では「実施が遅かったから」が、走潟地区では「実施してもしなくても同じだった」が、緑川地区では「その他」が最も高くなっています。その他の地区では「実施場所が限定されており対策が足りなかったから」が最も高くなっています。花園地区では、「実施してもしなくても同じだった」が同率で最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

	標本数（人）	たから	窓口の感染防止対策が足りないと感じ安心して利用できない	実施が遅かったから	実施場所が限定されており対策が足りなかったから	実施してもしなくても同じだった	その他	無回答
		9	17	33	25	19	4	
全体 (単純集計)	99	9.1%	17.2%	33.3%	25.3%	19.2%	4.0%	
性別	男性	62	4	10	19	19	10	2
			6.5%	16.1%	30.6%	30.6%	16.1%	3.2%
	女性	36	5	7	13	6	9	2
			13.9%	19.4%	36.1%	16.7%	25.0%	5.6%
	答えたくない	1	0	0	1	0	0	0
			0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢区別	20歳代	4	0	0	2	1	1	0
			0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	30歳代	13	0	0	6	6	2	0
			0.0%	0.0%	46.2%	46.2%	15.4%	0.0%
	40歳代	16	1	4	3	4	3	1
			6.3%	25.0%	18.8%	25.0%	18.8%	6.3%
	50歳代	26	4	5	13	4	5	0
			15.4%	19.2%	50.0%	15.4%	19.2%	0.0%
60歳代	20	1	3	5	6	4	2	
		5.0%	15.0%	25.0%	30.0%	20.0%	10.0%	
70歳代	13	2	4	3	2	1	1	
		15.4%	30.8%	23.1%	15.4%	7.7%	7.7%	
80歳以上	7	1	1	1	2	3	0	
		14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%	
地区別	宇土地区	45	6	9	14	11	9	3
			13.3%	20.0%	31.1%	24.4%	20.0%	6.7%
	花園地区	24	3	2	8	8	3	0
			12.5%	8.3%	33.3%	33.3%	12.5%	0.0%
	轟地区	5	0	2	1	0	1	1
			0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	走潟地区	4	0	1	1	2	0	0
			0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%
緑川地区	4	0	0	1	1	2	0	
		0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	
網津地区	9	0	1	5	2	2	0	
		0.0%	11.1%	55.6%	22.2%	22.2%	0.0%	
網田地区	8	0	2	3	1	2	0	
		0.0%	25.0%	37.5%	12.5%	25.0%	0.0%	

③生ごみ処理機購入補助金についてお伺いします。

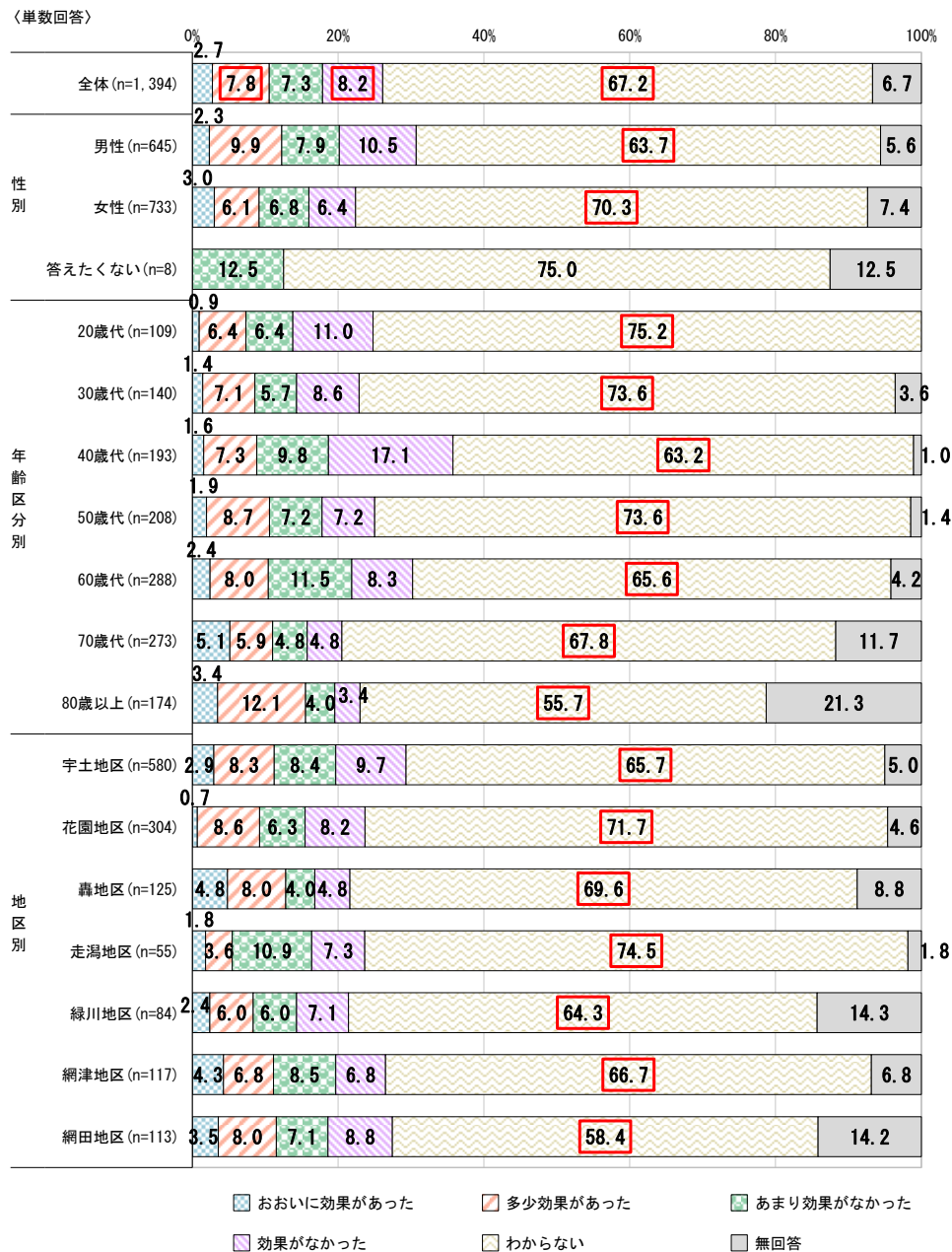
問 14 市では、外出自粛で増加した家庭から出る生ごみを熱・乾燥処理し、ごみを媒体とした感染拡大を防ぐため、生ごみ処理機の購入費を 3/4（上限 6 万円）補助を行っていますが、効果があったと思われますか。（いずれか 1 つに○）

◇全体的にみると「わからない」が 67.2%と最も高く、次いで「効果がなかった」が 8.2%、「多少効果があった」が 7.8%となっています。

◇性別にみると、男性（63.7%）、女性（70.3%）ともに、「わからない」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、全ての年代において「わからない」が最も高くなっています。

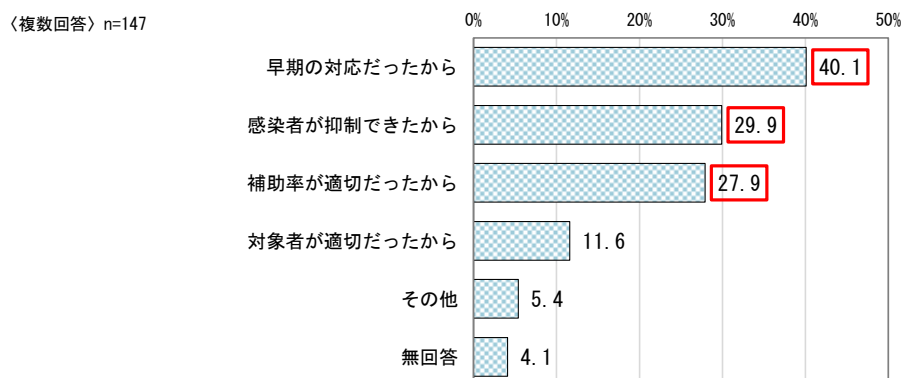
◇地区別にみると、全ての地区において「わからない」が最も高くなっています。



●問 14 で「1. おおいに効果があった」または「2. 多少効果があった」と回答された方のみ

問 15 あなたが、「効果があった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「早期の対応だったから」が 40.1%と最も高く、次いで「感染者が抑制できたから」が 29.9%、「補助率が適切だったから」が 27.9%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・ 感染拡大を防ぐために必要だと思われる事はやらないよりやった方がいい。
- ・ 実際に生ごみ処理機を購入して家庭ごみが少なくなった。
- ・ 他地域より補助額が高かったから。
- ・ 出来れば電気を使わないコンポスト等の普及をしてもらいたい。

◇性別にみると、男性（41.8%）、女性（38.8%）ともに、「早期の対応だったから」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、20歳代及び50歳代以上では「早期の対応だったから」が、30歳代と40歳代では、「補助率が適切だったから」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、轟地区、緑川地区では「感染者が抑制できたから」が、走潟地区では「補助率が適切だったから」が最も高くなっています。その他の地区では「早期の対応だったから」の割合が最も高くなっています。

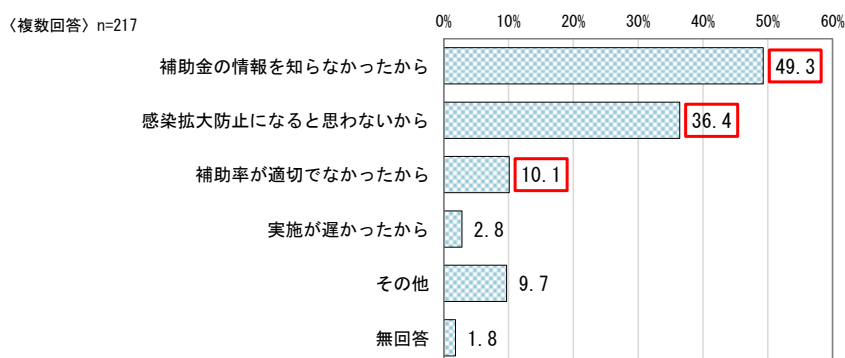
(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	感染者が抑制できたから	早期の対応だったから	対象者が適切だったから	補助率が適切だったから	その他	無回答
全体(単純集計)		147	44 29.9%	59 40.1%	17 11.6%	41 27.9%	8 5.4%	6 4.1%
性別	男性	79	22 27.8%	33 41.8%	11 13.9%	21 26.6%	3 3.8%	4 5.1%
	女性	67	21 31.3%	26 38.8%	6 9.0%	20 29.9%	5 7.5%	2 3.0%
	答えたくない	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区別	20歳代	8	3 37.5%	5 62.5%	4 50.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	12	4 33.3%	1 8.3%	0 0.0%	6 50.0%	2 16.7%	1 8.3%
	40歳代	17	4 23.5%	3 17.6%	1 5.9%	8 47.1%	3 17.6%	0 0.0%
	50歳代	22	5 22.7%	9 40.9%	4 18.2%	4 18.2%	2 9.1%	0 0.0%
	60歳代	30	8 26.7%	11 36.7%	3 10.0%	8 26.7%	0 0.0%	2 6.7%
	70歳代	30	9 30.0%	14 46.7%	2 6.7%	10 33.3%	0 0.0%	2 6.7%
	80歳以上	27	10 37.0%	16 59.3%	3 11.1%	3 11.1%	1 3.7%	1 3.7%
地区別	宇土地区	65	21 32.3%	22 33.8%	9 13.8%	20 30.8%	3 4.6%	2 3.1%
	花園地区	28	8 28.6%	17 60.7%	2 7.1%	9 32.1%	2 7.1%	0 0.0%
	轟地区	16	7 43.8%	5 31.3%	4 25.0%	3 18.8%	0 0.0%	1 6.3%
	走潟地区	3	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
	緑川地区	7	3 42.9%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
	網津地区	13	1 7.7%	7 53.8%	0 0.0%	5 38.5%	0 0.0%	1 7.7%
	網田地区	13	3 23.1%	4 30.8%	2 15.4%	1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%

●問 14 で「3. あまり効果がなかった」または「4. 効果がなかった」と回答された方のみ

問 16 あなたが、「効果がなかった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「補助金の情報を知らなかったから」が 49.3%と最も高く、次いで「感染拡大防止にならないから」が 36.4%、「補助率が適切でなかったから」が 10.1%となっています。



〈その他〉 ※一部抜粋

- ・情報の周知が足りない、一部の人にしか伝わっていない。
- ・購入価格が高いから。
- ・実際自分で購入する事を仮定して値段場所など分かりやすく改善してほしい。
- ・生ごみより生活ごみ（ティッシュやマスク等）が感染源になると思うため。

◇性別にみると、男性（53.8%）、女性（44.3%）ともに、「補助金の情報を知らなかったから」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、全ての年代において「補助金の情報を知らなかったから」が最も高くなっています。また、60歳代と70歳代では「感染拡大防止にならないから」が同率で最も高くなっています。

◇地区別にみると、宇土地区、花園地区、走潟地区、緑川地区では「補助金の情報を知らなかったから」が、轟地区、網津地区、網田地区では「感染拡大防止にならないから」が、それぞれ最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	から感染拡大防止になると思わない	実施が遅かったから	ら補助金の情報を知らなかったか	補助率が適切でなかったから	その他	無回答
全体(単純集計)		217	79 36.4%	6 2.8%	107 49.3%	22 10.1%	21 9.7%	4 1.8%
性別	男性	119	40 33.6%	3 2.5%	64 53.8%	13 10.9%	9 7.6%	1 0.8%
	女性	97	38 39.2%	3 3.1%	43 44.3%	9 9.3%	12 12.4%	3 3.1%
	答えたくない	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区別	20歳代	19	7 36.8%	0 0.0%	9 47.4%	2 10.5%	3 15.8%	0 0.0%
	30歳代	20	5 25.0%	0 0.0%	14 70.0%	2 10.0%	3 15.0%	0 0.0%
	40歳代	52	19 36.5%	2 3.8%	31 59.6%	2 3.8%	3 5.8%	0 0.0%
	50歳代	30	10 33.3%	0 0.0%	14 46.7%	5 16.7%	4 13.3%	0 0.0%
	60歳代	57	24 42.1%	1 1.8%	24 42.1%	7 12.3%	5 8.8%	0 0.0%
	70歳代	26	9 34.6%	1 3.8%	9 34.6%	3 11.5%	2 7.7%	3 11.5%
	80歳以上	13	5 38.5%	2 15.4%	6 46.2%	1 7.7%	1 7.7%	1 7.7%
地区別	宇土地区	105	35 33.3%	1 1.0%	52 49.5%	10 9.5%	13 12.4%	2 1.9%
	花園地区	44	17 38.6%	0 0.0%	26 59.1%	4 9.1%	4 9.1%	0 0.0%
	轟地区	11	5 45.5%	2 18.2%	3 27.3%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%
	走潟地区	10	1 10.0%	1 10.0%	7 70.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
	緑川地区	11	4 36.4%	1 9.1%	5 45.5%	2 18.2%	2 18.2%	1 9.1%
	網津地区	18	8 44.4%	1 5.6%	7 38.9%	2 11.1%	1 5.6%	0 0.0%
	網田地区	18	9 50.0%	0 0.0%	7 38.9%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%

④インフルエンザ予防接種助成についてお伺いします。

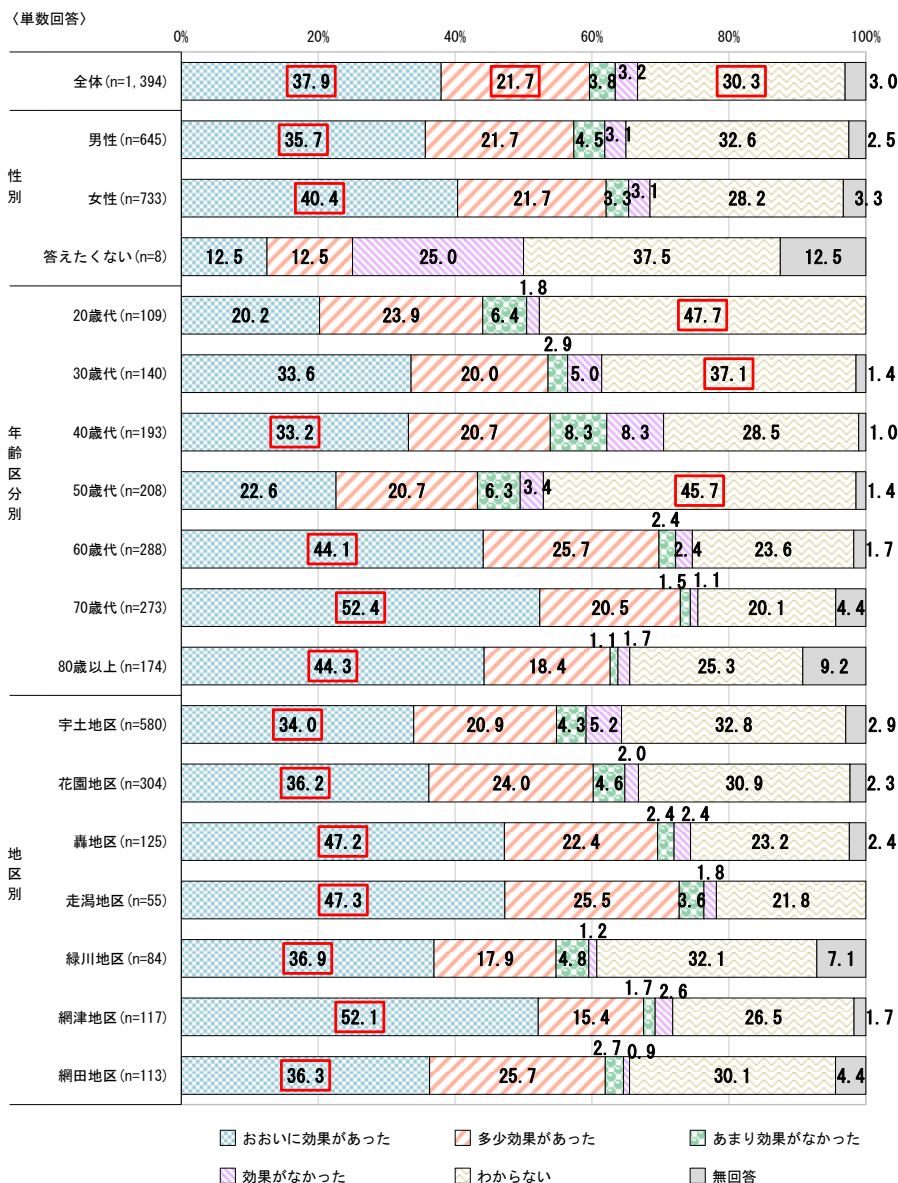
問 17 市では、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備え、6 か月児～高校生相当・妊婦・60～64 歳・高齢者を対象に、個人負担額が 1,000 円になるよう予防接種費用の助成を行っていますが、効果があったと思われませんか。(いずれか 1 つに○)

◇全体的にみると「おおいに効果があった」が 37.9%と最も高く、次いで「わからない」が 30.3%、「多少効果があった」が 21.7%となっています。

◇性別にみると、男性 (35.7%)、女性 (40.4%) とともに、「おおいに効果があった」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、20 歳代、30 歳代、50 歳代では「わからない」が最も高くなっています。また、40 歳代及び 60 歳代以上では「おおいに効果があった」が最も高くなっています。

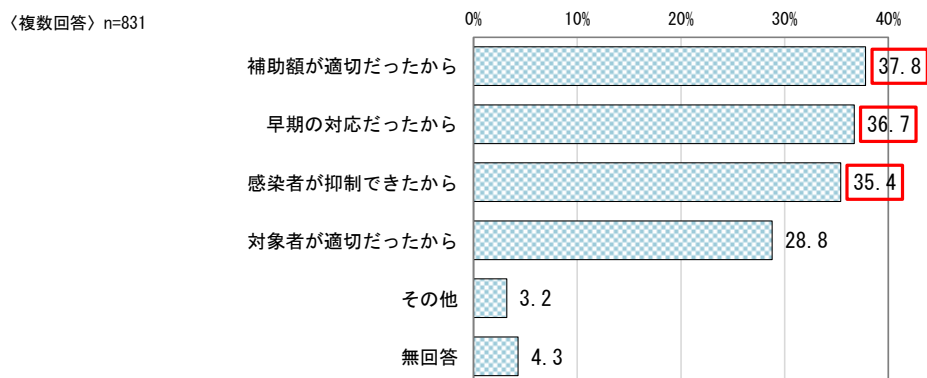
◇地区別にみると、全ての地区において「おおいに効果があった」が最も高くなっています。



●問 17 で「1. おおいに効果があった」または「2. 多少効果があった」と回答された方のみ

問 18 あなたが、「効果があった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「補助額が適切だったから」が 37.8%と最も高く、次いで「早期の対応だったから」が 36.7%、「感染者が抑制できたから」が 35.4%となっています。



〈その他〉 ※一部抜粋

- ・接種する人が増えたから。
- ・予防接種が受けやすくなったが、ワクチン不足で受けられなかった（受けられなかった人がいた）。
- ・負担が少なく済んだため。
- ・市民全員だったらなお良い。
- ・私の周りでもいつも接種しない人が接種していたので、2回目も補助してほしい。

◇性別にみると、男性では「感染者が抑制できたから」が37.8%と最も高く、女性では、「補助額が適切だったから」が42.2%と最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、20歳代では「対象者が適切だったから」、30～60歳代では「補助額が適切だったから」、70歳代、80歳代では「早期の対応だったから」がそれぞれ最も高くなっています。40歳代では「感染者が抑制できたから」も同率で最も高くなっています。

◇地区別にみると、宇土地区、花園地区では、「補助額が適切だったから」、轟地区、走潟地区では「感染者が抑制できたから」、緑川地区、網津地区、網田地区では「早期の対応だったから」がそれぞれ最も高くなっています。

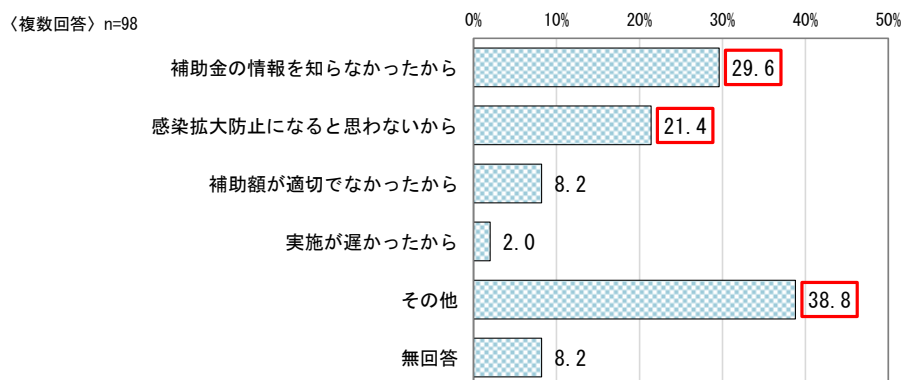
(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	感染者が抑制できたから	早期の対応だったから	対象者が適切だったから	補助額が適切だったから	その他	無回答
全体 (単純集計)		831	294 35.4%	305 36.7%	239 28.8%	314 37.8%	27 3.2%	36 4.3%
性別	男性	370	140 37.8%	135 36.5%	98 26.5%	120 32.4%	7 1.9%	21 5.7%
	女性	455	153 33.6%	168 36.9%	139 30.5%	192 42.2%	20 4.4%	15 3.3%
	答えたくない	2	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区別	20歳代	48	18 37.5%	16 33.3%	21 43.8%	17 35.4%	1 2.1%	1 2.1%
	30歳代	75	25 33.3%	13 17.3%	32 42.7%	37 49.3%	2 2.7%	0 0.0%
	40歳代	104	39 37.5%	29 27.9%	35 33.7%	39 37.5%	9 8.7%	2 1.9%
	50歳代	90	30 33.3%	27 30.0%	34 37.8%	38 42.2%	4 4.4%	1 1.1%
	60歳代	201	71 35.3%	77 38.3%	51 25.4%	87 43.3%	5 2.5%	8 4.0%
	70歳代	199	77 38.7%	81 40.7%	45 22.6%	64 32.2%	3 1.5%	11 5.5%
	80歳以上	109	32 29.4%	59 54.1%	21 19.3%	30 27.5%	2 1.8%	13 11.9%
地区別	宇土地区	318	121 38.1%	112 35.2%	94 29.6%	130 40.9%	9 2.8%	8 2.5%
	花園地区	183	61 33.3%	64 35.0%	54 29.5%	72 39.3%	9 4.9%	7 3.8%
	轟地区	87	33 37.9%	26 29.9%	29 33.3%	29 33.3%	4 4.6%	6 6.9%
	走潟地区	40	23 57.5%	17 42.5%	10 25.0%	10 25.0%	0 0.0%	2 5.0%
	緑川地区	46	17 37.0%	20 43.5%	11 23.9%	17 37.0%	0 0.0%	1 2.2%
	網津地区	79	22 27.8%	35 44.3%	21 26.6%	30 38.0%	3 3.8%	3 3.8%
	網田地区	70	14 20.0%	28 40.0%	17 24.3%	22 31.4%	2 2.9%	9 12.9%

●問 17 で「3. あまり効果がなかった」または「4. 効果がなかった」と回答された方のみ

問 19 あなたが、「効果がなかった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「その他」が 38.8%と最も高く、次いで「補助金の情報を知らなかったから」が 29.6%、「感染拡大防止になると思わないから」が 21.4%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・ワクチン不足で接種できていないから。
- ・対象外だった。すべての年代に助成するべきである。

◇性別にみると、男性（30.6%）、女性（44.7%）ともに、「その他」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、20歳代と80歳代では「補助金の情報を知らなかったから」が、30～60歳代では「その他」が、70歳代では「感染拡大防止になると思わないから」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、宇土地区では「その他」が38.2%と最も高く、次いで「補助金の情報を知らなかったから」が34.5%となっています。

(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	か感染拡大防止になると思わない	実施が遅かったから	ら補助金の情報を知らなかったか	補助額が適切でなかったから	その他	無回答
全体(単純集計)		98	21 21.4%	2 2.0%	29 29.6%	8 8.2%	38 38.8%	8 8.2%
性別	男性	49	8 16.3%	1 2.0%	14 28.6%	5 10.2%	15 30.6%	6 12.2%
	女性	47	12 25.5%	1 2.1%	15 31.9%	3 6.4%	21 44.7%	2 4.3%
	答えたくない	2	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
年齢区別	20歳代	9	1 11.1%	0 0.0%	5 55.6%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%
	30歳代	11	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	7 63.6%	1 9.1%
	40歳代	32	6 18.8%	1 3.1%	11 34.4%	1 3.1%	14 43.8%	1 3.1%
	50歳代	20	5 25.0%	1 5.0%	4 20.0%	3 15.0%	7 35.0%	1 5.0%
	60歳代	14	2 14.3%	0 0.0%	5 35.7%	0 0.0%	7 50.0%	1 7.1%
	70歳代	7	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%
	80歳以上	5	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%
地区別	宇土地区	55	12 21.8%	1 1.8%	19 34.5%	2 3.6%	21 38.2%	4 7.3%
	花園地区	20	6 30.0%	0 0.0%	4 20.0%	3 15.0%	7 35.0%	3 15.0%
	轟地区	6	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%
	走潟地区	3	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
	緑川地区	5	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%
	網津地区	5	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%
	網田地区	4	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%

(2) 地域経済を支援するための事業

①宇土市新型コロナウイルス経済対策商品券についてお伺いします。

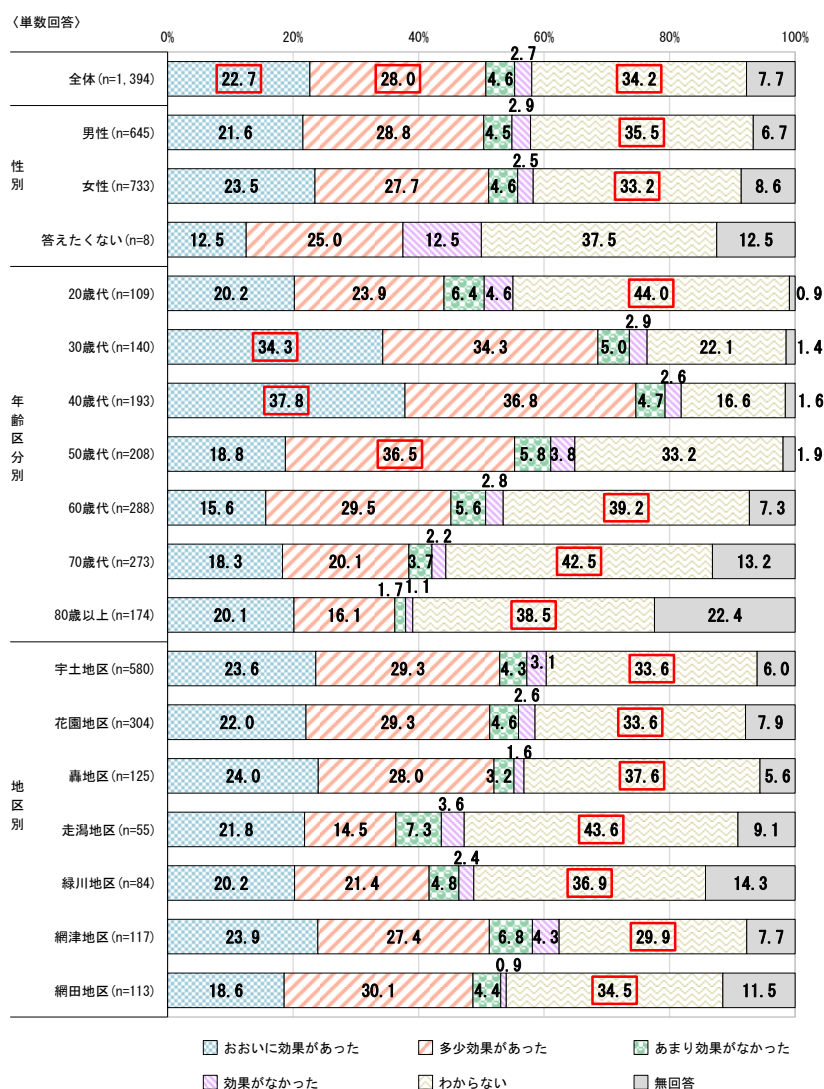
問 20 市では、市内店舗で利用できる商品券を、高校生以下の子育て世帯に1万円、うち就学援助費受給対象世帯・児童扶養手当受給世帯には2万円を加算して給付を行っています。効果があったと思われますか。(いずれか1つに○)

◇全体的にみると「わからない」が34.2%と最も高く、次いで「多少効果があった」が28.0%、「おおいに効果があった」が22.7%となっています。

◇性別にみると、男性(35.5%)、女性(33.2%)ともに、「わからない」が最も高くなっています。

◇年齢区分別にみると、対象となった世帯と見込まれる30歳代と40歳代では「おおいに効果があった」が、50歳代では「多少効果があった」が最も高くなっており、効果があったと伺えます。その他の年齢区分では「わからない」が最も高くなっています。

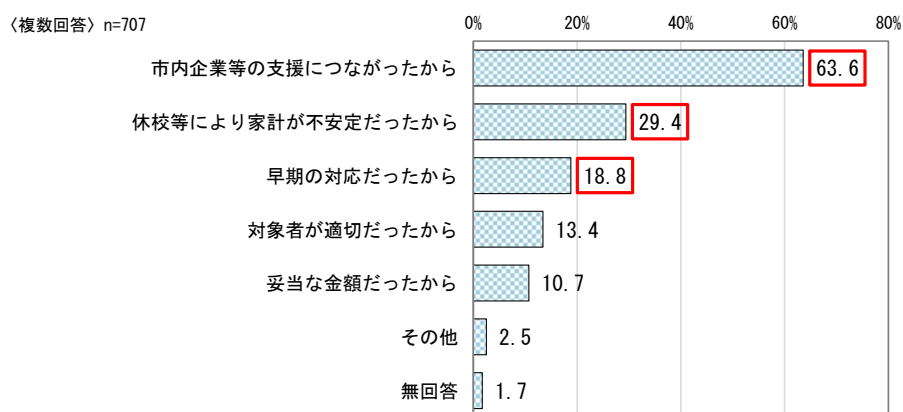
◇地区別にみると、全ての地区において「わからない」が最も高くなっています。



●問 20 で「1. おおいに効果があった」または「2. 多少効果があった」と回答された方のみ

問 21 あなたが、「効果があった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「市内企業等の支援につながったから」が 63.6%と最も高く、次いで「休校等により家計が不安定だったから」が 29.4%、「早期の対応だったから」が 18.8%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・家計が助かった。
- ・経済効果があった。
- ・何も無いより良い 2件
- ・子ども1人当たりが適正と感じた。
- ・ただし加算の2万円はいら無いと思う。

◇性別にみると、男性（62.2%）、女性（65.1%）ともに、「市内企業等の支援につながったから」が最も高くなっています。

◇年齢区分別にみると、全ての年代において、「市内企業等の支援につながったから」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、全ての年代において、「市内企業等の支援につながったから」が最も高くなっています。

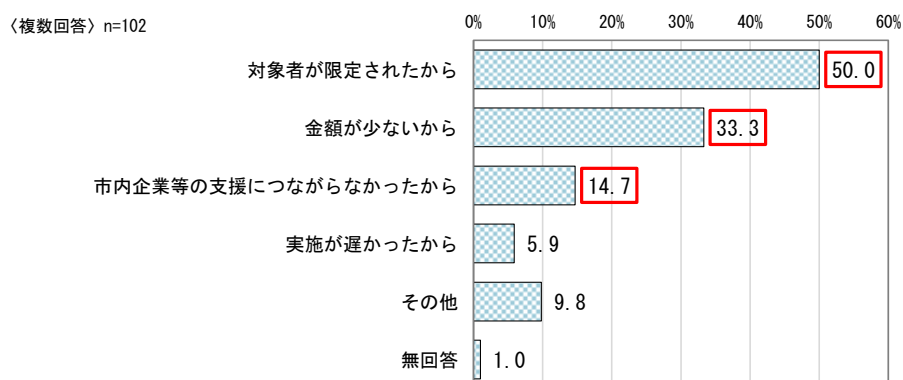
(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	休校等により家計が不安定だったから	市内企業等の支援につながったから	早期の対応だったから	妥当な金額だったから	対象者が適切だったから	その他	無回答
全体(単純集計)		707	208 29.4%	450 63.6%	133 18.8%	76 10.7%	95 13.4%	18 2.5%	12 1.7%
性別	男性	325	82 25.2%	202 62.2%	70 21.5%	38 11.7%	49 15.1%	12 3.7%	3 0.9%
	女性	375	126 33.6%	244 65.1%	63 16.8%	37 9.9%	45 12.0%	6 1.6%	8 2.1%
	答えたくない	3	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区分別	20歳代	48	12 25.0%	31 64.6%	10 20.8%	7 14.6%	2 4.2%	1 2.1%	1 2.1%
	30歳代	96	33 34.4%	58 60.4%	26 27.1%	10 10.4%	16 16.7%	4 4.2%	0 0.0%
	40歳代	144	60 41.7%	94 65.3%	26 18.1%	9 6.3%	18 12.5%	7 4.9%	1 0.7%
	50歳代	115	34 29.6%	82 71.3%	14 12.2%	16 13.9%	14 12.2%	2 1.7%	0 0.0%
	60歳代	130	37 28.5%	83 63.8%	19 14.6%	13 10.0%	18 13.8%	2 1.5%	0 0.0%
	70歳代	105	17 16.2%	62 59.0%	23 21.9%	8 7.6%	17 16.2%	1 1.0%	7 6.7%
	80歳以上	63	12 19.0%	36 57.1%	14 22.2%	11 17.5%	9 14.3%	1 1.6%	3 4.8%
	地区別	宇土地区	307	88 28.7%	207 67.4%	55 17.9%	38 12.4%	39 12.7%	5 1.6%
花園地区		156	45 28.8%	103 66.0%	31 19.9%	11 7.1%	23 14.7%	4 2.6%	0 0.0%
轟地区		65	27 41.5%	38 58.5%	14 21.5%	7 10.8%	9 13.8%	1 1.5%	2 3.1%
走潟地区		20	2 10.0%	15 75.0%	5 25.0%	3 15.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
緑川地区		35	13 37.1%	20 57.1%	9 25.7%	3 8.6%	4 11.4%	1 2.9%	2 5.7%
網津地区		60	23 38.3%	30 50.0%	10 16.7%	6 10.0%	8 13.3%	4 6.7%	2 3.3%
網田地区		55	9 16.4%	30 54.5%	9 16.4%	6 10.9%	9 16.4%	3 5.5%	2 3.6%

●問 20 で「3. あまり効果がなかった」または「4. 効果がなかった」と回答された方のみ

問 22 あなたが、「効果がなかった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「対象者が限定されたから」が 50.0%と最も高く、次いで「金額が少ないから」が 33.3%, 「市内企業等の支援につながらなかったから」が 14.7%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・ 金額, 回数が少ない。
- ・ (本当に) 必要な人に渡った方が良いと思う。
- ・ 食費又は貯蓄にまわっており経済対策になっていない。
- ・ 対象期間以降に産まれた子も対象にしてほしかった。

◇性別にみると、男性（47.9%）、女性（53.8%）ともに、「対象者が限定されたから」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、20、50、60、70歳代では「対象者が限定されたから」が、30、40、80歳代では、「金額が少ないから」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、ほとんどの地区において「対象者が限定されたから」の割合が高くなっています。

(上段：人 下段：%)

		標本数（人）	市内企業等の支援につながらなかったから	実施が遅かったから	金額が少ないから	対象者が限定されたから	その他	無回答
全体（単純集計）		102	15 14.7%	6 5.9%	34 33.3%	51 50.0%	10 9.8%	1 1.0%
性別	男性	48	8 16.7%	2 4.2%	16 33.3%	23 47.9%	6 12.5%	0 0.0%
	女性	52	6 11.5%	4 7.7%	17 32.7%	28 53.8%	4 7.7%	1 1.9%
	答えたくない	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区別	20歳代	12	1 8.3%	2 16.7%	5 41.7%	7 58.3%	1 8.3%	0 0.0%
	30歳代	11	0 0.0%	0 0.0%	8 72.7%	2 18.2%	2 18.2%	0 0.0%
	40歳代	14	3 21.4%	1 7.1%	5 35.7%	5 35.7%	1 7.1%	1 7.1%
	50歳代	20	4 20.0%	1 5.0%	7 35.0%	12 60.0%	1 5.0%	0 0.0%
	60歳代	24	4 16.7%	1 4.2%	3 12.5%	16 66.7%	2 8.3%	0 0.0%
	70歳代	16	2 12.5%	1 6.3%	4 25.0%	7 43.8%	2 12.5%	0 0.0%
	80歳以上	5	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%
	地区別	宇土地区	43	6 14.0%	3 7.0%	15 34.9%	23 53.5%	6 14.0%
花園地区		22	2 9.1%	1 4.5%	7 31.8%	10 45.5%	1 4.5%	1 4.5%
轟地区		6	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%
走潟地区		6	3 50.0%	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%
緑川地区		6	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%
網津地区		13	1 7.7%	1 7.7%	5 38.5%	7 53.8%	0 0.0%	0 0.0%
網田地区		6	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%

②宇土市新型コロナウイルス対策くらし応援商品券についてお伺いします。

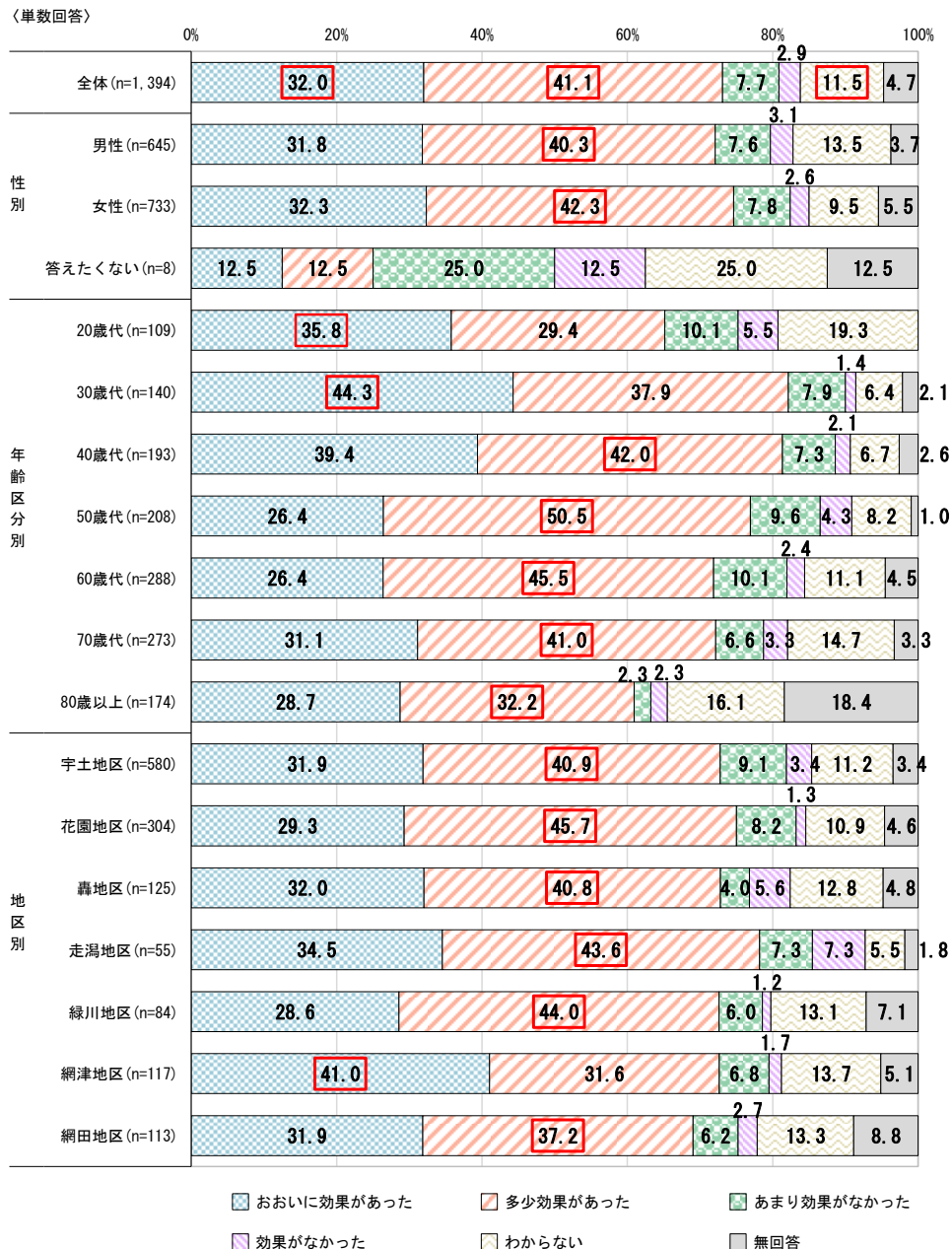
問 23 市では、市内店舗等で利用できる商品券を、全世帯に1人5千円給付を行っていますが、効果があったと思われませんか。(いずれか1つに○)

◇全体的にみると「多少効果があった」が41.1%と最も高く、次いで「おおいに効果があった」が32.0%、「わからない」が11.5%となっています。

◇性別にみると、男性(40.3%)、女性(42.3%)ともに、「多少効果があった」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、20、30歳代では、「おおいに効果があった」が、40歳代以上では「多少効果があった」が最も高くなっています。

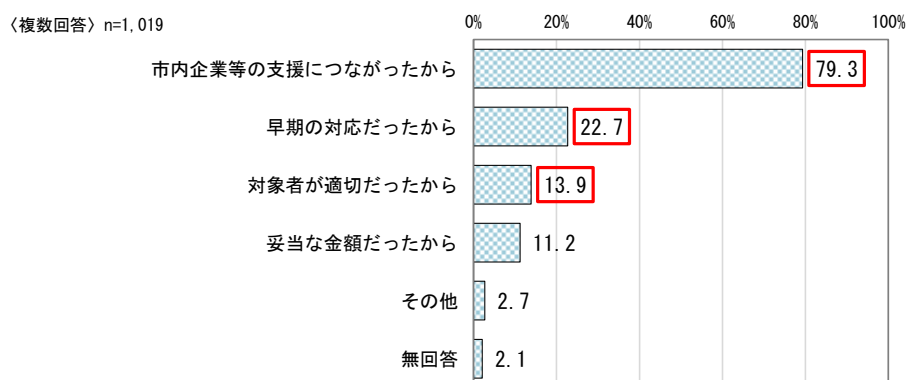
◇地区別にみると、網津地区では「おおいに効果があった」が最も高く、その他の地区でも「多少効果があった」が最も高くなっています。



●問 23 で「1. おおいに効果があった」または「2. 多少効果があった」と回答された方のみ

問 24 あなたが、「効果があった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「市内企業等の支援につながったから」が 79.3%と最も高く、次いで「早期の対応だったから」が 22.7%、「対象者が適切だったから」が 13.9%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・家計が助かった。
- ・精神的に良い効果があった。
- ・金額, 回数が少ない。
- ・経済効果があった。

◇性別にみると、男性（75.7%）、女性（82.6%）がともに、「市内企業等の支援につながったから」が最も高くなっています。

◇年齢区分別にみると、全ての年代において「市内企業等の支援につながったから」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、全ての地区において「市内企業等の支援につながったから」が最も高くなっています。

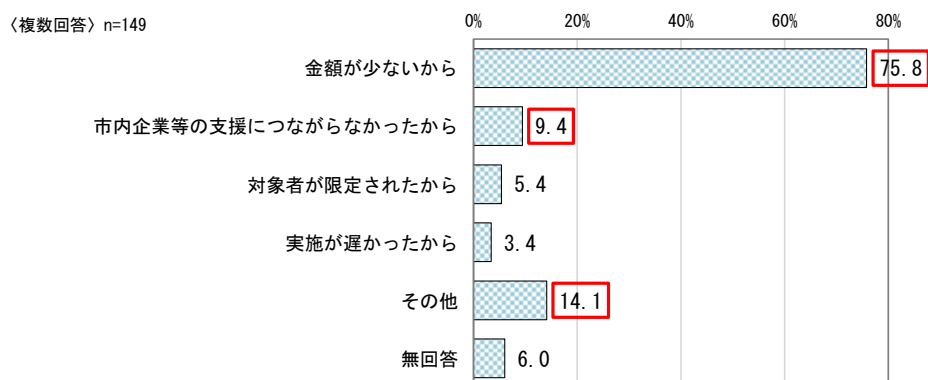
(上段：人 下段：%)

		標本数（人）	から 市内 企業 等の 支援 につ なが った	早 期 の 対 応 だ っ た か ら	妥 当 な 金 額 だ っ た か ら	対 象 者 が 適 切 だ っ た か ら	そ の 他	無 回 答
全体 (単純集計)		1,019	808 79.3%	231 22.7%	114 11.2%	142 13.9%	28 2.7%	21 2.1%
性別	男性	465	352 75.7%	112 24.1%	57 12.3%	65 14.0%	13 2.8%	8 1.7%
	女性	547	452 82.6%	116 21.2%	57 10.4%	77 14.1%	15 2.7%	12 2.2%
	答えたくない	2	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区分別	20歳代	71	52 73.2%	15 21.1%	15 21.1%	7 9.9%	3 4.2%	0 0.0%
	30歳代	115	92 80.0%	29 25.2%	14 12.2%	21 18.3%	6 5.2%	1 0.9%
	40歳代	157	129 82.2%	44 28.0%	17 10.8%	19 12.1%	7 4.5%	2 1.3%
	50歳代	160	135 84.4%	32 20.0%	16 10.0%	22 13.8%	5 3.1%	1 0.6%
	60歳代	207	173 83.6%	41 19.8%	18 8.7%	30 14.5%	3 1.4%	2 1.0%
	70歳代	197	155 78.7%	39 19.8%	14 7.1%	28 14.2%	4 2.0%	8 4.1%
	80歳以上	106	68 64.2%	27 25.5%	19 17.9%	14 13.2%	0 0.0%	7 6.6%
	地区別	宇土地区	422	343 81.3%	97 23.0%	51 12.1%	54 12.8%	12 2.8%
花園地区		228	181 79.4%	55 24.1%	18 7.9%	26 11.4%	6 2.6%	5 2.2%
轟地区		91	75 82.4%	20 22.0%	10 11.0%	20 22.0%	3 3.3%	1 1.1%
走潟地区		43	39 90.7%	10 23.3%	5 11.6%	5 11.6%	0 0.0%	0 0.0%
緑川地区		61	47 77.0%	11 18.0%	7 11.5%	11 18.0%	0 0.0%	1 1.6%
網津地区		85	64 75.3%	22 25.9%	10 11.8%	11 12.9%	5 5.9%	2 2.4%
網田地区		78	50 64.1%	13 16.7%	13 16.7%	13 16.7%	2 2.6%	4 5.1%

●問 23 で「3. あまり効果がなかった」または「4. 効果がなかった」と回答された方のみ

問 25 あなたが、「効果がなかった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「金額が少ないから」が 75.8%と最も高く、次いで「その他」が 14.1%、「市内企業等の支援につながらなかったから」が 9.4%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・本当に必要な人に渡った方が良いと思う。
- ・利用する所が限られていたから。
- ・回数が少ない。
- ・マスク、消毒液等を各家庭に配布された方が良かったと思う。

◇性別にみると、男性（71.0%）、女性（80.3%）とともに、「金額が少ないから」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、全ての年代において「金額が少ないから」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、全ての地区において「金額が少ないから」が最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	市内企業等の支援につながらなかったから	実施が遅かったから	金額が少ないから	対象者が限定されたから	その他	無回答
全体(単純集計)		149	14 9.4%	5 3.4%	113 75.8%	8 5.4%	21 14.1%	9 6.0%
性別	男性	69	5 7.2%	1 1.4%	49 71.0%	3 4.3%	10 14.5%	3 4.3%
	女性	76	9 11.8%	4 5.3%	61 80.3%	5 6.6%	10 13.2%	6 7.9%
	答えたくない	3	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
年齢区別	20歳代	17	0 0.0%	1 5.9%	14 82.4%	1 5.9%	4 23.5%	0 0.0%
	30歳代	13	1 7.7%	0 0.0%	10 76.9%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%
	40歳代	18	3 16.7%	0 0.0%	13 72.2%	2 11.1%	2 11.1%	1 5.6%
	50歳代	29	4 13.8%	3 10.3%	22 75.9%	3 10.3%	4 13.8%	2 6.9%
	60歳代	36	3 8.3%	1 2.8%	29 80.6%	1 2.8%	5 13.9%	1 2.8%
	70歳代	27	3 11.1%	0 0.0%	20 74.1%	1 3.7%	2 7.4%	3 11.1%
	80歳以上	8	0 0.0%	0 0.0%	4 50.0%	0 0.0%	2 25.0%	2 25.0%
地区別	宇土地区	73	7 9.6%	2 2.7%	55 75.3%	3 4.1%	13 17.8%	3 4.1%
	花園地区	29	2 6.9%	0 0.0%	22 75.9%	0 0.0%	5 17.2%	1 3.4%
	轟地区	12	1 8.3%	0 0.0%	9 75.0%	1 8.3%	1 8.3%	2 16.7%
	走潟地区	8	2 25.0%	1 12.5%	5 62.5%	2 25.0%	2 25.0%	0 0.0%
	緑川地区	6	0 0.0%	0 0.0%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
	網津地区	10	1 10.0%	2 20.0%	8 80.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%
	網田地区	10	1 10.0%	0 0.0%	8 80.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%

③宇土市農林漁業者支援給付金についてお伺いします。

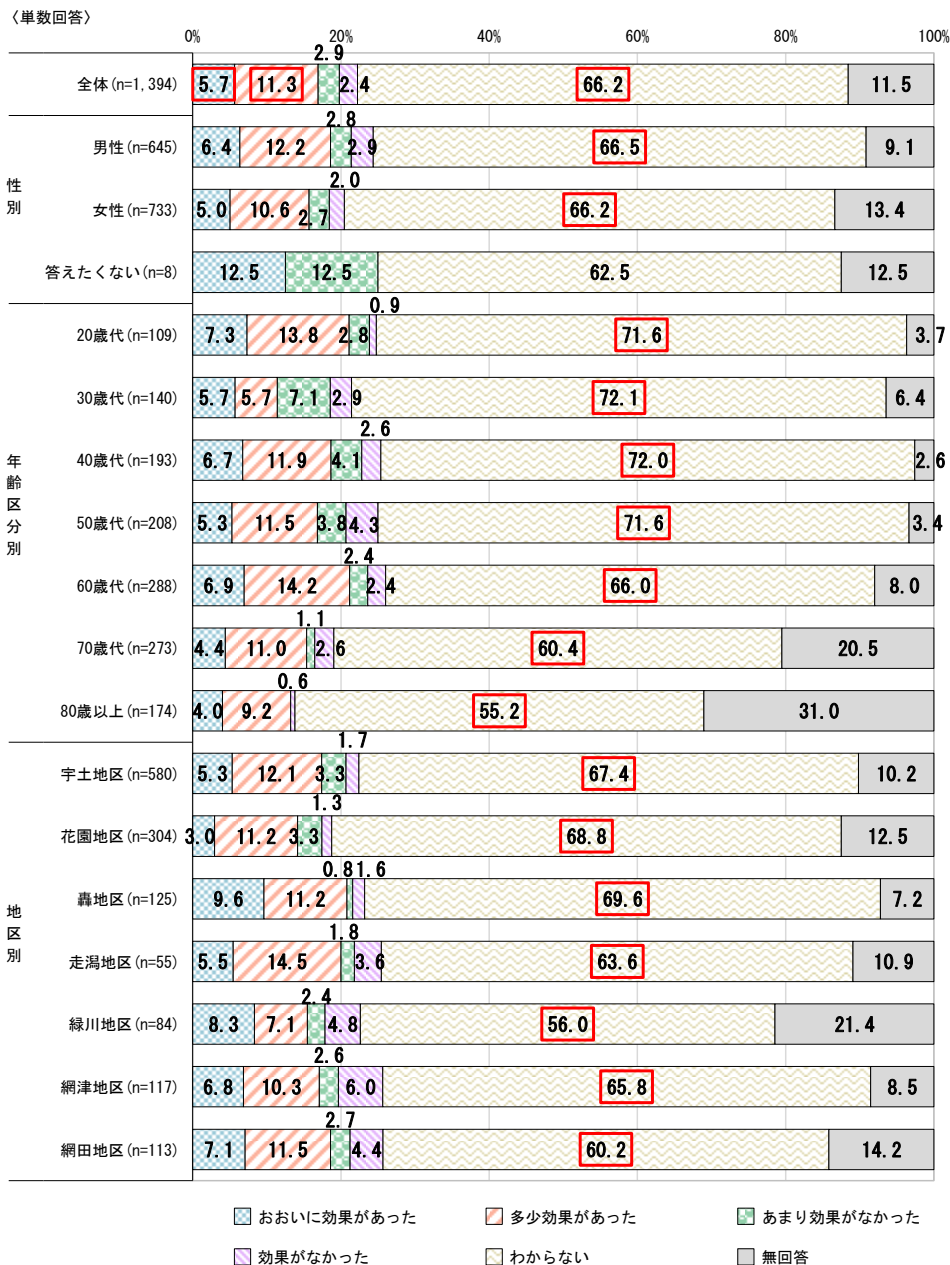
問 26 市では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている農林漁業を営む個人・法人に対して、上限 20 万円の支給を行っていますが、効果があったと思われますか。
(いずれか 1 つに○)

◇全体的にみると「わからない」が 66.2%と最も高く、次いで「多少効果があった」が 11.3%、「おおいに効果があった」が 5.7%となっています。

◇性別にみると、男性（66.5%）、女性（66.2%）ともに「わからない」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、全ての年代において「わからない」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、全ての地区において「わからない」が最も高くなっています。



◇業種別にみると、農林水産業においては「わからない」が最も高いものの他の業種より低く、効果があったとする割合（「おおいに効果があった」＋「多少効果があった」の合計）は3割程度みられました。

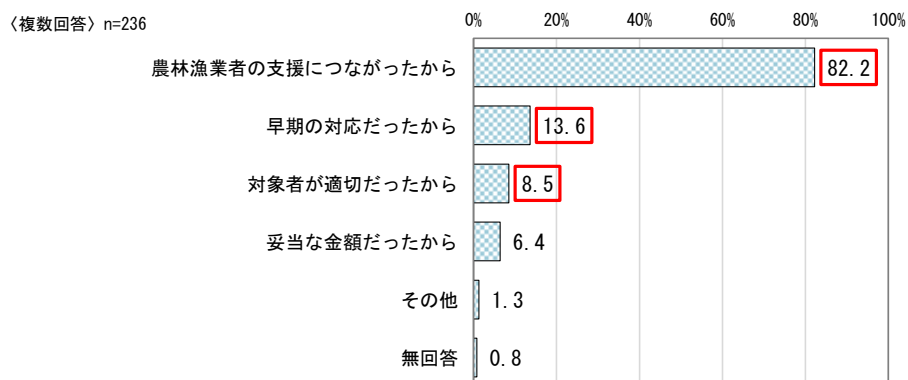
(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	おおいに効果があった	多少効果があった	あまり効果がなかった	効果がなかった	わからない	無回答
全体 (単純集計)		1,394	79 5.7%	157 11.3%	40 2.9%	34 2.4%	923 66.2%	161 11.5%
業種別	医療・福祉	131	9 6.9%	12 9.2%	4 3.1%	4 3.1%	91 69.5%	11 8.4%
	サービス業(宿泊業、飲食業を除く)	88	7 8.0%	6 6.8%	6 6.8%	2 2.3%	62 70.5%	5 5.7%
	公務	76	9 11.8%	17 22.4%	4 5.3%	0 0.0%	46 60.5%	0 0.0%
	卸・小売業	65	3 4.6%	8 12.3%	3 4.6%	2 3.1%	46 70.8%	3 4.6%
	製造業	115	6 5.2%	10 8.7%	4 3.5%	2 1.7%	88 76.5%	5 4.3%
	建設業	64	2 3.1%	11 17.2%	1 1.6%	3 4.7%	46 71.9%	1 1.6%
	金融・保険業	12	1 8.3%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 66.7%	0 0.0%
	飲食業	33	1 3.0%	2 6.1%	0 0.0%	1 3.0%	26 78.8%	3 9.1%
	情報・通信業	17	1 5.9%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	14 82.4%	0 0.0%
	運輸・郵便業	46	2 4.3%	4 8.7%	1 2.2%	1 2.2%	34 73.9%	4 8.7%
	不動産業	7	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	5 71.4%	0 0.0%
	農林水産業	71	9 12.7%	15 21.1%	5 7.0%	5 7.0%	31 43.7%	6 8.5%
	宿泊業	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
	その他	97	3 3.1%	16 16.5%	3 3.1%	4 4.1%	63 64.9%	8 8.2%

●問 26 で「1. おおいに効果があった」または「2. 多少効果があった」と回答された方のみ

問 27 あなたが、「効果があった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「農林漁業者の支援につながったから」が 82.2%と最も高く、次いで「早期の対応だったから」が 13.6%、「対象者が適切だったから」が 8.5%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・つなぎとしては効果があったのでは。

◇性別にみると、男性（80.8%）、女性（83.5%）ともに、「農林漁業者の支援につながったから」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、全ての年代において「農林漁業者の支援につながったから」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、全ての地区において「農林漁業者の支援につながったから」が最も高くなっています。

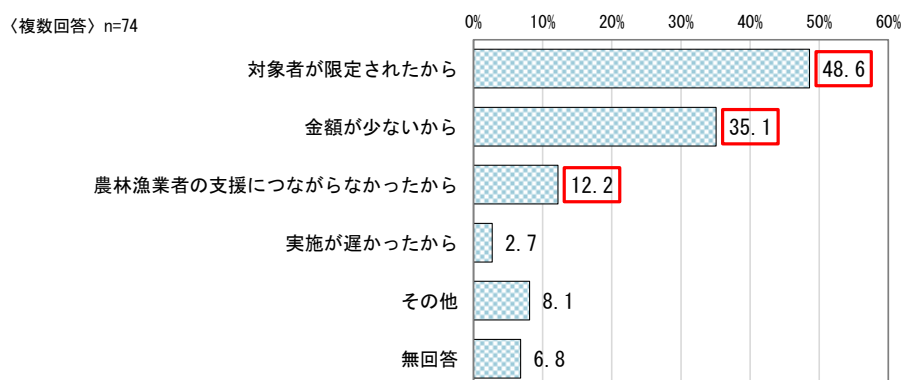
(上段：人 下段：%)

		標本数（人）	から 農林 漁業者 の支援 につな がった	早 期 の 対 応 だ っ た か ら	妥 当 な 金 額 だ っ た か ら	対 象 者 が 適 切 だ っ た か ら	そ の 他	無 回 答
全体 (単純集計)		236	194 82.2%	32 13.6%	15 6.4%	20 8.5%	3 1.3%	2 0.8%
性別	男性	120	97 80.8%	15 12.5%	10 8.3%	11 9.2%	2 1.7%	1 0.8%
	女性	115	96 83.5%	17 14.8%	5 4.3%	9 7.8%	1 0.9%	1 0.9%
	答えたくない	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢 区 別	20歳代	23	18 78.3%	5 21.7%	4 17.4%	2 8.7%	0 0.0%	1 4.3%
	30歳代	16	15 93.8%	3 18.8%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代	36	31 86.1%	4 11.1%	2 5.6%	3 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
	50歳代	35	29 82.9%	6 17.1%	2 5.7%	1 2.9%	1 2.9%	0 0.0%
	60歳代	61	50 82.0%	7 11.5%	3 4.9%	5 8.2%	0 0.0%	1 1.6%
	70歳代	42	34 81.0%	5 11.9%	2 4.8%	3 7.1%	1 2.4%	0 0.0%
	80歳以上	23	17 73.9%	2 8.7%	1 4.3%	4 17.4%	1 4.3%	0 0.0%
	地区 別	宇土地区	101	85 84.2%	11 10.9%	8 7.9%	9 8.9%	0 0.0%
花園地区		43	36 83.7%	7 16.3%	1 2.3%	4 9.3%	0 0.0%	0 0.0%
轟地区		26	22 84.6%	5 19.2%	3 11.5%	4 15.4%	1 3.8%	0 0.0%
走潟地区		11	10 90.9%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
緑川地区		13	12 92.3%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
網津地区		20	17 85.0%	0 0.0%	1 5.0%	2 10.0%	1 5.0%	0 0.0%
網田地区		21	12 57.1%	5 23.8%	2 9.5%	0 0.0%	1 4.8%	1 4.8%

●問 26 で「3. あまり効果がなかった」または「4. 効果がなかった」と回答された方のみ

問 28 あなたが、「効果がなかった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「対象者が限定されたから」が 48.6%と最も高く、次いで「金額が少ないから」が 35.1%,「農林漁業者の支援につながらなかったから」が 12.2%となっています。



〈その他〉 ※一部抜粋

- ・回復の先が見えない。
- ・給付する時は半年ぐらいの収入を見た方がいいのでは。
- ・困っている人に適切な情報と手段，補助や支援，介入をお願いします。

◇性別にみると、男性（45.9%）、女性（51.4%）ともに、「対象者が限定されたから」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、20、30歳代では、「金額が少ないから」が、40～70歳代では「対象者が限定されたから」が、80歳代では「農林漁業者の支援につながらなかったから」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、宇土地区と花園地区では「金額が少ないから」が、轟地区、緑川地区、網津地区では「対象者が限定されたから」が、走潟地区と網田地区では「農林漁業者の支援につながらなかったから」が最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

		標本数（人）	農林漁業者の支援につながらなかったから	実施が遅かったから	金額が少ないから	対象者が限定されたから	その他	無回答
全体（単純集計）		74	9 12.2%	2 2.7%	26 35.1%	36 48.6%	6 8.1%	5 6.8%
性別	男性	37	5 13.5%	1 2.7%	12 32.4%	17 45.9%	3 8.1%	3 8.1%
	女性	35	4 11.4%	1 2.9%	13 37.1%	18 51.4%	3 8.6%	2 5.7%
	答えたくない	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区別	20歳代	4	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	14	1 7.1%	0 0.0%	8 57.1%	3 21.4%	2 14.3%	1 7.1%
	40歳代	13	0 0.0%	1 7.7%	5 38.5%	6 46.2%	1 7.7%	1 7.7%
	50歳代	17	3 17.6%	0 0.0%	7 41.2%	9 52.9%	1 5.9%	0 0.0%
	60歳代	14	3 21.4%	0 0.0%	3 21.4%	9 64.3%	1 7.1%	1 7.1%
	70歳代	10	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	7 70.0%	1 10.0%	2 20.0%
	80歳以上	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	地区別	宇土地区	29	3 10.3%	0 0.0%	15 51.7%	12 41.4%	2 6.9%
花園地区		14	2 14.3%	0 0.0%	6 42.9%	6 42.9%	0 0.0%	1 7.1%
轟地区		3	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
走潟地区		3	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%
緑川地区		6	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%
網津地区		10	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	7 70.0%	2 20.0%	1 10.0%
網田地区		8	3 37.5%	0 0.0%	3 37.5%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%

(3) 社会生活を維持するための事業

①チビッ子広場整備事業についてお伺いします。

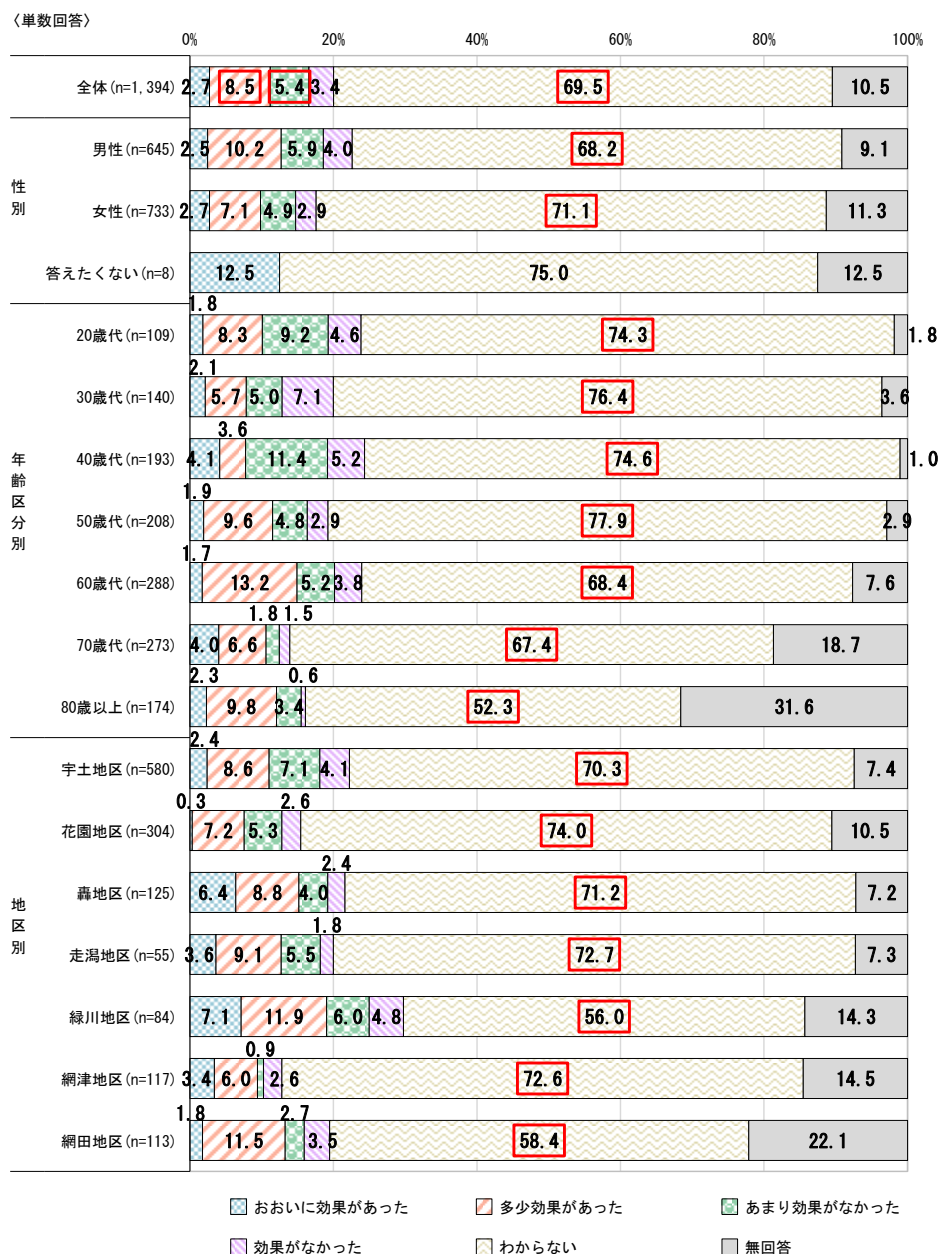
問 29 市では、外出自粛や子どもの遊び場の減少に伴い、子どもの居場所や遊び場を提供するため、チビッ子広場の遊具を設置しています（三拾町・上新開・下新開）が、効果があったと思われますか。（いずれか1つに○）

◇全体的にみると「わからない」が69.5%と最も高く、次いで「多少効果があった」が8.5%、「あまり効果がなかった」が5.4%となっています。

◇性別にみると、男性（68.2%）、女性（71.1%）ともに、「わからない」が最も高くなっています。

◇年齢区分別にみると、全ての年代において「わからない」が最も高くなっています。

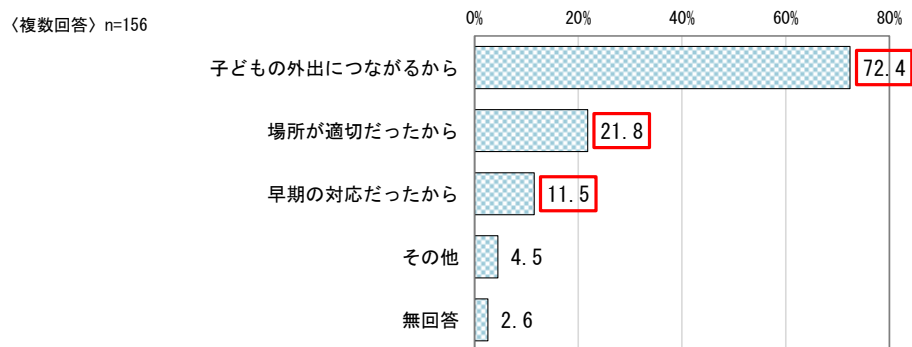
◇地区別にみると、全ての地区において「わからない」が最も高くなっています。



●問 29 で「1. おおいに効果があった」または「2. 多少効果があった」と回答された方のみ

問 30 あなたが、「効果があった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「子どもの外出につながるから」が 72.4%と最も高く、次いで「場所が適切だったから」が 21.8%、「早期の対応だったから」が 11.5%となっています。



〈その他〉

- ・子供達の心の安定, ストレス軽減につながった 2件
- ・子どもの遊び場が拡大された 2件
- ・子どもの運動不足解消になったから

◇性別にみると、男性（67.1%）、女性（77.8%）ともに、「子どもの外出につながるから」が最も高くなっています。

◇年齢区分別にみると、全ての年代において「子どもの外出につながるから」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、全ての地区において「子どもの外出につながるから」が最も高くなっています。

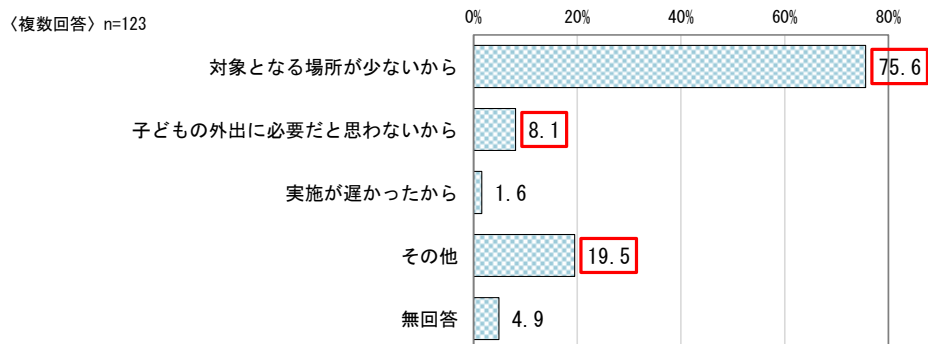
（上段：人 下段：%）

		標本数（人）	子どもの外出につながるから	早期の対応だったから	場所が適切だったから	その他	無回答
全体（単純集計）		156	113 72.4%	18 11.5%	34 21.8%	7 4.5%	4 2.6%
性別	男性	82	55 67.1%	9 11.0%	22 26.8%	3 3.7%	3 3.7%
	女性	72	56 77.8%	9 12.5%	11 15.3%	4 5.6%	1 1.4%
	答えたくない	1	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区分別	20歳代	11	11 100.0%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%
	30歳代	11	9 81.8%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%
	40歳代	15	13 86.7%	2 13.3%	4 26.7%	0 0.0%	0 0.0%
	50歳代	24	11 45.8%	1 4.2%	11 45.8%	2 8.3%	0 0.0%
	60歳代	43	34 79.1%	5 11.6%	9 20.9%	1 2.3%	1 2.3%
	70歳代	29	19 65.5%	6 20.7%	5 17.2%	0 0.0%	2 6.9%
	80歳以上	21	15 71.4%	2 9.5%	3 14.3%	2 9.5%	0 0.0%
地区別	宇土地区	64	48 75.0%	8 12.5%	16 25.0%	2 3.1%	1 1.6%
	花園地区	23	13 56.5%	2 8.7%	5 21.7%	2 8.7%	1 4.3%
	轟地区	19	14 73.7%	5 26.3%	2 10.5%	2 10.5%	0 0.0%
	走潟地区	7	5 71.4%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
	緑川地区	16	12 75.0%	0 0.0%	5 31.3%	1 6.3%	2 12.5%
	網津地区	11	9 81.8%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%
	網田地区	15	11 73.3%	2 13.3%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%

●問 29 で「3. あまり効果がなかった」または「4. 効果がなかった」と回答された方のみ

問 31 あなたが、「効果がなかった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「対象となる場所が少ないから」が 75.6%と最も高く、次いで「子どもの外出に必要なだと思わないから」が 8.1%、「その他」が 19.5%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・周知不足，知らなかった。
- ・遊具使用や密になることで感染の恐れがあるから。
- ・子ども，利用者が少ないから。
- ・遊具が少ない，補修されていない。

◇性別にみると、男性（75.0%）、女性（78.9%）ともに、「対象となる場所が少ないから」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、全ての年代において「対象となる場所が少ないから」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、全ての地区において「対象となる場所が少ないから」が最も高くなっています。

（上段：人 下段：%）

		標本数（人）	子どもの外出に必要だと思わない	実施が遅かったから	対象となる場所が少ないから	その他	無回答
全体（単純集計）		123	10 8.1%	2 1.6%	93 75.6%	24 19.5%	6 4.9%
性別	男性	64	8 12.5%	0 0.0%	48 75.0%	9 14.1%	1 1.6%
	女性	57	2 3.5%	2 3.5%	45 78.9%	15 26.3%	3 5.3%
	答えたくない	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区別	20歳代	15	0 0.0%	1 6.7%	10 66.7%	4 26.7%	0 0.0%
	30歳代	17	1 5.9%	0 0.0%	15 88.2%	5 29.4%	0 0.0%
	40歳代	32	4 12.5%	1 3.1%	21 65.6%	8 25.0%	3 9.4%
	50歳代	16	2 12.5%	0 0.0%	14 87.5%	1 6.3%	0 0.0%
	60歳代	26	3 11.5%	0 0.0%	21 80.8%	3 11.5%	1 3.8%
	70歳代	9	0 0.0%	0 0.0%	7 77.8%	2 22.2%	0 0.0%
	80歳以上	7	0 0.0%	0 0.0%	5 71.4%	1 14.3%	1 14.3%
	地区別	宇土地区	65	5 7.7%	1 1.5%	50 76.9%	12 18.5%
花園地区		24	2 8.3%	0 0.0%	20 83.3%	2 8.3%	2 8.3%
轟地区		8	0 0.0%	0 0.0%	5 62.5%	3 37.5%	0 0.0%
走潟地区		4	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
緑川地区		9	0 0.0%	0 0.0%	6 66.7%	3 33.3%	0 0.0%
網津地区		4	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	2 50.0%	0 0.0%
網田地区		7	2 28.6%	1 14.3%	5 71.4%	1 14.3%	0 0.0%

②学校の臨時休校に伴う児童受け入れ支援事業についてお伺いします。

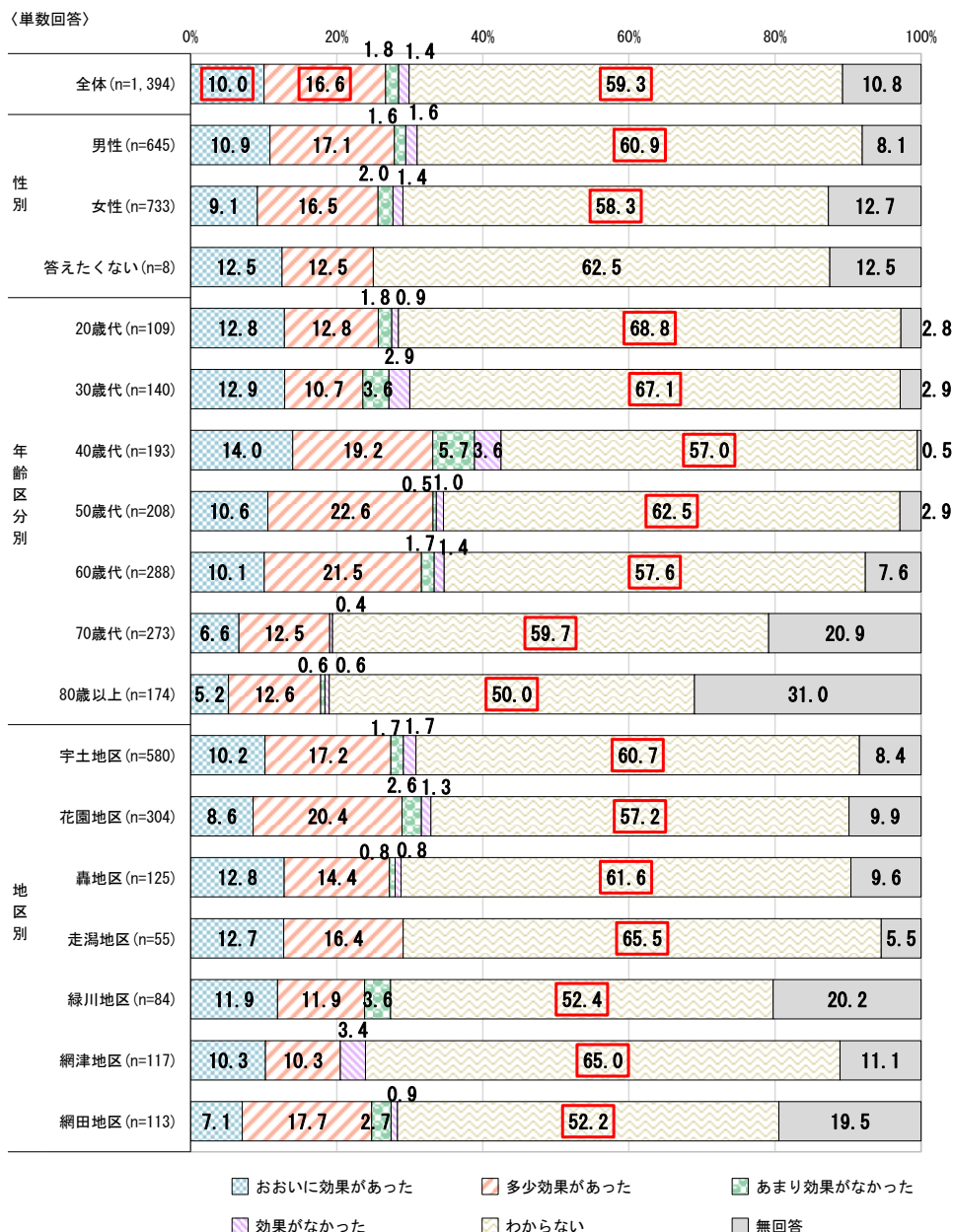
問 32 市では、学校の臨時休校に伴い、特別支援員や心の教室相談員等により、R2.4～5月に学校での児童受け入れを行っていましたが、効果があったと思われますか。(いずれか1つに○)

◇全体的にみると「わからない」が 59.3%と最も高く、次いで「多少効果があった」が 16.6%、「おおいに効果があった」が 10.0%となっています。

◇性別にみると、男性（60.9%）、女性（58.3%）ともに「わからない」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、全ての年代において「わからない」が最も高くなっています。

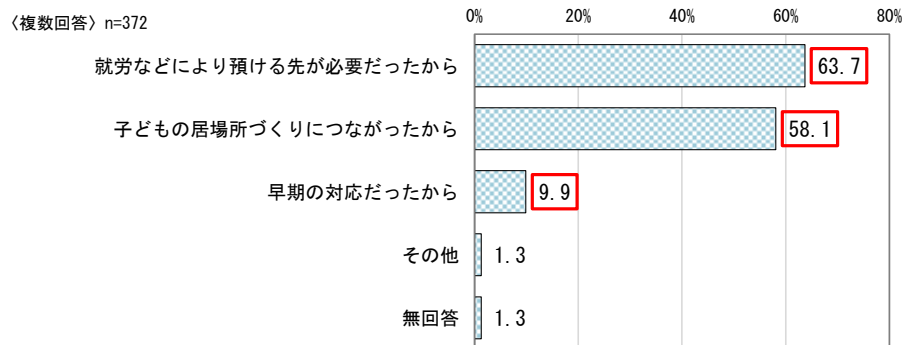
◇地区別にみると、全ての地区において「わからない」が最も高くなっています。



●問 32 で「1. おおいに効果があった」または「2. 多少効果があった」と回答された方のみ

問 33 あなたが、「効果があった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「就労などにより預ける先が必要だったから」が 63.7%と最も高く、次いで「子どもの居場所づくりにつながったから」が 58.1%、「早期の対応だったから」が 9.9%となっています。



〈その他〉 ※一部抜粋

- ・子どもが留守番できない家庭もあったと思うから。
- ・子ども、親、家族、教師の精神的不安軽減や対応策に少しつながったから。

◇性別にみると、男性（59.4%）、女性（68.1%）ともに、「就労などにより預ける先が必要だったから」が最も高くなっています。また、男性では「子どもの居場所づくりにつながったから」が同率で最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、20歳代から50歳代では「就労などにより預ける先が必要だったから」が、60歳代から80歳代では「子どもの居場所づくりにつながったから」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、宇土地区、花園地区、轟地区、走潟地区、網田地区では「就労などにより預ける先が必要だったから」が、緑川地区、網津地区では「子どもの居場所づくりにつながったから」が最も高くなっています。また、網田地区では「子どもの居場所づくりにつながったから」が同率で最も高くなっています。

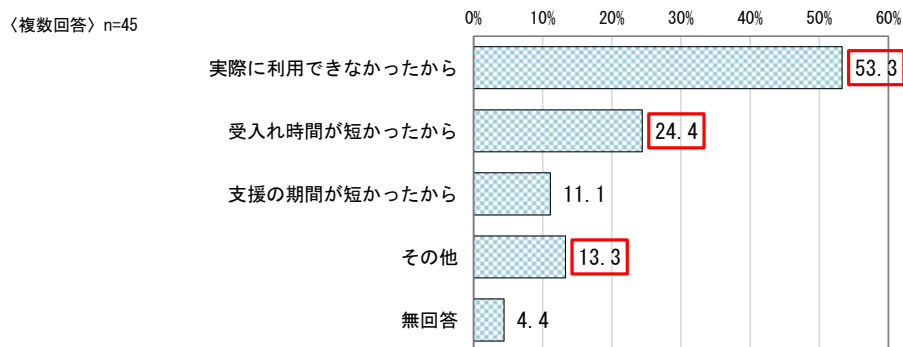
(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	就労などにより預ける先が必要だったから	子どもの居場所づくりにつながったから	早期の対応だったから	その他	無回答
全体 (単純集計)		372	237 63.7%	216 58.1%	37 9.9%	5 1.3%	5 1.3%
性別	男性	180	107 59.4%	107 59.4%	20 11.1%	2 1.1%	4 2.2%
	女性	188	128 68.1%	106 56.4%	17 9.0%	3 1.6%	1 0.5%
	答えたくない	2	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区別	20歳代	28	20 71.4%	15 53.6%	3 10.7%	2 7.1%	0 0.0%
	30歳代	33	25 75.8%	13 39.4%	3 9.1%	1 3.0%	0 0.0%
	40歳代	64	49 76.6%	31 48.4%	5 7.8%	1 1.6%	1 1.6%
	50歳代	69	46 66.7%	41 59.4%	10 14.5%	0 0.0%	0 0.0%
	60歳代	91	53 58.2%	61 67.0%	6 6.6%	0 0.0%	0 0.0%
	70歳代	52	32 61.5%	34 65.4%	5 9.6%	1 1.9%	1 1.9%
	80歳以上	31	10 32.3%	18 58.1%	4 12.9%	0 0.0%	3 9.7%
	地区別	宇土地区	159	104 65.4%	90 56.6%	18 11.3%	2 1.3%
花園地区		88	53 60.2%	51 58.0%	5 5.7%	2 2.3%	2 2.3%
轟地区		34	23 67.6%	19 55.9%	3 8.8%	1 2.9%	1 2.9%
走潟地区		16	13 81.3%	7 43.8%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%
緑川地区		20	12 60.0%	14 70.0%	3 15.0%	0 0.0%	0 0.0%
網津地区		24	17 70.8%	19 79.2%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
網田地区		28	14 50.0%	14 50.0%	5 17.9%	0 0.0%	0 0.0%

●問 32 で「3. あまり効果がなかった」または「4. 効果がなかった」と回答された方のみ

問 34 あなたが、「効果がなかった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「実際に利用できなかったから」が 53.3%と最も高く、次いで「受入れ時間が短かったから」が 24.4%、「その他」が 13.3%となっています。



〈その他〉 ※一部抜粋

- ・受け入れ対象だったが、感染の恐れがあったため行けなかった。

◇性別にみると、男性（45.0%）、女性（60.0%）ともに、「実際に利用できなかったから」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、70歳代では「受入れ時間が短かったから」が最も高く、それ以外の年代では「実際に利用できなかったから」が最も高くなっています。60歳代では「受入れ時間が短かったから」が同率で最も高くなっています。

◇地区別にみると、走潟地区（回答対象者なし）を除く全ての地区において「実際に利用できなかったから」が最も高くなっています。

（上段：人 下段：％）

		標本数（人）	実際に利用できなかったから	受入れ時間が短かったから	支援の期間が短かったから	その他	無回答
全体（単純集計）		45	24 53.3%	11 24.4%	5 11.1%	6 13.3%	2 4.4%
性別	男性	20	9 45.0%	7 35.0%	2 10.0%	2 10.0%	1 5.0%
	女性	25	15 60.0%	4 16.0%	3 12.0%	4 16.0%	1 4.0%
	答えたくない	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区別	20歳代	3	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	9	6 66.7%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%
	40歳代	18	10 55.6%	2 11.1%	1 5.6%	4 22.2%	1 5.6%
	50歳代	3	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	60歳代	9	4 44.4%	4 44.4%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%
	70歳代	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	80歳以上	2	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
	地区別	宇土地区	20	8 40.0%	5 25.0%	5 25.0%	3 15.0%
花園地区	12	9 75.0%	2 16.7%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	
轟地区	2	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	
走潟地区	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
緑川地区	3	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	
網津地区	4	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	
網田地区	4	3 75.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

③宇土市緊急学生支援給付金についてお伺いします。

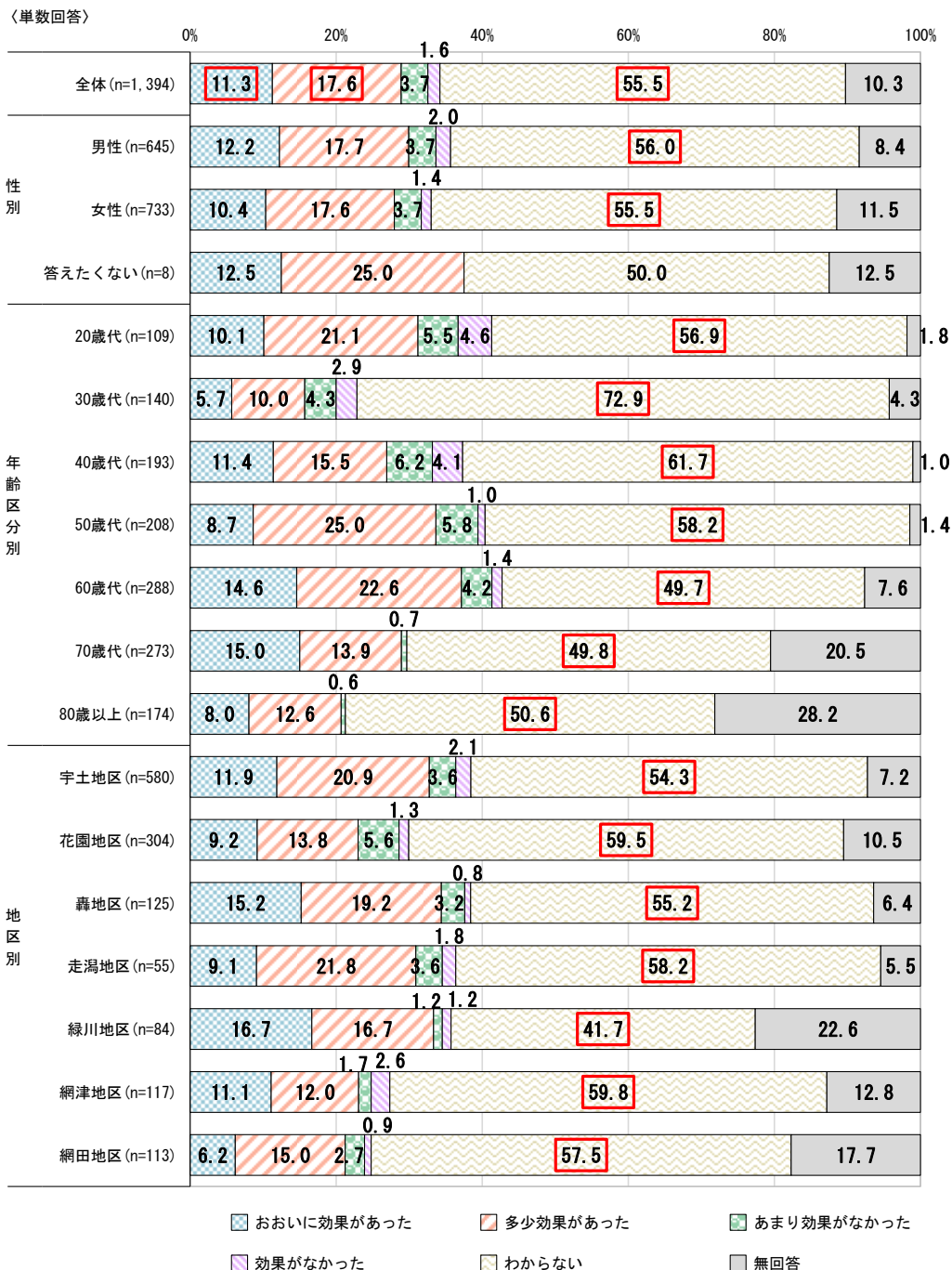
問 35 市では、経済的に困窮している大学生等へ5万円の給付を行っていますが、効果があつたと思われませんか。(いずれか1つに○)

◇全体的にみると「わからない」が55.5%と最も高く、次いで「多少効果があつた」が17.6%、「おおいに効果があつた」が11.3%となっています。

◇性別にみると、男性(56.0%)、女性(55.5%)ともに、「わからない」が最も高くなっています。

◇年齢区分別にみると、全ての年代において「わからない」が最も高くなっています。

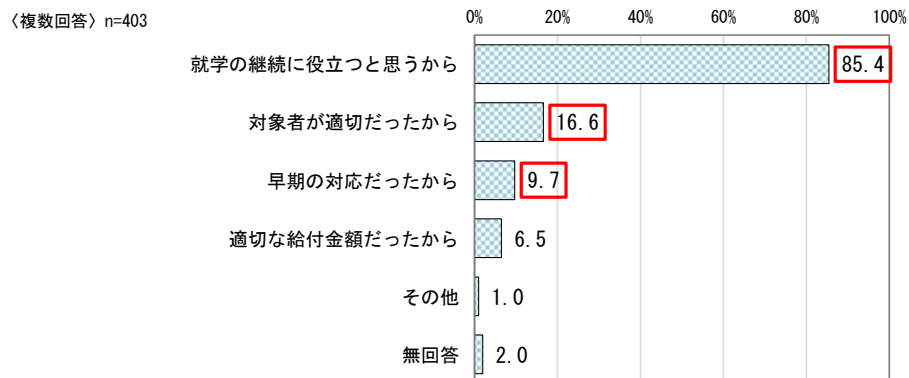
◇地区別にみると、全ての地区において「わからない」が最も高くなっています。



●問 35 で「1. おおいに効果があった」または「2. 多少効果があった」と回答された方のみ

問 36 あなたが、「効果があった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「就学の継続に役立つと思うから」が 85.4%と最も高く、次いで「対象者が適切だったから」が 16.6%、「早期の対応だったから」が 9.7%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・経済面の不安など、精神的な不安軽減に少しつながったから。
- ・大学生だが、知らなかった。

◇性別にみると、男性（83.9%）、女性（86.3%）ともに、「就学の継続に役立つと思うから」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、全ての年代において「就学の継続に役立つと思うから」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、全ての地区において「就学の継続に役立つと思うから」が最も高くなっています。

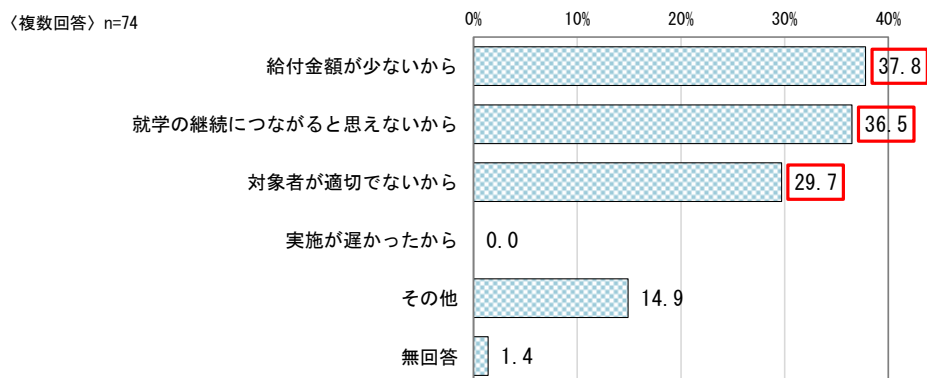
（上段：人 下段：%）

		標本数（人）	就学の継続に役立つと思うから	早期の対応だったから	対象者が適切だったから	適切な給付金額だったから	その他	無回答
全体（単純集計）		403	344 85.4%	39 9.7%	67 16.6%	26 6.5%	4 1.0%	8 2.0%
性別	男性	193	162 83.9%	19 9.8%	32 16.6%	12 6.2%	3 1.6%	4 2.1%
	女性	205	177 86.3%	20 9.8%	35 17.1%	14 6.8%	1 0.5%	4 2.0%
	答えたくない	3	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区別	20歳代	34	26 76.5%	7 20.6%	6 17.6%	2 5.9%	2 5.9%	2 5.9%
	30歳代	22	20 90.9%	0 0.0%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代	52	47 90.4%	7 13.5%	12 23.1%	3 5.8%	0 0.0%	0 0.0%
	50歳代	70	57 81.4%	7 10.0%	10 14.3%	5 7.1%	1 1.4%	2 2.9%
	60歳代	107	93 86.9%	6 5.6%	20 18.7%	5 4.7%	1 0.9%	1 0.9%
	70歳代	79	68 86.1%	9 11.4%	13 16.5%	6 7.6%	0 0.0%	2 2.5%
	80歳以上	36	30 83.3%	3 8.3%	4 11.1%	4 11.1%	0 0.0%	1 2.8%
	地区別	宇土地区	190	171 90.0%	20 10.5%	26 13.7%	9 4.7%	2 1.1%
花園地区		70	56 80.0%	6 8.6%	14 20.0%	5 7.1%	0 0.0%	1 1.4%
轟地区		43	34 79.1%	6 14.0%	11 25.6%	4 9.3%	1 2.3%	0 0.0%
走潟地区		17	13 76.5%	1 5.9%	3 17.6%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%
緑川地区		28	22 78.6%	3 10.7%	6 21.4%	1 3.6%	0 0.0%	2 7.1%
網津地区		27	27 100.0%	0 0.0%	4 14.8%	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%
網田地区		24	18 75.0%	3 12.5%	3 12.5%	4 16.7%	1 4.2%	0 0.0%

●問 35 で「3. あまり効果がなかった」または「4. 効果がなかった」と回答された方のみ

問 37 あなたが、「効果がなかった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「給付金額が少ないから」が 37.8%と最も高く、次いで「就学の継続につながると思えないから」が 36.5%、「対象者が適切でないから」が 29.7%となっています。



〈その他〉 ※一部抜粋

- ・この制度を知らなかったから。
- ・給付基準に不公平感がある。
- ・手続きが面倒（書類等）。
- ・コロナ影響がまだ続いているので。

◇性別にみると、男性では「就学の継続につながると思えないから」(40.5%)が、女性では「給付金額が少ないから」(43.2%)が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、20歳代、60歳代では「給付金額が少ないから」が、40歳代では「就学の継続につながると思えないから」が、50歳代では「対象者が適切でないから」が最も高くなっています。また、30歳代では、「就学の継続につながると思えないから」、「対象者が適切でないから」、「給付金額が少ないから」が同率で最も高くなっています。

◇地区別にみると、宇土地区、網田地区では、「給付金額が少ないから」が、花園地区、走潟地区では、「就学の継続につながると思えないから」が最も高くなっています。また、轟地区では、「就学の継続につながると思えないから」、「給付金額が少ないから」、「対象者が適切でないから」が同率で最も高く、緑川地区では、「就学の継続につながると思えないから」、「給付金額が少ないから」が同率で最も高くなっています。網津地区では、「給付金額が少ないから」、「対象者が適切でないから」が同率で最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

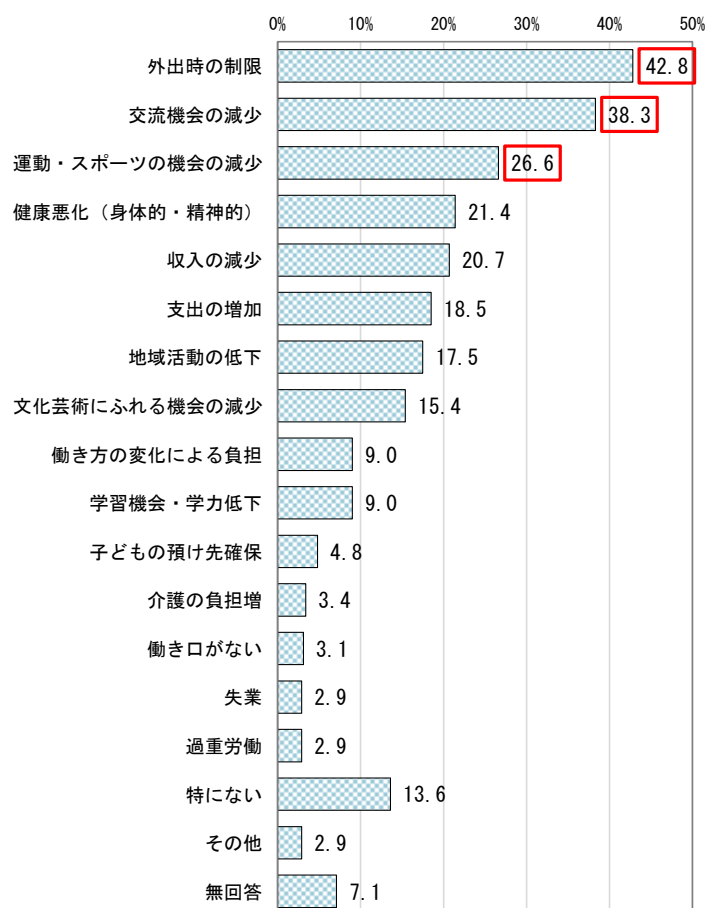
		標本数(人)	い から 就学 の 継 続 に つ な が る と 思 え な い	実 施 が 遅 か つ た か ら	対 象 者 が 適 切 で な い か ら	給 付 金 額 が 少 な い か ら	そ の 他	無 回 答
全体 (単純集計)		74	27 36.5%	0 0.0%	22 29.7%	28 37.8%	11 14.9%	1 1.4%
性別	男性	37	15 40.5%	0 0.0%	10 27.0%	12 32.4%	4 10.8%	0 0.0%
	女性	37	12 32.4%	0 0.0%	12 32.4%	16 43.2%	7 18.9%	1 2.7%
	答えたくない	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区別	20歳代	11	4 36.4%	0 0.0%	1 9.1%	5 45.5%	4 36.4%	0 0.0%
	30歳代	10	3 30.0%	0 0.0%	3 30.0%	3 30.0%	1 10.0%	0 0.0%
	40歳代	20	11 55.0%	0 0.0%	6 30.0%	8 40.0%	1 5.0%	0 0.0%
	50歳代	14	3 21.4%	0 0.0%	6 42.9%	5 35.7%	4 28.6%	0 0.0%
	60歳代	16	5 31.3%	0 0.0%	5 31.3%	7 43.8%	1 6.3%	0 0.0%
	70歳代	2	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	80歳以上	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
地区別	宇土地区	33	10 30.3%	0 0.0%	12 36.4%	14 42.4%	5 15.2%	0 0.0%
	花園地区	21	10 47.6%	0 0.0%	4 19.0%	8 38.1%	2 9.5%	0 0.0%
	轟地区	5	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%
	走潟地区	3	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	緑川地区	2	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	網津地区	5	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%
	網田地区	4	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%

3 日常生活における困りごとについて（ニーズ調査）

問 38 あなたが自粛期に困っていたことや不安な事がありましたか。（あてはまるものすべてに○）

◇全体的にみると「外出時の制限」が 42.8%と最も高く、次いで「交流機会の減少」が 38.3%、「運動・スポーツの機会の減少」が 26.6%となっています。

〈複数回答〉 n=1,394



〈その他〉※一部抜粋

- ・入院入所中の家族との面会制限
- ・感染への不安
- ・離れて住む家族等に会えない
- ・買い占めによる品不足
- ・収入減少，失業，倒産への不安
- ・病院に行きづらい
- ・流行が長期化することへの不安
- ・健康への不安，ストレス
- ・運動不足，体重増加，持病憎悪
- ・恐ろしくてバス，電車が利用できない
- ・買い物
- ・交流機会が完全にストップ
- ・子どもの遊び場
- ・コロナに感染すると他の人に感染させてしまうかもしれないという不安

◇性別にみると、男性（41.1%）、女性（44.6%）ともに、「外出時の制限」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、20歳代から50歳代では「外出時の制限」が、60歳代から80歳代では「交流機会の減少」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、轟地区、緑川地区では「交流機会の減少」が最も高く、それ以外の地区では「外出時の制限」が最も高くなっています。

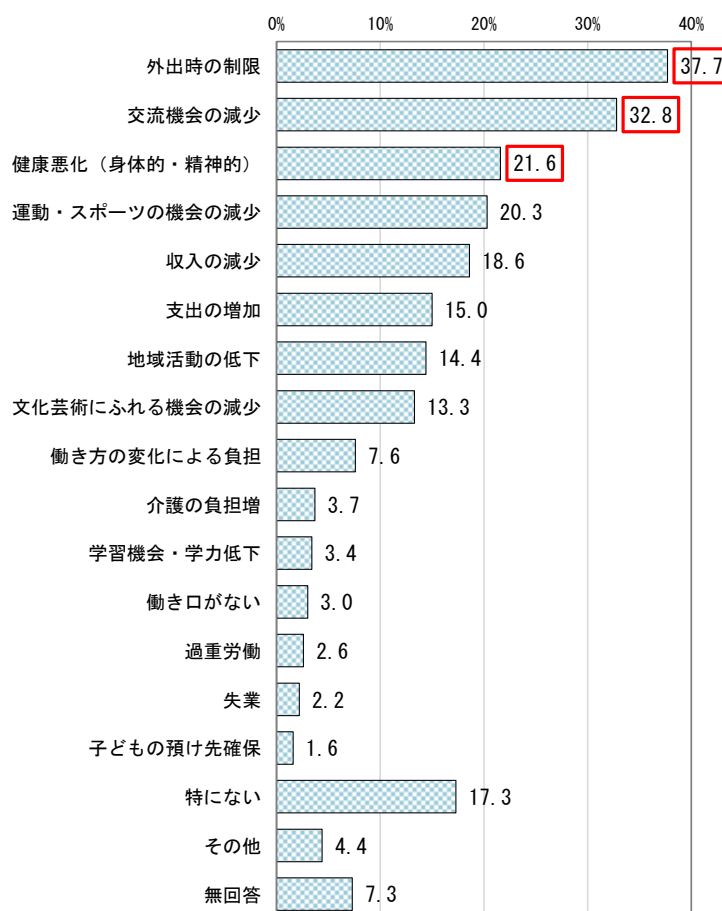
(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	収入の減少	支出の増加	失業	過重労働	働き口がない	働き方の変化による負担	健康悪化(身体的・精神的)	学習機会・学力低下	子どもの預け先確保	介護の負担増	地域活動の低下	文化芸術にふれる機会の減少	運動・スポーツの機会の減少	交流機会の減少	外出時の制限	特になし	その他	無回答
全体(単純集計)	1,394	288 20.7%	258 18.5%	41 2.9%	41 2.9%	43 3.1%	126 9.0%	298 21.4%	125 9.0%	67 4.8%	47 3.4%	244 17.5%	215 15.4%	371 26.6%	534 38.3%	596 42.8%	189 13.6%	41 2.9%	99 7.1%
性別	男性	645 23.7%	113 17.5%	17 2.6%	18 2.8%	20 3.1%	57 8.8%	127 19.7%	48 7.4%	27 4.2%	23 3.6%	134 20.8%	84 13.0%	174 27.0%	247 38.3%	265 41.1%	93 14.4%	15 2.3%	41 6.4%
	女性	733 17.9%	141 19.2%	24 3.3%	22 3.0%	23 3.1%	67 9.1%	169 23.1%	77 10.5%	40 5.5%	23 3.1%	110 15.0%	130 17.7%	194 26.5%	285 38.9%	327 44.6%	95 13.0%	26 3.5%	55 7.5%
	答えたくない	8 37.5%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 25.0%	2 37.5%	3 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢区別	20歳代	109 34.9%	25 22.9%	4 3.7%	4 3.7%	9 8.3%	16 14.7%	18 16.5%	13 11.9%	3 2.8%	2 1.8%	16 14.7%	17 15.6%	29 26.6%	42 38.5%	72 66.1%	11 10.1%	1 0.9%	0 0.0%
	30歳代	140 30.7%	41 29.3%	8 5.7%	12 8.6%	8 5.7%	23 16.4%	39 27.9%	23 16.4%	35 25.0%	0 0.0%	16 11.4%	20 14.3%	45 32.1%	53 37.9%	76 54.3%	9 6.4%	6 4.3%	3 2.1%
	40歳代	193 29.0%	62 32.1%	7 3.6%	14 7.3%	9 4.7%	31 16.1%	37 19.2%	59 30.6%	19 9.8%	7 3.6%	31 16.1%	36 18.7%	82 42.5%	78 40.4%	91 47.2%	14 7.3%	6 3.1%	2 1.0%
	50歳代	208 26.9%	39 18.8%	10 4.8%	7 3.4%	6 2.9%	32 15.4%	51 24.5%	18 8.7%	5 2.4%	6 2.9%	32 15.4%	29 13.9%	54 26.0%	80 38.5%	102 49.0%	16 7.7%	11 5.3%	4 1.9%
	60歳代	288 17.0%	45 15.6%	6 2.1%	3 1.0%	6 2.1%	16 5.6%	54 18.8%	5 1.7%	5 1.7%	11 3.8%	68 23.6%	52 18.1%	70 24.3%	124 43.1%	115 39.9%	43 14.9%	6 2.1%	16 5.6%
	70歳代	273 10.6%	29 10.6%	3 1.1%	1 0.4%	5 1.8%	6 2.2%	58 21.2%	4 1.5%	0 0.0%	11 4.0%	59 21.6%	49 17.9%	60 22.0%	109 39.9%	98 35.9%	60 22.0%	6 2.2%	31 11.4%
	80歳以上	174 8.0%	15 8.6%	3 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	39 22.4%	2 1.1%	0 0.0%	10 5.7%	22 12.6%	12 6.9%	29 16.7%	48 27.6%	40 23.0%	35 20.1%	5 2.9%	41 23.6%
	地区別	宇土地区	580 113 19.5%	112 19.3%	19 3.3%	22 3.8%	22 3.8%	61 10.5%	132 22.8%	55 9.5%	34 5.9%	21 3.6%	89 15.3%	100 17.2%	166 28.6%	231 39.8%	251 43.3%	82 14.1%	24 4.1%
花園地区		304 66 21.7%	62 20.4%	9 3.0%	7 2.3%	9 3.0%	34 11.2%	69 22.7%	38 12.5%	18 5.9%	11 3.6%	50 16.4%	52 17.1%	99 32.6%	128 42.1%	155 51.0%	32 10.5%	8 2.6%	18 5.9%
轟地区		125 21 16.8%	23 18.4%	3 2.4%	7 5.6%	2 1.6%	10 8.0%	23 18.4%	7 5.6%	3 2.4%	1 0.8%	31 24.8%	22 17.6%	35 28.0%	51 40.8%	50 40.0%	18 14.4%	1 0.8%	8 6.4%
走湯地区		55 9 16.4%	8 14.5%	0 0.0%	1 1.8%	2 3.6%	1 1.8%	8 14.5%	1 1.8%	2 3.6%	2 3.6%	13 23.6%	8 14.5%	5 9.1%	21 38.2%	23 41.8%	10 18.2%	1 1.8%	3 5.5%
緑川地区		84 15 17.9%	16 19.0%	2 2.4%	1 1.2%	2 2.4%	5 6.0%	17 20.2%	5 6.0%	2 2.4%	5 6.0%	22 26.2%	9 10.7%	21 25.0%	37 44.0%	27 32.1%	10 11.9%	2 2.4%	12 14.3%
網津地区		117 36 30.8%	19 16.2%	6 5.1%	1 0.9%	6 5.1%	9 7.7%	24 20.5%	10 8.5%	4 3.4%	3 2.6%	16 13.7%	9 7.7%	22 18.8%	32 27.4%	42 35.9%	12 10.3%	2 1.7%	15 12.8%
網田地区		113 24 21.2%	15 13.3%	1 0.9%	2 1.8%	0 0.0%	3 2.7%	20 17.7%	9 8.0%	4 3.5%	4 3.5%	22 19.5%	14 12.4%	22 19.5%	29 25.7%	42 37.2%	24 21.2%	1 0.9%	13 11.5%

問 39 あなたが現在困っていることや不安な事がありますか。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「外出時の制限」が 37.7%と最も高く、次いで「交流機会の減少」が 32.8%、「健康悪化（身体的・精神的）」が 21.6%となっています。

〈複数回答〉n=1,394



〈その他〉※一部抜粋

- ・ 感染への不安
- ・ 収入減少，失業，倒産への不安
- ・ 流行が長期化することへの不安
- ・ 病院を受診しにくくなった
- ・ 持病がある為感染への不安
- ・ 人との交流や外出ができない状態が続くことによるストレス
- ・ 学生等の大会活動が中止や減少すること
- ・ 公共交通の利用がこわい
- ・ 子供達の体験，経験，コミュニケーション不足
- ・ 市民へ貸付金が欲しい
- ・ 小さな子供を安全に遊ばせることの出来る施設の利用が制限されている

- ・入院入所時の面会制限
- ・今後、流行拡大による保育所の閉鎖の不安

◇性別にみると、男性（36.1%）、女性（39.0%）ともに、「外出時の制限」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、20歳代から50歳代では「外出時の制限」が、60歳代から70歳代では「交流機会の減少」が、80歳代では、「健康悪化（身体的・精神的）」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、轟地区、緑川地区では「交流機会の減少」が最も高く、それ以外の地区では「外出時の制限」が最も高くなっています。

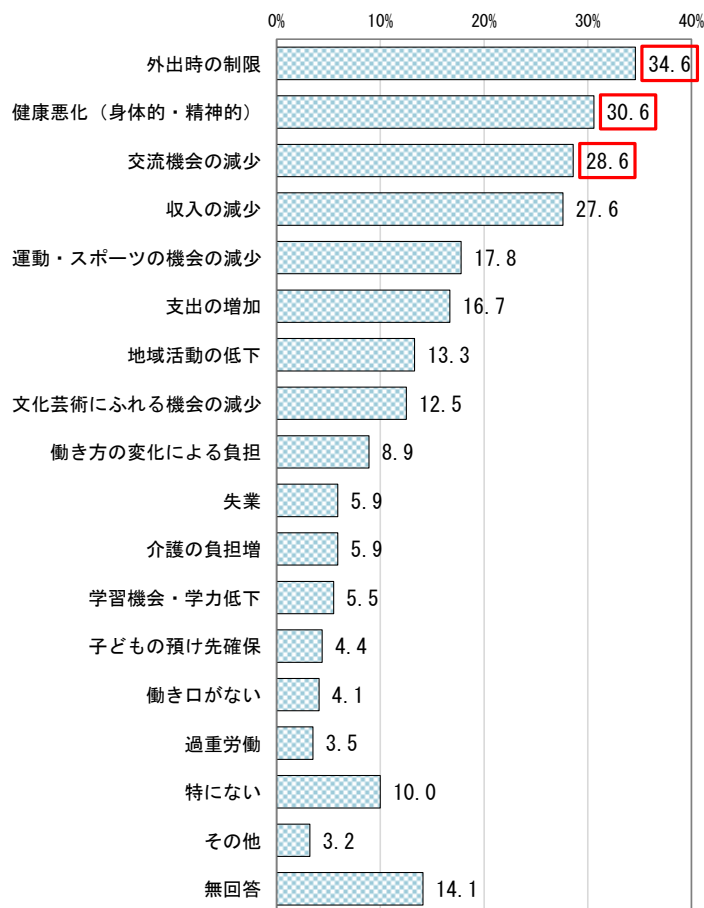
(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	収入の減少	支出の増加	失業	過重労働	働き口がない	働き方の変化による負担	健康悪化(身体的・精神的)	学習機会・学力低下	子どもの預け先確保	介護の負担増	地域活動の低下	文化芸術にふれる機会の減少	運動・スポーツの機会の減少	交流機会の減少	外出時の制限	特にない	その他	無回答	
全体(単純集計)	1,394	259 18.6%	209 15.0%	31 2.2%	36 2.6%	42 3.0%	106 7.6%	301 21.6%	47 3.4%	23 1.6%	52 3.7%	201 14.4%	186 13.3%	283 20.3%	457 32.8%	525 37.7%	241 17.3%	62 4.4%	102 7.3%	
性別	男性	645	144 22.3%	94 14.6%	17 2.6%	16 2.5%	23 3.6%	56 8.7%	136 21.1%	18 2.8%	15 2.3%	23 3.6%	118 18.3%	76 11.8%	148 22.9%	214 33.2%	233 36.1%	112 17.4%	20 3.1%	42 6.5%
	女性	733	112 15.3%	112 15.3%	14 1.9%	19 2.6%	19 2.6%	50 6.8%	161 22.0%	28 3.8%	8 1.1%	29 4.0%	83 11.3%	109 14.9%	132 18.0%	241 32.9%	286 39.0%	128 17.5%	42 5.7%	56 7.6%
	答えたくない	8	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%
年齢区別	20歳代	109	34 31.2%	20 18.3%	3 2.8%	5 4.6%	7 6.4%	15 13.8%	16 14.7%	7 6.4%	2 1.8%	2 1.8%	11 10.1%	18 16.5%	23 21.1%	39 35.8%	66 60.6%	15 13.8%	4 3.7%	1 0.9%
	30歳代	140	40 28.6%	29 20.7%	9 6.4%	8 5.7%	7 5.0%	19 13.6%	36 25.7%	8 5.7%	11 7.9%	1 0.7%	17 12.1%	20 14.3%	37 26.4%	47 33.6%	71 50.7%	14 10.0%	11 7.9%	3 2.1%
	40歳代	193	41 21.2%	50 25.9%	4 2.1%	11 5.7%	6 3.1%	23 11.9%	41 21.2%	16 8.3%	5 2.6%	8 4.1%	28 14.5%	35 18.1%	58 30.1%	68 35.2%	81 42.0%	24 12.4%	11 5.7%	3 1.6%
	50歳代	208	50 24.0%	29 13.9%	6 2.9%	6 2.9%	7 3.4%	30 14.4%	54 26.0%	11 5.3%	3 1.4%	8 3.8%	24 11.5%	22 10.6%	39 18.8%	61 29.3%	88 42.3%	30 14.4%	14 6.7%	4 1.9%
	60歳代	288	44 15.3%	38 13.2%	3 1.0%	3 1.0%	8 2.8%	14 4.9%	51 17.7%	1 0.3%	2 0.7%	9 3.1%	56 19.4%	43 14.9%	51 17.7%	108 37.5%	95 33.0%	55 19.1%	11 3.8%	21 7.3%
	70歳代	273	34 12.5%	25 9.2%	3 1.1%	2 0.7%	6 2.2%	4 1.5%	54 19.8%	3 1.1%	0 0.0%	15 5.5%	48 17.6%	35 12.8%	47 17.2%	93 34.1%	80 29.3%	63 23.1%	7 2.6%	32 11.7%
	80歳以上	174	13 7.5%	16 9.2%	3 1.7%	1 0.6%	1 0.6%	1 0.6%	46 26.4%	0 0.0%	0 0.0%	9 5.2%	17 9.8%	13 7.5%	27 15.5%	41 23.6%	42 24.1%	39 22.4%	4 2.3%	36 20.7%
	地区別	宇土地区	580	101 17.4%	93 16.0%	18 3.1%	14 2.4%	26 4.5%	52 9.0%	136 23.4%	17 2.9%	10 1.7%	25 4.3%	70 12.1%	104 17.9%	125 21.6%	199 34.3%	227 39.1%	107 18.4%	35 6.0%
花園地区		304	59 19.4%	52 17.1%	6 2.0%	6 2.0%	9 3.0%	27 8.9%	72 23.7%	18 5.9%	7 2.3%	9 3.0%	41 13.5%	43 14.1%	75 24.7%	106 34.9%	124 40.8%	50 16.4%	12 3.9%	17 5.6%
轟地区		125	20 16.0%	12 9.6%	2 1.6%	7 5.6%	1 0.8%	8 6.4%	18 14.4%	2 1.6%	2 1.6%	3 2.4%	26 20.8%	13 10.4%	28 22.4%	49 39.2%	44 35.2%	23 18.4%	2 1.6%	10 8.0%
走潟地区		55	11 20.0%	7 12.7%	0 0.0%	3 5.5%	1 1.8%	2 3.6%	7 12.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.5%	9 16.4%	5 9.1%	6 10.9%	17 30.9%	19 34.5%	12 21.8%	4 7.3%	3 5.5%
緑川地区		84	14 16.7%	10 11.9%	0 0.0%	1 1.2%	1 1.2%	4 4.8%	15 17.9%	2 2.4%	2 2.4%	6 7.1%	19 22.6%	6 7.1%	15 17.9%	30 35.7%	24 28.6%	8 9.5%	2 2.4%	10 11.9%
網津地区		117	29 24.8%	16 13.7%	5 4.3%	2 1.7%	4 3.4%	9 7.7%	25 21.4%	5 4.3%	1 0.9%	4 3.4%	17 14.5%	7 6.0%	16 13.7%	29 24.8%	43 36.8%	15 12.8%	2 1.7%	15 12.8%
網田地区		113	21 18.6%	18 15.9%	0 0.0%	3 2.7%	0 0.0%	3 2.7%	20 17.7%	2 1.8%	1 0.9%	2 1.8%	19 16.8%	7 6.2%	16 14.2%	24 21.2%	38 33.6%	25 22.1%	3 2.7%	14 12.4%

問 40 あなたが今後困ることや不安な事がありますか。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「外出時の制限」が 34.6%と最も高く、次いで「健康悪化（身体的・精神的）」が 30.6%、「交流機会の減少」が 28.6%となっています。

〈複数回答〉 n=1,394



〈その他〉※一部抜粋

- ・ 感染への不安
- ・ 生活の負担増加
- ・ 外出、会食の制限
- ・ 医療に対する不安
- ・ かぜ等の発熱の不安
- ・ 状況が長引くことになっての地域経済の冷え込み
- ・ 収入減少、失業、倒産への不安
- ・ 流行が長期化することへの不安
- ・ イベント、会合の設定
- ・ 県境をまたぐ移動。
- ・ コロナ感染による差別

◇性別にみると、男性（33.8%）、女性（35.5%）ともに、「外出時の制限」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、20歳代から30歳代では「外出時の制限」が、40歳代から50歳代では「収入の減少」が、60歳代から70歳代では「交流機会の減少」が、80歳代では「健康悪化（身体的・精神的）」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、走潟地区では「収入の減少」が、緑川地区では「交流機会の減少」が最も高く、それ以外の地区では「外出時の制限」が最も高くなっています。

（上段：人 下段：％）

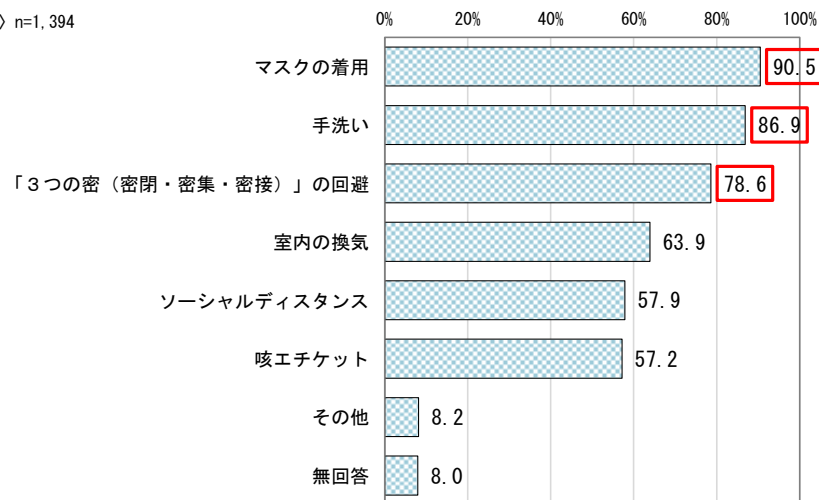
	標本数（人）	収入の減少	支出の増加	失業	過重労働	働き口がない	働き方の変化による負担	健康悪化（身体的・精神的）	学習機会・学力低下	子どもの預け先確保	介護の負担増	地域活動の低下	文化芸術にふれる機会の減少	運動・スポーツの機会の減少	交流機会の減少	外出時の制限	特にない	その他	無回答	
全体（単純集計）	1,394	385	233	82	49	57	124	427	77	62	82	185	174	248	398	482	139	45	197	
		27.6%	16.7%	5.9%	3.5%	4.1%	8.9%	30.6%	5.5%	4.4%	5.9%	13.3%	12.5%	17.8%	28.6%	34.6%	10.0%	3.2%	14.1%	
性別	男性	645	190	110	41	29	31	63	185	28	26	33	109	78	120	183	218	65	17	80
			29.5%	17.1%	6.4%	4.5%	4.8%	9.8%	28.7%	4.3%	4.0%	5.1%	16.9%	12.1%	18.6%	28.4%	33.8%	10.1%	2.6%	12.4%
	女性	733	191	121	40	18	25	60	238	49	36	48	75	95	125	213	260	74	27	110
		26.1%	16.5%	5.5%	2.5%	3.4%	8.2%	32.5%	6.7%	4.9%	6.5%	10.2%	13.0%	17.1%	29.1%	35.5%	10.1%	3.7%	15.0%	
答えたくない	8	3	1	1	1	1	1	3	0	0	0	0	1	1	1	3	0	1	2	
		37.5%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	37.5%	0.0%	12.5%	25.0%	
年齢区別	20歳代	109	50	23	16	11	14	19	29	8	6	3	11	12	21	36	60	11	4	1
			45.9%	21.1%	14.7%	10.1%	12.8%	17.4%	26.6%	7.3%	5.5%	2.8%	10.1%	11.0%	19.3%	33.0%	55.0%	10.1%	3.7%	0.9%
	30歳代	140	59	40	15	11	9	24	44	23	31	1	14	13	36	36	61	13	10	8
			42.1%	28.6%	10.7%	7.9%	6.4%	17.1%	31.4%	16.4%	22.1%	0.7%	10.0%	9.3%	25.7%	25.7%	43.6%	9.3%	7.1%	5.7%
	40歳代	193	77	54	14	17	13	31	66	28	17	13	24	27	44	60	75	10	6	9
			39.9%	28.0%	7.3%	8.8%	6.7%	16.1%	34.2%	14.5%	8.8%	6.7%	12.4%	14.0%	22.8%	31.1%	38.9%	5.2%	3.1%	4.7%
	50歳代	208	81	36	21	8	8	28	76	10	2	11	20	25	33	50	76	18	5	16
			38.9%	17.3%	10.1%	3.8%	3.8%	13.5%	36.5%	4.8%	1.0%	5.3%	9.6%	12.0%	15.9%	24.0%	36.5%	8.7%	2.4%	7.7%
60歳代	288	67	39	9	0	7	18	78	4	5	20	45	43	40	97	85	30	4	56	
		23.3%	13.5%	3.1%	0.0%	2.4%	6.3%	27.1%	1.4%	1.7%	6.9%	15.6%	14.9%	13.9%	33.7%	29.5%	10.4%	1.4%	19.4%	
70歳代	273	36	27	4	1	6	4	78	0	1	20	50	39	50	85	81	35	10	48	
		13.2%	9.9%	1.5%	0.4%	2.2%	1.5%	28.6%	0.0%	0.4%	7.3%	18.3%	14.3%	18.3%	31.1%	29.7%	12.8%	3.7%	17.6%	
80歳以上	174	12	13	3	0	0	0	54	3	0	14	20	15	21	33	43	22	6	55	
		6.9%	7.5%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	31.0%	1.7%	0.0%	8.0%	11.5%	8.6%	12.1%	19.0%	24.7%	12.6%	3.4%	31.6%	
地区別	宇土地区	580	159	98	33	22	26	54	188	34	32	27	60	88	113	168	217	70	23	66
			27.4%	16.9%	5.7%	3.8%	4.5%	9.3%	32.4%	5.9%	5.5%	4.7%	10.3%	15.2%	19.5%	29.0%	37.4%	12.1%	4.0%	11.4%
	花園地区	304	86	54	23	11	16	37	100	24	14	17	41	35	57	98	110	29	10	42
			28.3%	17.8%	7.6%	3.6%	5.3%	12.2%	32.9%	7.9%	4.6%	5.6%	13.5%	11.5%	18.8%	32.2%	36.2%	9.5%	3.3%	13.8%
	轟地区	125	35	19	6	5	8	12	35	3	6	10	26	18	24	41	46	5	3	19
			28.0%	15.2%	4.8%	4.0%	6.4%	9.6%	28.0%	2.4%	4.8%	8.0%	20.8%	14.4%	19.2%	32.8%	36.8%	4.0%	2.4%	15.2%
	走潟地区	55	18	10	3	2	1	2	16	0	0	5	9	5	8	12	14	10	2	6
			32.7%	18.2%	5.5%	3.6%	1.8%	3.6%	29.1%	0.0%	0.0%	9.1%	16.4%	9.1%	14.5%	21.8%	25.5%	18.2%	3.6%	10.9%
緑川地区	84	15	10	3	1	1	2	23	4	1	13	15	10	15	26	22	4	3	11	
		17.9%	11.9%	3.6%	1.2%	1.2%	2.4%	27.4%	4.8%	1.2%	15.5%	17.9%	11.9%	17.9%	31.0%	26.2%	4.8%	3.6%	13.1%	
網津地区	117	34	18	11	2	4	8	34	5	7	5	17	8	12	26	35	12	2	20	
		29.1%	15.4%	9.4%	1.7%	3.4%	6.8%	29.1%	4.3%	6.0%	4.3%	14.5%	6.8%	10.3%	22.2%	29.9%	10.3%	1.7%	17.1%	
網田地区	113	32	20	1	4	0	6	26	7	2	5	16	9	16	23	34	9	2	27	
		28.3%	17.7%	0.9%	3.5%	0.0%	5.3%	23.0%	6.2%	1.8%	4.4%	14.2%	8.0%	14.2%	20.4%	30.1%	8.0%	1.8%	23.9%	

4 感染予防について

問 41 あなたが、感染予防に取り組んでいることはありますか。(いずれか 1 つに○)

◇全体的にみると「マスクの着用」が 90.5%と最も高く、次いで「手洗い」が 86.9%、「3つの密（密閉・密集・密接）」の回避」が 78.6%となっています。

〈複数回答〉 n=1,394



〈その他〉※一部抜粋

- ・ こまめに消毒する
- ・ 不要不急の外出自粛
- ・ (大人数の) 会食, 外食の自粛
- ・ うがい
- ・ 規則的な生活, 免疫力の向上
- ・ 買い物の回数を減らす, 短時間に済ませる
- ・ 感染者の多い地域へ行かない
- ・ 帰宅後の洗顔, 入浴, 洗濯
- ・ 会合への不参加
- ・ 人との接触を避ける
- ・ 検温
- ・ 子どもへの感染防止に対する指導, 意識づけ等の教育。
- ・ 湿度を 40%以上に保つ
- ・ 室内のタオルは毎日交換する
- ・ 自分のことは自分で守る。情報ニュースの必要性。地元地域のきめ細かな情報をもっとほしい。
- ・ 部屋の中でもマスクをつけている
- ・ リモートワーク

◇性別にみると、男性（90.4%）、女性（91.3%）ともに、「マスクの着用」が最も高くなっています。

◇年齢区別にみると、全ての年代において「マスクの着用」が最も高くなっています。

◇地区別にみると、全ての地区において「マスクの着用」が最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

		標本数（人）	「3つの密（密閉・密集・密接）」の回避	マスクの着用	手洗い	咳エチケット	ソーシャルディスタンス	室内の換気	その他	無回答
全体（単純集計）		1,394	1,096 78.6%	1,262 90.5%	1,212 86.9%	797 57.2%	807 57.9%	891 63.9%	115 8.2%	112 8.0%
性別	男性	645	505 78.3%	583 90.4%	550 85.3%	345 53.5%	368 57.1%	368 57.1%	41 6.4%	48 7.4%
	女性	733	584 79.7%	669 91.3%	653 89.1%	446 60.8%	435 59.3%	515 70.3%	74 10.1%	58 7.9%
	答えたくない	8	4 50.0%	6 75.0%	6 75.0%	4 50.0%	4 50.0%	4 50.0%	0 0.0%	2 25.0%
年齢区別	20歳代	109	89 81.7%	107 98.2%	102 93.6%	71 65.1%	76 69.7%	66 60.6%	9 8.3%	2 1.8%
	30歳代	140	114 81.4%	134 95.7%	129 92.1%	90 64.3%	98 70.0%	97 69.3%	15 10.7%	5 3.6%
	40歳代	193	168 87.0%	187 96.9%	181 93.8%	140 72.5%	147 76.2%	145 75.1%	19 9.8%	2 1.0%
	50歳代	208	181 87.0%	199 95.7%	191 91.8%	145 69.7%	154 74.0%	139 66.8%	22 10.6%	7 3.4%
	60歳代	288	224 77.8%	246 85.4%	240 83.3%	161 55.9%	171 59.4%	177 61.5%	21 7.3%	37 12.8%
	70歳代	273	219 80.2%	252 92.3%	240 87.9%	133 48.7%	127 46.5%	175 64.1%	18 6.6%	19 7.0%
	80歳以上	174	96 55.2%	132 75.9%	125 71.8%	53 30.5%	32 18.4%	88 50.6%	11 6.3%	36 20.7%
地区別	宇土地区	580	467 80.5%	539 92.9%	525 90.5%	357 61.6%	364 62.8%	390 67.2%	49 8.4%	35 6.0%
	花園地区	304	236 77.6%	272 89.5%	262 86.2%	178 58.6%	185 60.9%	206 67.8%	28 9.2%	28 9.2%
	轟地区	125	99 79.2%	111 88.8%	105 84.0%	71 56.8%	75 60.0%	65 52.0%	10 8.0%	12 9.6%
	走潟地区	55	45 81.8%	50 90.9%	47 85.5%	28 50.9%	30 54.5%	33 60.0%	5 9.1%	4 7.3%
	緑川地区	84	64 76.2%	74 88.1%	72 85.7%	31 36.9%	33 39.3%	50 59.5%	4 4.8%	7 8.3%
	網津地区	117	92 78.6%	109 93.2%	104 88.9%	68 58.1%	63 53.8%	69 59.0%	8 6.8%	6 5.1%
	網田地区	113	82 72.6%	96 85.0%	87 77.0%	57 50.4%	50 44.2%	69 61.1%	9 8.0%	15 13.3%

5 感染予防や新たな生活様式などに関する意見やアイデア等

問 42 感染予防や新たな生活様式などに関する意見やアイデア等, ご自由にご記入ください。(自由記述) ※一部抜粋

- ◇新たな生活様式の確立ではなく、感染予防の基本を理解していない人々、理解していても行動に移すことができない人々の教育をしっかりとこなう。
- ◇1 家族 1 人の無料 PCR 検査券を配布し、家族感染を早期発見する
- ◇宇土市においてももう少し街宣車でも回して注意を呼び掛けて欲しいものです。
- ◇1 世帯に 1 箱不織布のマスクを配布してほしい。市内で買い物できるように、商品券を配布してほしい。密をさけるため、住民税の支払いをコンビニでも支払えるように改善してほしいです。
- ◇DX の推進。行政手続きのリモート化 (40 歳代, 男性)
- ◇IT 関連の設備導入などに対する助成によりテレワークなどの推進につながると思われる。
- ◇PCR の徹底。
- ◇VR を使った、宇土の観光地ツアーなど、リモートでも魅力発信する。
- ◇ワーケーションの促進、住吉、網田あたりで誘致する。
- ◇公共交通機関の維持。コミュニティバス、デマンドタクシー導入。
- ◇正代関とのコラボレーション企画 (アドバイザー業務等)、商品開発。
- ◇山岳ガイドによる、白山トレッキングツアー、散策路整備。
- ◇立岡山自然公園の入場規制等、花見時期前の対策。
- ◇あらゆる情報を早く入手し、各自が積極的に感染予防に取り組むようにする。
- ◇アンケート等を PC 等で対応して頂けると有り難い。
- ◇ちびっこ広場等、子どもが遊べる場所をまとめた地図があると良い。
- ◇時間短縮、昼間でも飲食を国がもとめるが、宇土市内の飲食店もかわいそう。宇土市で飲食店のテイクアウトのお店を各家庭に紹介して頂ければ、助けるためにもテイクアウトを利用したい。
- ◇インフルエンザの助成金を若い世代も出してほしい。
- ◇お店など入口のドアが開いたら、消毒液がかかる様になっていたらいいかなあと思う。

- ◇コロナウイルスに対する効果があるワクチンを接種し、早く感染を終息させてほしい。
- ◇コロナウイルス関連の放送などにより、過剰反応した人たちの精神的負担の増加や、過度な外出自粛による運動不足、健康悪化が心配である。適切な内容、適切な量を考えて欲しい。
- ◇コロナの影響により売り上げ減少しており、いつまで続くかわからない。もっと幅広く補助金を支給して欲しい。売り上げが10%以上減少した会社にも支援して欲しい。
- ◇コロナの事で、区の行事など市からの指導が必要と思う。一番感染しやすい個人として出席しないわけには行かないし、断りにくい。
- ◇コロナワクチン接種時は3密にならない所で、計画的にする体制を整備して下さい。安心してワクチン接種ができる様に、広報する場合はチラシで教えてほしいです（インターネットやポスターは高齢者にはわかりません）。
- ◇スーパーなどに買い物に行くと出入り口には消毒スプレーなどが設置してありますが、店内にも設置して欲しい。
- ◇チョコチョコ買いを防ぐため、買い物リストを作っておいて、一度に買う。買い物客で混雑する大きい店には極力行かないようにしている。
- ◇テレワークの推進（補助金等）。
- ◇とにかく感染する事が悪いとされているため、予防も大事だが感染した後のことも考えてもらいたい。差別による失業だってありえる。会社の業績悪化による個人への圧なども発生しているように思う。
- ◇ネット社会の進展に対し、高齢者の対応が進んでいない。必要十分な対応策を繰り返し、情報提供すべきと思われる。
- ◇ひとり親世帯にだけ支援に力を入れている。二人親でも生活が苦しい世帯は沢山いると思うので、全世帯への給付金をしてほしい
- ◇マイク放送が聞き取りにくい。市が行っている活動の情報発信をもっとしてほしい。もし感染した場合のマニュアルの作成交付（病院名も記載）どこへ行ったらいいか等具体的にそして、その仲介を市も介入してほしい
- ◇情報発信など分かりやすいと助かる（SNSならURLを明記したものを紙で世帯毎に欲しい）。
- ◇日用品も大きなお店から地方へ販売出来る仕組みにしてほしい。人件費・ガソリン代はかかるけど国と市の補助金など出して欲しい。

- ◇テイクアウトのマルシェをしてほしいです。又は宇土のお店の情報が見れるホームページなどがあると外出せずにお店の情報が見れていいと思います。
- ◇医療関係者、介護関係者には防護服が必要ではないかと思う。(
- ◇小さなハンドシエルポケットに入れられる物とか、布手袋、家で洗える物などの配布があったらと思います。
- ◇一部の人だけ頑張っても効果は上がらない。行政側もそのための啓発に力を入れて欲しい。もっとメディアを活用し市民住民に危機感を持たせるようにしていただくと良いのではないだろうか。
- ◇農業も、漁業も収入の減少が激しいです。
- ◇飲食店のテイクアウトをもっと、利用しやすくするために、タクシー事業者等と連携して、宅配料の補助を宇土市が行うなどすると、テイクアウトの需要があるのではないかと思います。
- ◇オンラインでの子育てイベント（講演等）などに参加できると嬉しいです。
- ◇宇土市の LINE をもっと利用していろんな情報を流して欲しいと思います。このアンケートに答えるまで知らなかった情報などもあるのでコロナに対して支援の情報も LINE で流してもらえるととても便利だと思います。
- ◇宇土市ミニバス、行長ちゃん号はとても良い取り組みですが、高齢者の方は自宅から目的地への移動はタクシーが良いのではと思います（密をさける為）。タクシー券をお願いしたいです。
- ◇遠隔でほとんどの手続き等が出来るようになると良い。
- ◇家族がさわる、電気スイッチやイスなどこまめに消毒しました。外出から帰宅したら、すぐにアルコール消毒をしました。
- ◇家族でも寝室を別にする。フェイス、ハンドタオルもそれぞれ別で毎日取り替える。
- ◇介護施設でも十分な感染防止に取り組んでおられると思いますが、そのような施設での感染防止の取り組みを市として重点的に支援を行うべきだと思う
- ◇会社などの勤務時間を必ず AM8：00～5：00 までとせず、AM4:00～、AM5:00～、AM6:00～など変更して 8H 勤務で業務を行うなど時間差をつけることも可能ではないか？銀行や郵便局、市役所なども、3 交代くらいで業務に取り組みば集中することもなく、密はさけられると思いますが。
- ◇外のアナウンスなどでたまに室内喚起を呼びかける放送があると換気を心がけやすい

かもです。あまりうるさくない程度で。

- ◇宇土市内の飲食店でのみ使える飲食チケット（少し安く利用できる）5000円で10000円分など等があると、外食（デリバリー等）でもお持ち帰りお家時間でも、若い世代～中高年世代でも活用できて良いのではないかと。ご検討お願いします。
- ◇各家庭にインターネット環境を整備して、情報の発信、教育、イベント等、自宅でも楽しめるような、生活できるような（宅配・野菜や食料品の購入）仕掛け作りをしてほしい。（60歳代，男性）
- ◇各家庭に空気清浄機のレンタルや、病院への対応マニュアル。
- ◇学校や保育園など公共の建物内外の自動水栓。ハンドルに触れず節水にもなるかと思えます（80歳以上，男性）
- ◇学校等，学生の節目の行事は対策をうって行ってほしい。（40歳代，男性）
- ◇感染した場合に，自宅療養生活をどうすればいいかわかりません。食料品の購入はどうすればいいのか，家族の1人が感染したら，他の家族はどうすればいいのか（例えばインフルエンザに感染した時のような対応でいいのか）等，広報誌に載せて下さい。
- ◇PCR検査を希望しなくても，やって欲しいと思います。
- ◇市民の感染率を知るための情報があって良いかとも。
- ◇網田地区の通信環境が悪いので早急に光回線の整備をお願いしたいです。
- ◇具体的なアイデアはないが，感染予防しながらイベントを楽しめるように，イベント開催を工夫してもらいたい。
- ◇空家や閉鎖した病院などがあれば，コロナ病棟に使用できないか。心配な人がすぐにPCR検査が出来るように，対策を整えて欲しい。（検査センターのような所や，ドライブスルー方式など取り入れられないか）
- ◇空気清浄機の購入補助があって欲しいです。
- ◇もう少し市民がもっと身近に使用している SNS などで見やすく分かりやすい情報を出して。
- ◇心へのサポートが何らかの形で欲しいなと思います。（特に相談する人がいない人などの心のケアをしてくれるところなど）
- ◇音楽，芸術，アート，伝承，伝統芸能に対する社会的地位の確保，確立が必要だと切に感じています。

- ◇健康な身体作りをする。無理をしない。感染しにくいと思います。(70歳代, 女性)
- ◇健康的な生活様式の推奨。(50歳代, 女性)
- ◇宇土市での感染者数は少ない方かもしれませんが, 日本でも感染者数の少ない県があるので, そのような県はどのような対策をされているか調査などしていただき, 市民に「広報うと」などで情報がもらえたらと思います。
- ◇◇公共施設など病院などには今アルコールや検温がありますが, 入り口に全身の除菌を出来る機械の設置など感染予防を強化のため導入するなど。
- ◇自宅に居る時間が長くなるので電気, ガス, 水道使用量が増えます。このような公共料金の値下げをしてほしい。そうすれば皆さん自宅に居やすくなると思います。
- ◇国からの支援, 補助金は活用できるように, 積極的に公募してほしい。(新規, 起業や農業へのスタートアップ支援など)
- ◇今後, 小中学校の登校停止になった時に, 学習が遅れないように, リモート授業が出来る環境の整備やインターネット環境導入支援。YouTube や TV を使った授業など。
- ◇使用済みのマスクの始末を広報などで教えて下さい。
- ◇子どもの予防接種の際, 病院へ行くのに抵抗があるので, 広い場所での検診のような形で接種できると安心して行うことができる。
- ◇子どもの運動会, 発表会などたくさんの保護者が集まり不安があるので, オンラインで家から見れるようにしてほしい。
- ◇市からの情報発信は今回のアンケートで初めて知る情報が多々ありましたので, 防災メール等で全市民が周知できるようにして頂きたい。
- ◇市内の小規模事業経営者に対する支援の強化が必要。
- ◇市内自宅療養者へのオキシナイザー (酸素濃度測定器) の貸し出しを市で行ってもらえればありがたいです。
- ◇市役所など, 窓口での手続きのオンライン化。
- ◇ネット環境がない家庭への工事費等補助。
- ◇自動車通勤者増加による渋滞を改善するための道路整備。
- ◇次亜塩素酸水ではなくアルコール消毒液, 手作りマスクではなく使い捨てマスクの推奨を放送でしてほしい。
- ◇自粛生活による飲食店の打撃が大きいことが伝えられている毎日です。TAKE OUT 限定

クーポンがあるといいのでは。普段 TAKE OUT（外食）をしない層の人達も利用することで、力になれることがあるのでは。

◇市による支援金の条件が厳しい。

◇就学児童の家庭での学習をオンライン等でしてほしい。

◇個人タクシーに乗る際の助成金を検討する。

◇職場で感染者や濃厚接触者が出て仕事を休む事になった時に、有給消化となり、休みを取りたい時に取れなくなった。そういった場合に何か策はないのでしょうか。

◇トイレの蓋の開閉は自動にするとか、水は自動で流れるとか、新市庁舎には期待したいと思います。子ども専用のトイレ空間を作ってもらえるともっと助かります。

◇人が多く利用する場所（ショッピング、銀行、病院、入り口にセンサーの体温測定が必要）アルコール消毒も手を使ってかけるのではなくスタンドしきが全体に必要。

◇他の市町村の動きを見てからではなく、もっと率先して動いてもよいのではないかと思う。

◇買物に出た時はだれと会ったかどこに寄ったかしっかり帰宅したらチェックしています。

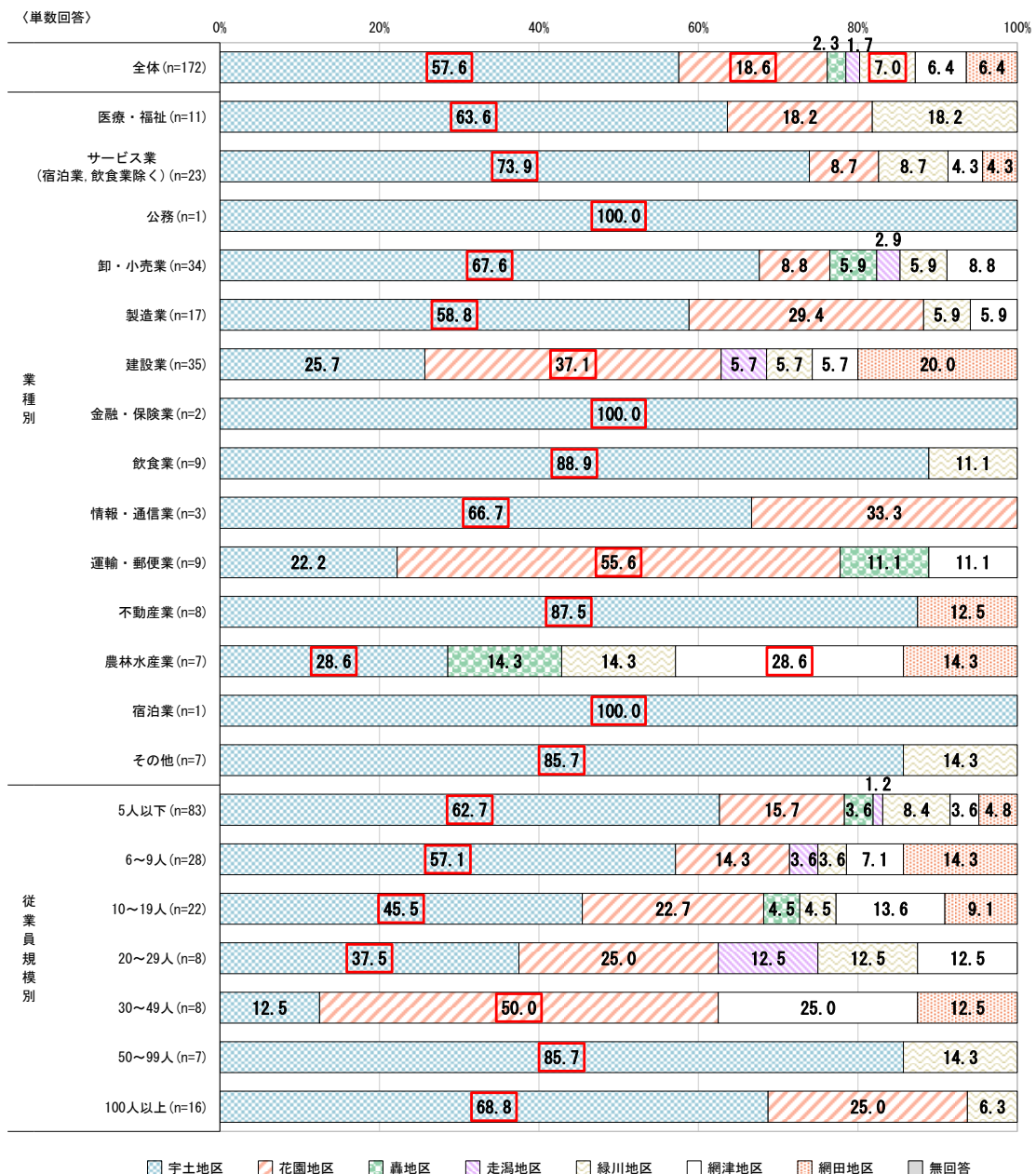
◇◇このアンケートを紙媒体で集計するのは大変労力だと思う。この時代なので、インターネットを活用したアンケートを併用した方が、事務の負担も軽減できると思う。

IV 企業向け調査

1 貴社の概要について

問1 貴社の事業所所在地をお答えください。

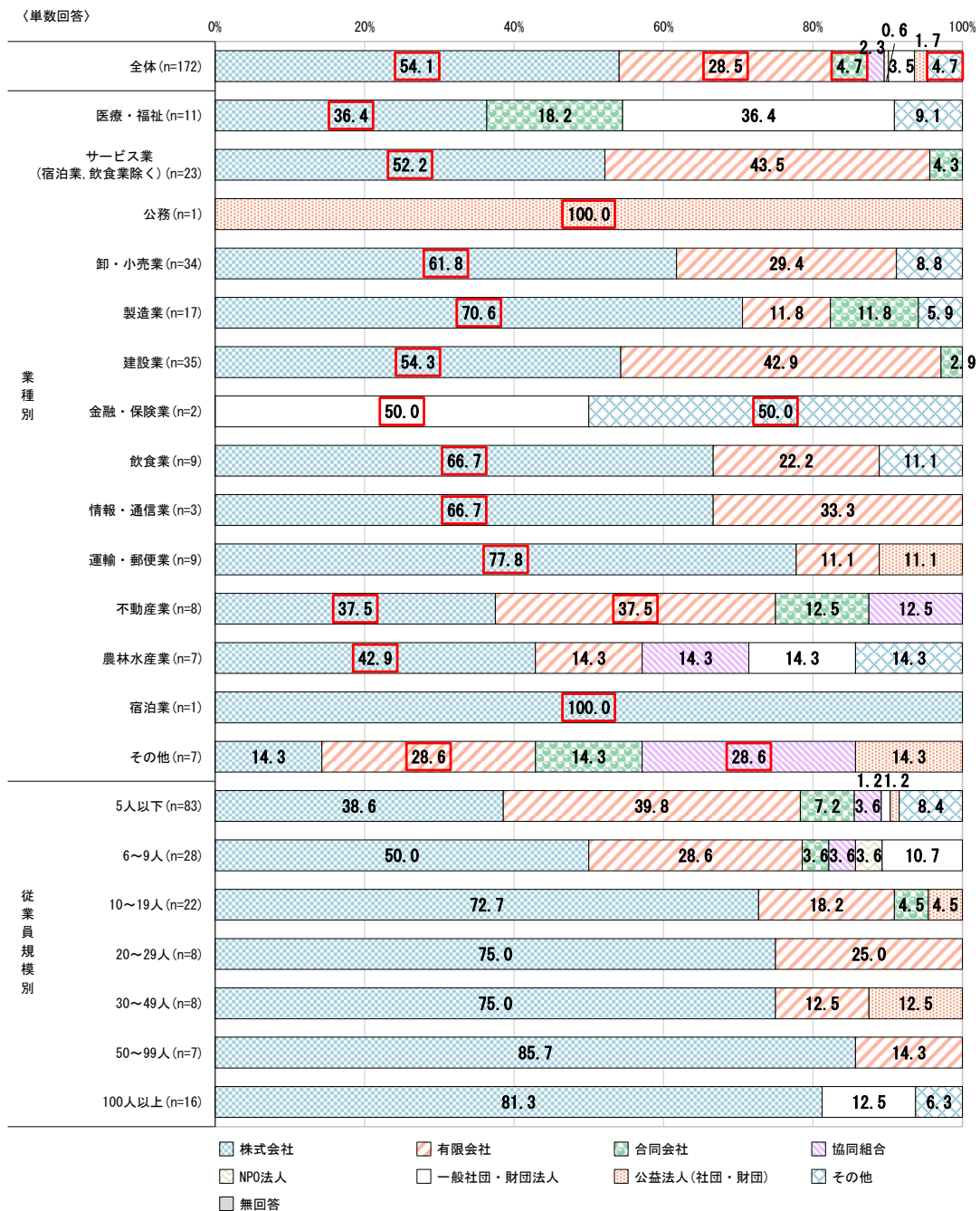
- ◇「宇土地区」が57.6%と最も高く、次いで「花園地区」が18.6%、「緑川地区」が7.0%となっています。
- ◇業種別にみると、建設業、運輸・郵便業では「花園地区」が、それ以外の業種では「宇土地区」が最も高くなっています。また、農林水産業では「宇土地区」「網津地区」が同率で最も高くなっています
- ◇従業員規模別にみると、従業員数が30～49人の企業では「花園地区」が最も高く、それ以外では「宇土地区」が最も高くなっています。



問2 貴社の組織をお答えください。

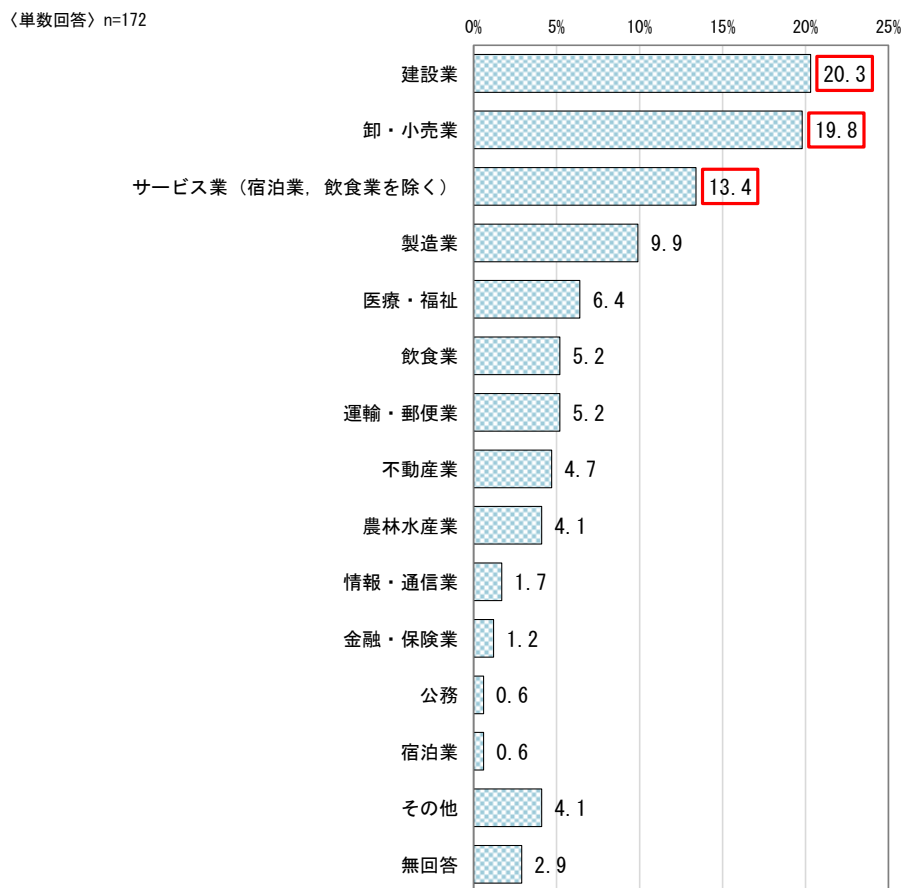
◇「株式会社」が54.1%と最も高く、次いで「有限会社」が28.5%、「合同会社」、「その他」がともに4.7%となっています。

◇業種別にみると、公務、金融・保険業、その他の業種以外の業種では「株式会社」が最も高くなっています。公務では、「公益法人(社団・財団)」が最も高くなっています。金融・保険業では、「一般社団・財団法人」、「その他」が、不動産業では、「株式会社」、「有限会社」が、その他の業種では「有限会社」、「協同組合」が同率で最も高くなっています。



問3 貴社の業種を次の中から1つ選んでください。

◇「建設業」が20.3%と最も高く、次いで「卸・小売業」が19.8%、「サービス業（宿泊業、飲食業を除く）」が13.4%となっています。



〈その他〉※省略

◇従業員規模別にみると、6～9人の企業では「建設業」が、10～19人の企業では「サービス業（宿泊業，飲食業を除く）」が、20～29人の企業では「製造業」が、30～49人の企業では運輸・郵便業が最も高く、それ以外の企業では、「卸・小売業」が最も高くなっています。

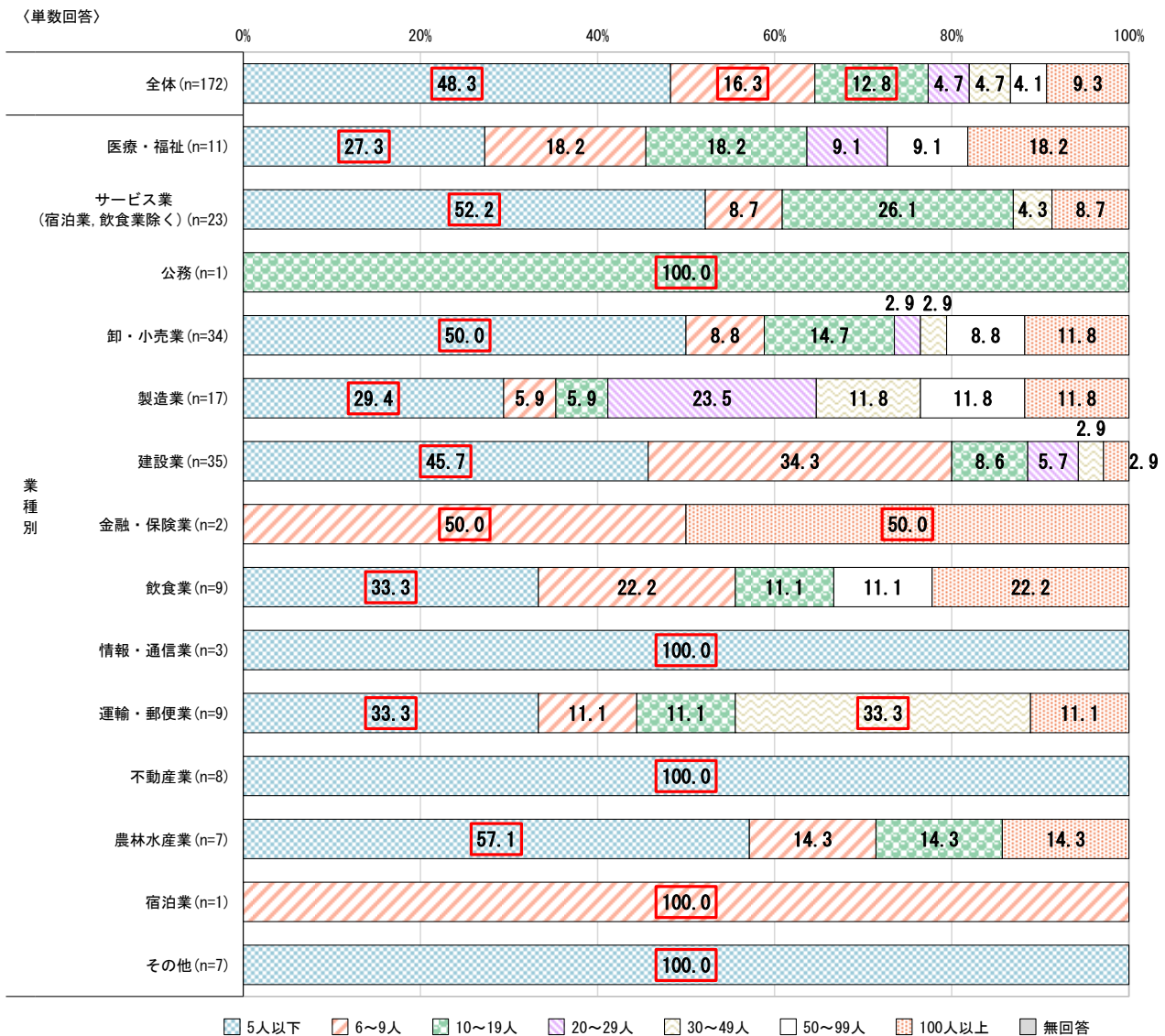
(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	医療・福祉	サービス業(宿泊業，飲食業を除く)	公務	卸・小売業	製造業	建設業	金融・保険業	飲食業	情報・通信業	運輸・郵便業	不動産業	農林水産業	宿泊業	その他	無回答	
全体(単純集計)	172	11	23	1	34	17	35	2	9	3	9	8	7	1	7	5	
		6.4%	13.4%	0.6%	19.8%	9.9%	20.3%	1.2%	5.2%	1.7%	5.2%	4.7%	4.1%	0.6%	4.1%	2.9%	
従業員規模別	5人以下	83	3	12	0	17	5	16	0	3	3	3	8	4	0	7	2
			3.6%	14.5%	0.0%	20.5%	6.0%	19.3%	0.0%	3.6%	3.6%	3.6%	9.6%	4.8%	0.0%	8.4%	2.4%
	6～9人	28	2	2	0	3	1	12	1	2	0	1	0	1	1	0	2
			7.1%	7.1%	0.0%	10.7%	3.6%	42.9%	3.6%	7.1%	0.0%	3.6%	0.0%	3.6%	3.6%	0.0%	7.1%
	10～19人	22	2	6	1	5	1	3	0	1	0	1	0	1	0	0	1
			9.1%	27.3%	4.5%	22.7%	4.5%	13.6%	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	4.5%
	20～29人	8	1	0	0	1	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～49人	8	0	1	0	1	2	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	
		0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50～99人	7	1	0	0	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
		14.3%	0.0%	0.0%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
100人以上	16	2	2	0	4	2	1	1	2	0	1	0	1	0	0	0	
		12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	6.3%	6.3%	12.5%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	

問4 貴社の従業員数をお答えください。

◇全体的にみると「5人以下」が48.3%と最も高く、次いで「6～9人」が16.3%、「10～19人」が12.8%となっています。

◇業種別にみると、ほとんどの業種において「5人以下」が最も高くなっています。公務では、「10～19人」が、「宿泊業」では「6～9人」が最も高くなっています。金融・保険業では、「6～9人」と「100人以上」が、運輸・郵便業では「5人以下」と「30～49人」が、同率で最も高くなっています。

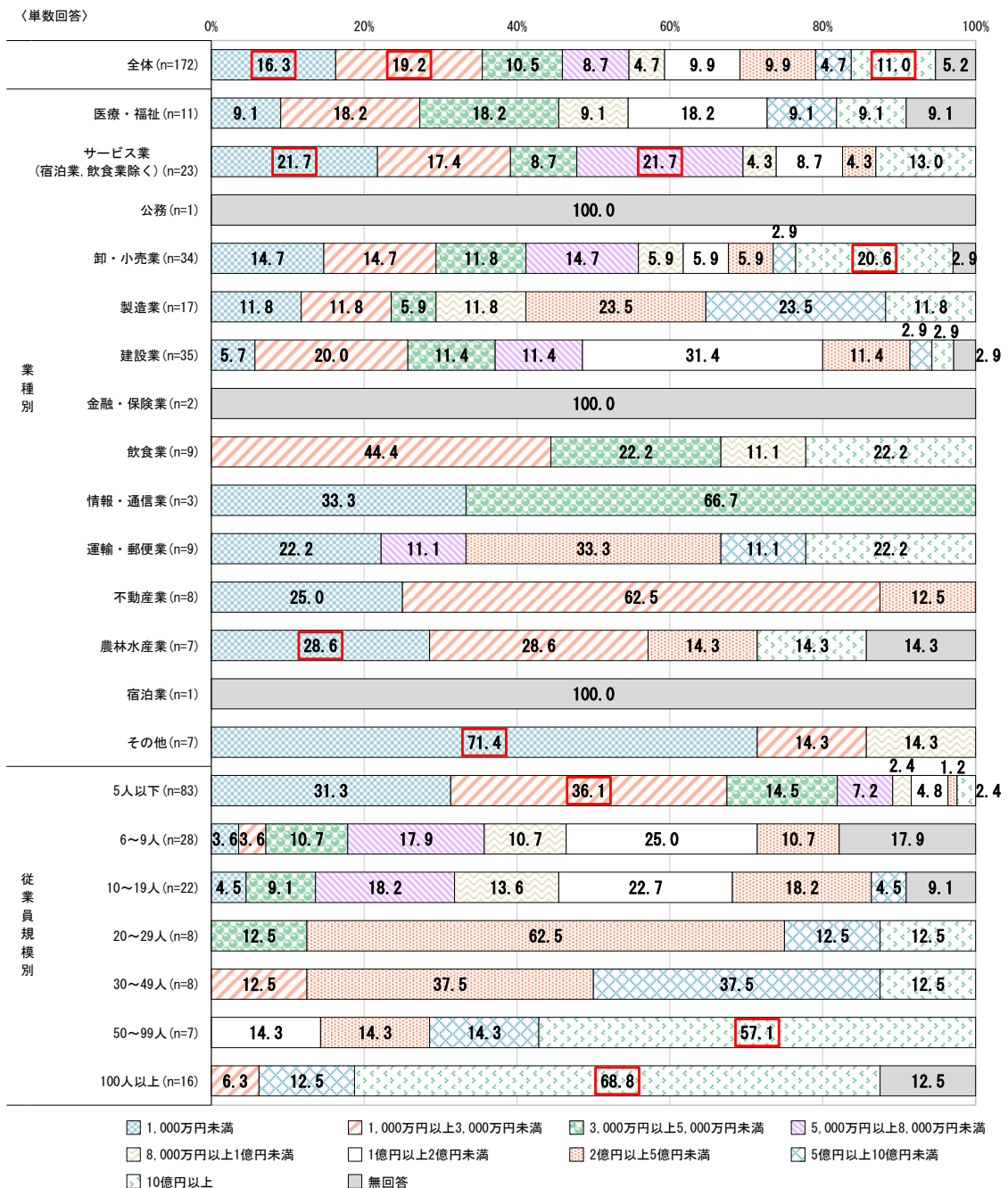


問5 貴社の年商をお答えください。

◇全体的にみると「1,000万円以上3,000万円未満」が19.2%と最も高く、次いで「1,000万円未満」が16.3%、「10億円以上」が11.0%となっています。

◇業種別にみると、農林水産業、その他の業種では「1,000万円未満」が最も高くなっています。サービス業(宿泊業,飲食業除く)では「1,000万円未満」と「5,000万円以上8,000万円未満」が同率で最も高くなっています。卸・小売業では「10億円以上」が最も高くなっています。

◇従業員規模別にみると、従業員数が5人以下の企業では「1,000万円以上3,000万円未満」が、50~99人の企業、100人以上の企業では「10億円以上」が最も高く、それぞれの区分で従業員数に年商が比例する結果となっています。

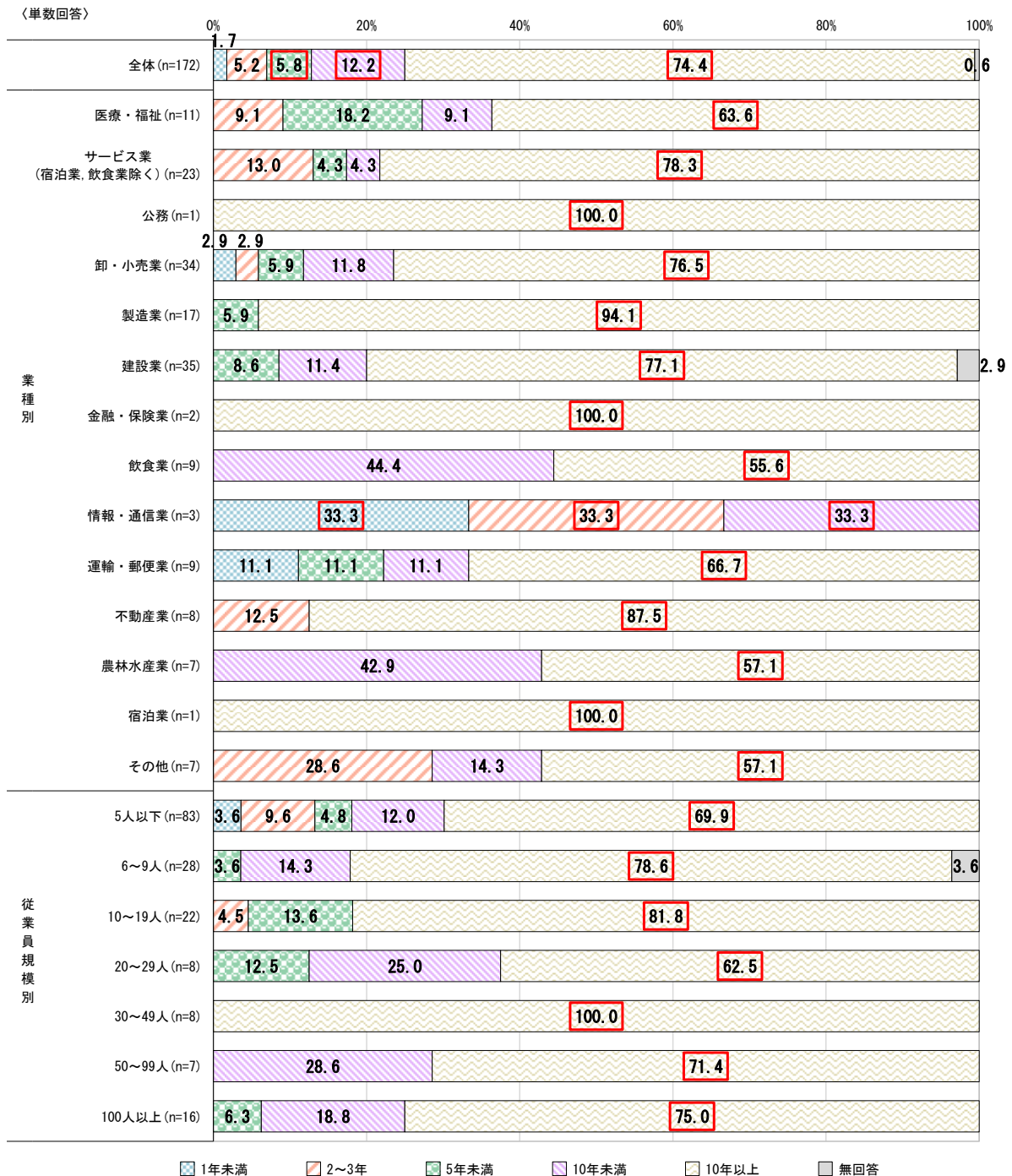


問6 貴社の宇土市内における営業年数をお答えください。

◇全体的にみると「10年以上」が74.4%と最も高く、次いで「10年未満」が12.2%、「5年未満」が5.8%となっています。

◇業種別にみると、情報・通信業では「1年未満」、「2～3年」、「10年未満」が同率で最も高く、それ以外の業種では「10年以上」が最も高くなっています。

◇従業員規模別にみると、全ての区分において「10年以上」が最も高くなっています。



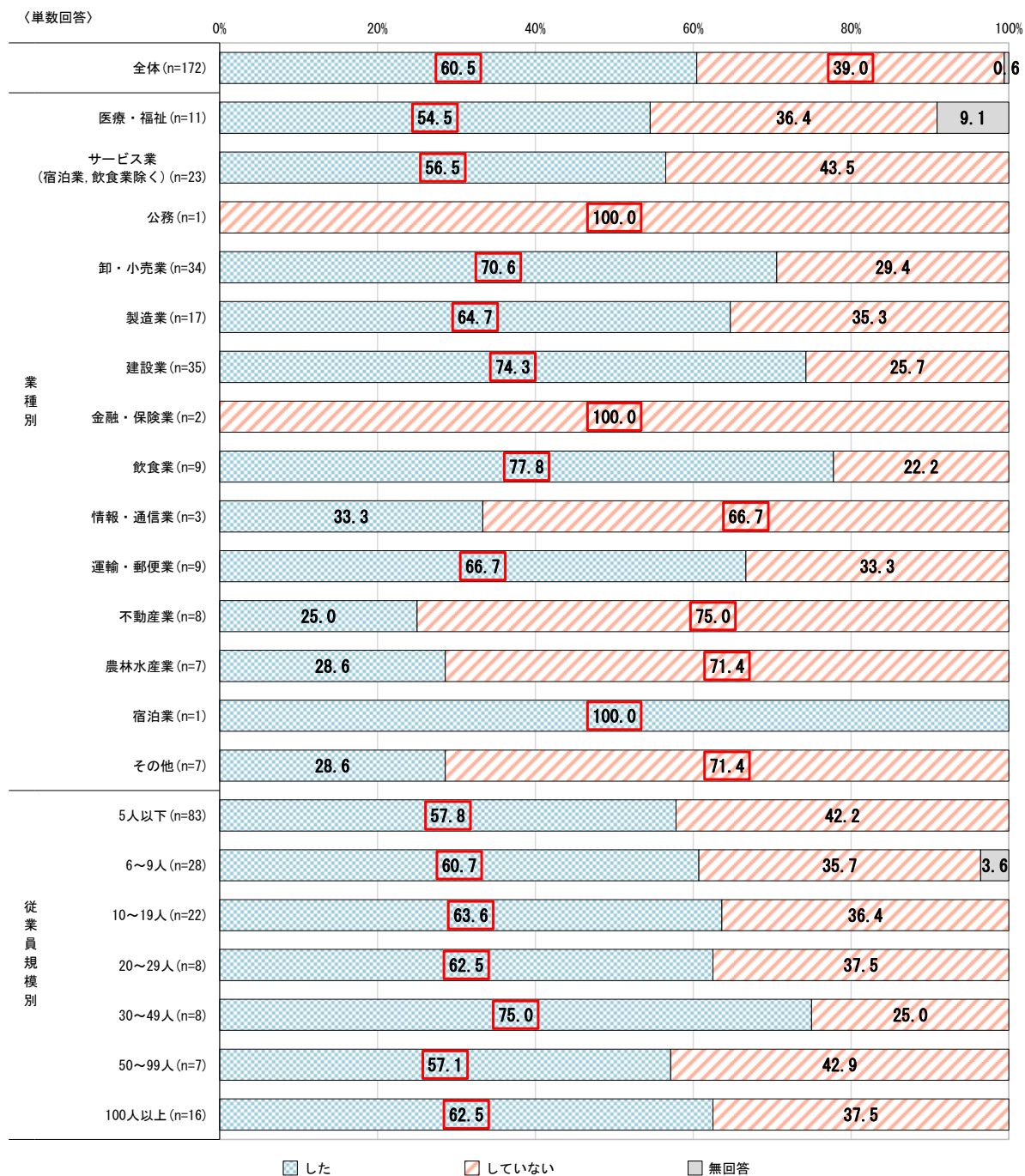
2 国等の各種支援策について

問7 貴社は、国・県の支援制度を活用されましたか。(いずれか1つに○)

◇全体的にみると「活用した」が60.5%、「活用していない」が39.0%となっています。

◇業種別にみると、医療・福祉、サービス業(宿泊業,飲食業除く),卸・小売業,製造業,建設業,飲食業,運輸・郵便業,宿泊業では「活用した」の割合が高く,公務,金融・保険業,情報・通信業,不動産業,農林水産業,その他では「活用していない」の割合が高くなっています。

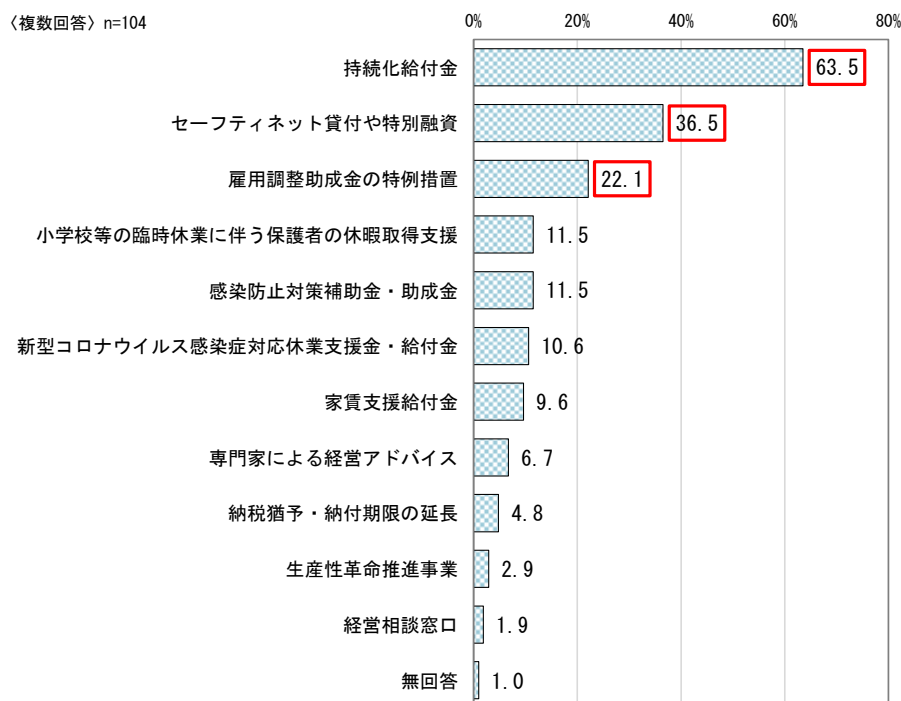
◇従業員規模別にみると,全ての区分において「活用した」の割合が高くなっています。



●問7で「1. した」と回答された方のみ

問8 貴社が、活用した支援策等をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「持続化給付金」が63.5%と最も高く、次いで「セーフティネット貸付や特別融資」が36.5%、「雇用調整助成金の特例措置」が22.1%となっています。



◇業種別にみると、医療・福祉では「感染防止対策補助金・助成金」が、卸・小売業、運輸・郵便業では「セーフティネット貸付や特別融資」が最も高く、それ以外のほとんどの業種では「持続化給付金」が最も高くなっています。

◇従業員規模別にみると、従業員数が19人以下の企業ではそれぞれ「持続化給付金」が最も高くなっています。20～29人の企業では「雇用調整助成金の特例措置」が最も高くなっています。30～49人の企業では、「セーフティネット貸付や特別融資」「小学校等の臨時休業に伴う保護者の休暇取得支援」が同率で最も高く、50～99人の企業では、「セーフティネット貸付や特別融資」、「感染防止対策補助金・助成金」が同率で最も高くなっています。従業員数が100人以上の企業では、「雇用調整助成金の特例措置」、「小学校等の臨時休業に伴う保護者の休暇取得支援」が同率で最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

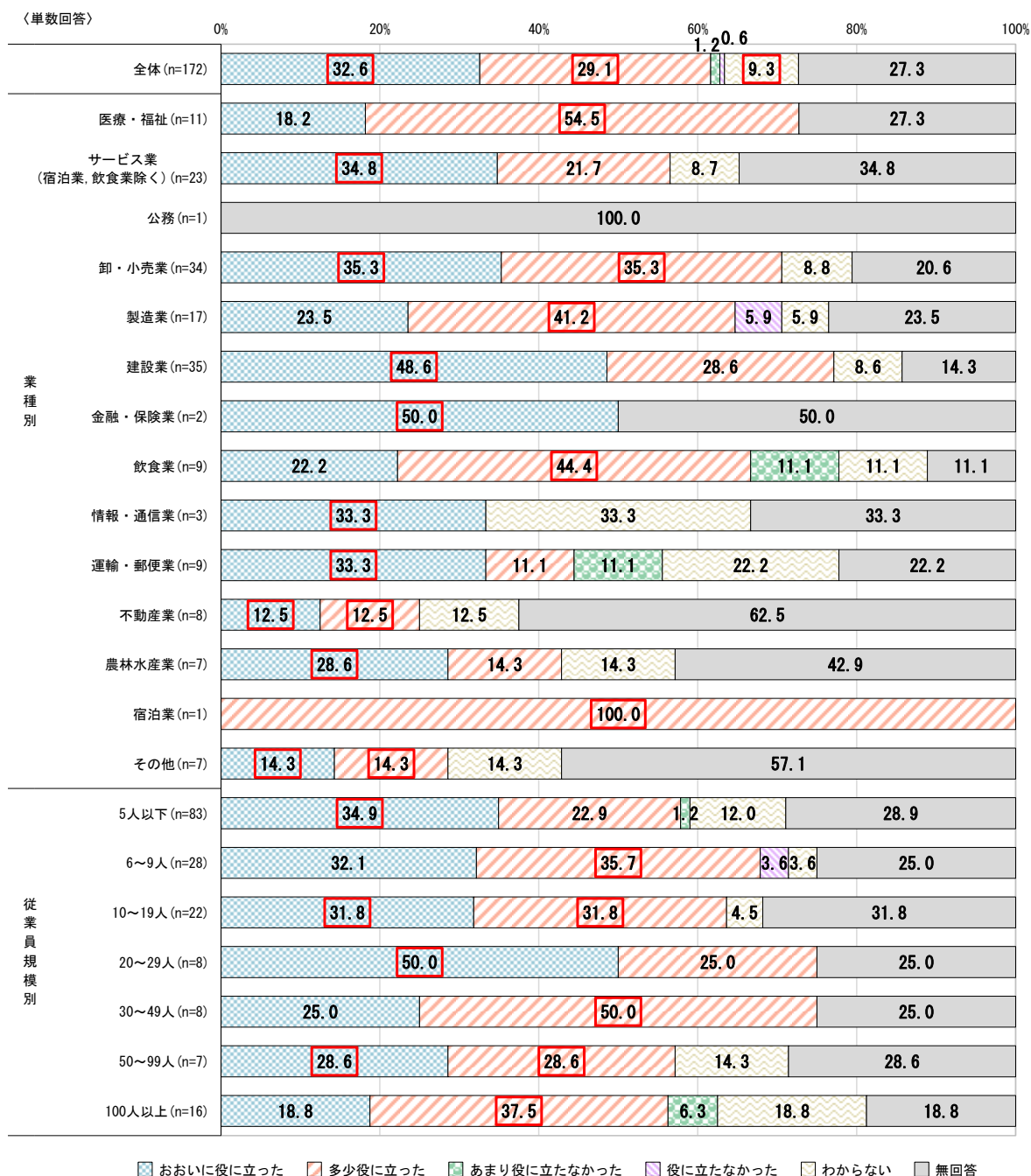
	標本数(人)	経営相談窓口	専門家による経営アドバイス	セーフティネット貸付や特別融資	持続化給付金	家賃支援給付金	生産性革命推進事業	雇用調整助成金の特例措置	新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金	小学校等の臨時休業に伴う保護者の休暇取得支援	納税猶予・納付期限の延長	感染防止対策補助金・助成金	無回答		
全体(単純集計)	104	2 1.9%	7 6.7%	38 36.5%	66 63.5%	10 9.6%	3 2.9%	23 22.1%	11 10.6%	12 11.5%	5 4.8%	12 11.5%	1 1.0%		
業種別	医療・福祉	6	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	2 33.3%	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 100.0%	6 0.0%	0 0.0%	
	サービス業(宿泊業、飲食業除く)	13	0 0.0%	0 0.0%	3 23.1%	10 76.9%	1 7.7%	0 0.0%	3 23.1%	3 23.1%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	
	公務	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	卸・小売業	24	2 8.3%	2 8.3%	13 54.2%	12 50.0%	4 16.7%	2 8.3%	7 29.2%	3 12.5%	6 25.0%	1 4.2%	3 12.5%	0 0.0%	
	製造業	11	0 0.0%	0 0.0%	3 27.3%	8 72.7%	3 27.3%	0 0.0%	4 36.4%	2 18.2%	3 27.3%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	
	建設業	26	0 0.0%	2 7.7%	8 30.8%	20 76.9%	1 3.8%	0 0.0%	3 11.5%	2 7.7%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	金融・保険業	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	飲食業	7	0 0.0%	1 14.3%	3 42.9%	6 85.7%	1 14.3%	1 14.3%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	
	情報・通信業	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	運輸・郵便業	6	0 0.0%	1 16.7%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	不動産業	2	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	農林水産業	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	宿泊業	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	
	その他	2	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	従業員規模別	5人以下	48	2 4.2%	6 12.5%	15 31.3%	39 81.3%	7 14.6%	1 2.1%	6 12.5%	5 10.4%	1 2.1%	1 2.1%	3 6.3%	1 2.1%
		6~9人	17	0 0.0%	0 0.0%	8 47.1%	12 70.6%	0 0.0%	2 11.8%	4 23.5%	2 11.8%	0 0.0%	1 5.9%	4 23.5%	0 0.0%
10~19人		14	0 0.0%	0 0.0%	6 42.9%	8 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 21.4%	2 14.3%	2 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	
20~29人		5	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	
30~49人		6	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
50~99人		4	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	
100人以上		10	0 0.0%	1 10.0%	3 30.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	5 50.0%	0 0.0%	5 50.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%	

問9 支援策等は、役に立ったと思われますか。

◇全体的にみると「おおいに役に立った」が32.6%と最も高く、次いで「多少役に立った」が29.1%、「わからない」が9.3%となっています。

◇業種別にみると、ほとんどの業種で「おおいに役に立った」、または「多少役に立った」が最も高くなっています。

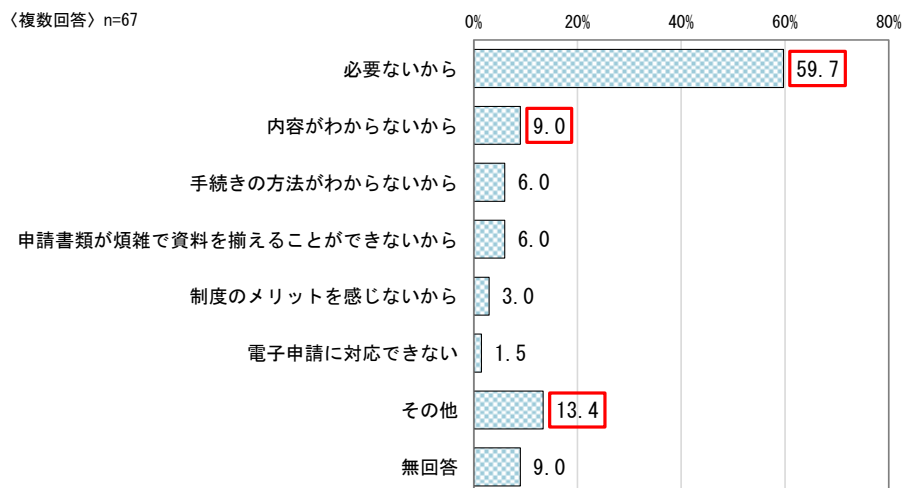
◇従業員規模別にみると、ほとんどの区分で「おおいに役に立った」、または「多少役に立った」が最も高くなっています。



●問7で「2. していない」と回答された方のみ

問 11 貴社が、「活用していない」理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「必要ないから」が59.7%と最も高く、次いで「その他」が13.4%、「内容がわからないから」が9.0%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・該当しないから
- ・今後申請する予定

◇業種別にみると、ほとんどの業種で「必要ないから」が最も高くなっています。

◇従業員規模別にみると、ほとんどの区分で「必要ないから」が最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

		必要ないから	制度のメリットを感じないから	手続きの方法がわからないから	内容がわからないから	電子申請に対応できない	申請書類が煩雑で資料を揃えることができないから	その他	無回答
	全体 (単純集計)	40 59.7%	2 3.0%	4 6.0%	6 9.0%	1 1.5%	4 6.0%	9 13.4%	6 9.0%
業種別	医療・福祉	4 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	サービス業 (宿泊業、飲食業除く)	10 90.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%
	公務	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	卸・小売業	10 70.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%
	製造業	6 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%
	建設業	9 44.4%	1 11.1%	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	2 22.2%
	金融・保険業	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	飲食業	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	情報・通信業	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
	運輸・郵便業	3 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
	不動産業	6 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%
	農林水産業	5 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%
	宿泊業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	5 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%
	従業員規模別	5人以下	35 51.4%	2 5.7%	3 8.6%	5 14.3%	0 0.0%	2 5.7%	6 17.1%
6~9人		10 50.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	2 20.0%	1 10.0%
10~19人		8 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%
20~29人		3 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
30~49人		2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
50~99人		3 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
100人以上		6 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%

3 国の交付金を活用した市の取り組みについて

①宇土市利子補給金制度についてお伺いします。

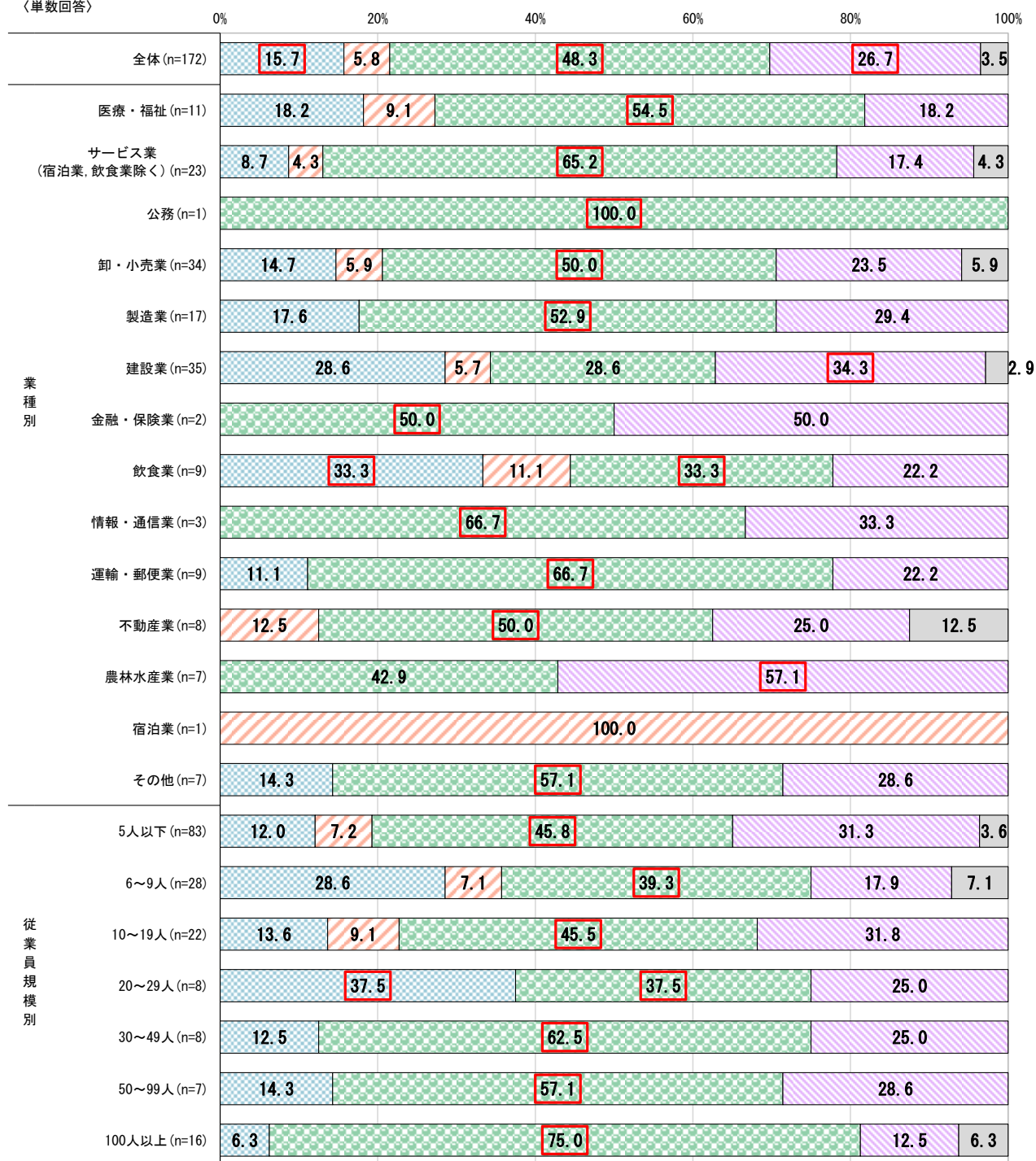
問 12 市では、中小企業が新型コロナ関連の制度融資を利用した場合、最大 3 年間 100 万円まで利子補給を行っていますが、申請されましたか。(いずれか 1 つに○)

◆◇全体的にみると「申請していないし、今後も申請する予定はない」が 48.3%と最も高く、次いで「未定」が 26.7%、「申請した」が 15.7%となっています。

◆◇業種別にみると、ほとんどの業種で「申請していないし、今後も申請する予定はない」が最も高くなっています。また、飲食業では「申請した」、「申請していないし、今後も申請する予定はない」が同率で最も高くなっています。建設業、農林水産業では「未定」が最も高くなっています。

◆◇従業員規模別にみると、ほとんどの区分で「申請していないし、今後も申請する予定はない」が最も高くなっています。また、20～29 人の企業では、「申請した」、「申請していないし、今後も申請する予定はない」が同率で最も高くなっています。

〈単数回答〉

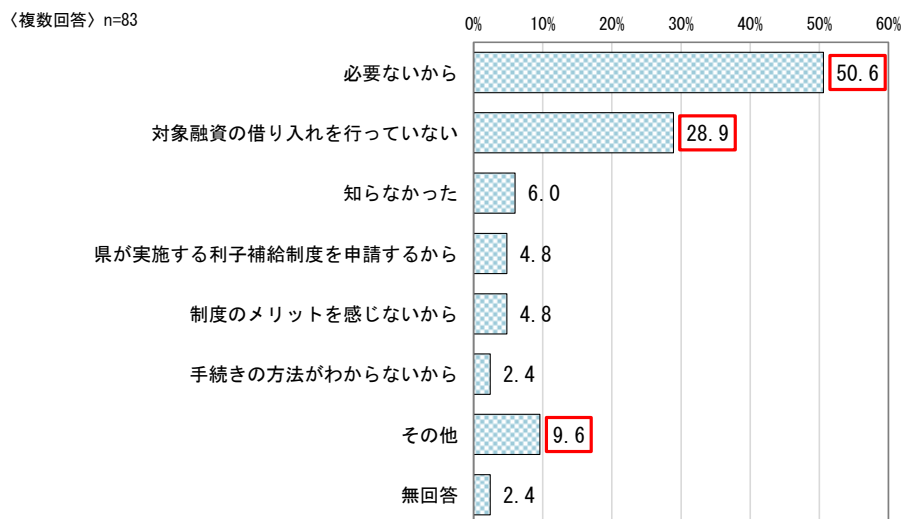


■ 申請した
 ■ 申請を検討している
 ■ 申請していないし、今後も申請する予定はない
 ■ 未定
 ■ 無回答

●問 12 で「3. 申請していないし、今後も申請する予定はない」と回答された方のみ

問 13 貴社が、申請しない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「必要ないから」が 50.6%と最も高く、次いで「対象融資の借り入れを行っていない」が 28.9%、「その他」が 9.6%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・ 本社（親会社）にてまとめて手続きを行うため
- ・ 該当しない
- ・ 他の借り入れ先があるため

- ◇業種別にみると、ほとんどの業種で「必要ないから」が同率で最も高くなっています。また、建設業、情報・通信業では、「対象融資の借入れを行っていない」が最も高くなっています。不動産業では、「対象融資の借入れを行っていない」、「必要ないから」が同率で最も高くなっています。
- ◇従業員規模別にみると、従業員数が20～29人の企業では、「対象融資の借入れを行っていない」が66.7%と最も高く、それ以外の区分では「必要ないから」が最も高くなっています。また、従業員数が100人以上の企業では、「対象融資の借入れを行っていない」、「必要ないから」が同率で最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

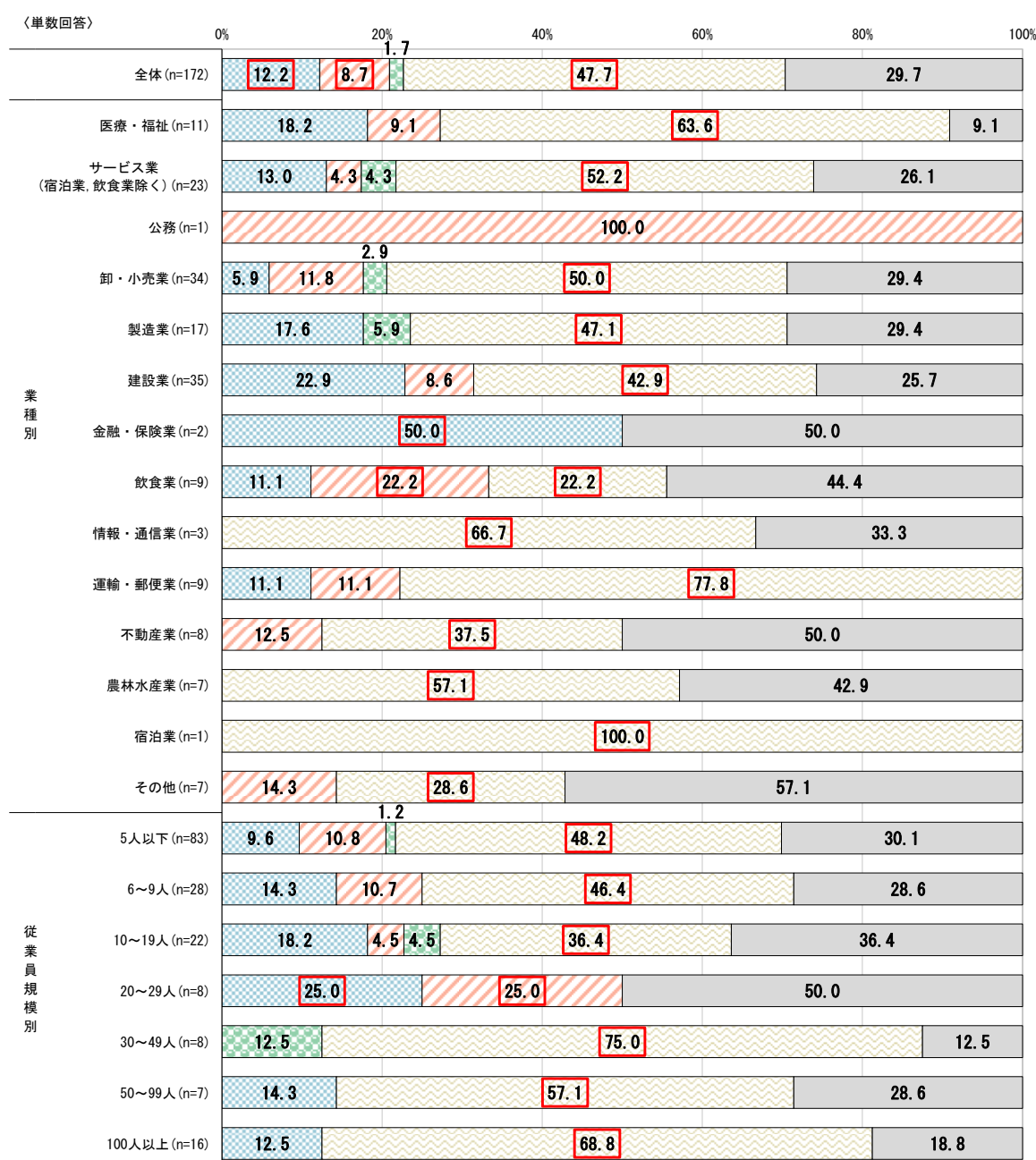
	標本数(人)	対象融資の借入れを行っていない	県が実施する利子補給制度を申請するから	必要ないから	制度のメリットを感じないから	手続きの方法がわからないから	知らなかった	その他	無回答
全体(単純集計)	83	24 28.9%	4 4.8%	42 50.6%	4 4.8%	2 2.4%	5 6.0%	8 9.6%	2 2.4%
業種別	医療・福祉	6 33.3%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	サービス業(宿泊業、飲食業除く)	15 13.3%	2 13.3%	10 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%
	公務	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	卸・小売業	17 23.5%	1 5.9%	8 47.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 17.6%	2 11.8%	0 0.0%
	製造業	9 33.3%	0 0.0%	4 44.4%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	建設業	10 40.0%	0 0.0%	3 30.0%	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%
	金融・保険業	1 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	飲食業	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%
	情報・通信業	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	運輸・郵便業	6 33.3%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不動産業	4 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	農林水産業	3 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
	宿泊業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	4 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	従業員規模別	5人以下	38 36.8%	0 0.0%	19 50.0%	3 7.9%	2 5.3%	3 7.9%	1 2.6%
6～9人		11 18.2%	1 9.1%	7 63.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
10～19人		10 10.0%	2 20.0%	5 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%
20～29人		3 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30～49人		5 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
50～99人		4 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
100人以上		12 33.3%	1 8.3%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	3 25.0%	0 0.0%

問 14 宇土市利子補給金制度は、効果があったと思われますか。(いずれか1つに○)

◇全体的にみると「わからない」が47.7%と最も高く、次いで「おおいに効果があった」が12.2%、「多少効果があった」が8.7%となっています。

◇業種別にみると、ほとんどの業種において「わからない」が最も高くなっています。金融・保険業では「おおいに効果があった」が最も高くなっています。飲食業では、「多少効果があった」、「わからない」が同率で最も高くなっています。

◇従業員規模別にみると、従業員数が20~29人の企業では、「おおいに効果があった」、「多少効果があった」が同率で最も高くなっており、それ以外の区分では「わからない」が最も高くなっています。

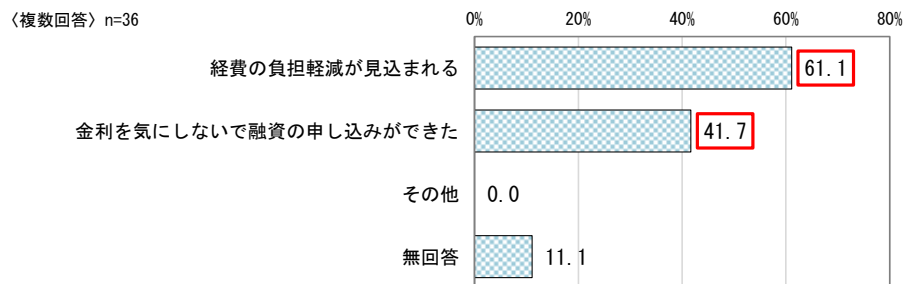


おおいに効果があった
 多少効果があった
 あまり効果がなかった
 効果がなかった
 わからない
 無回答

●問 14 で「1. おおいに効果があった」または「2. 多少効果があった」と回答された方のみ

問 15 貴社が、「効果があった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに
○)

◇全体的にみると「経費の負担軽減が見込まれる」が 61.1%と最も高く、次いで「金利を気にしないで融資の申し込みができた」が 41.7%となっています。



◇業種別にみると、ほとんどの業種において「経費の負担軽減が見込まれる」、または「金利を気にしないで融資の申し込みができた」が最も高くなっています。特に卸・小売業では「経費の負担軽減が見込まれる」とする割合が他より高くなっています。

◇従業員規模別にみると、従業員数が10～19人、100人以上の企業では、「金利を気にしないで融資の申し込みができた」が最も高くなっています。それ以外の区分では、「経費の負担軽減が見込まれる」が最も高くなっています。

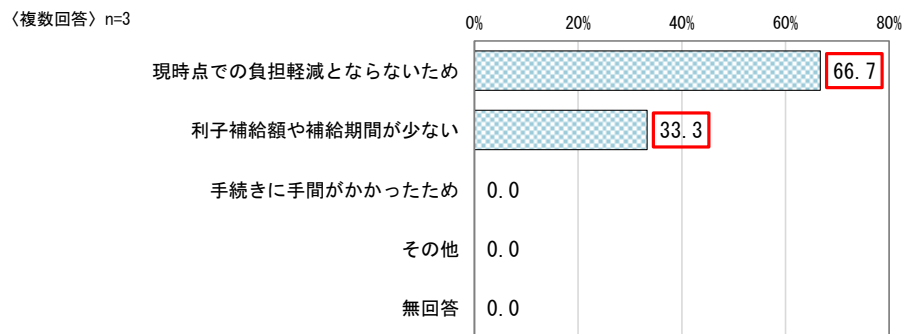
(上段：人 下段：%)

		標本数 (人)	経費の負担軽減が見込まれる	金利を気にしないで融資の申し込みができた	その他	無回答	
全体 (単純集計)		36	22 61.1%	15 41.7%	0 0.0%	4 11.1%	
業種別	医療・福祉	3	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	
	サービス業 (宿泊業、飲食業除く)	4	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	
	公務	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	
	卸・小売業	6	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	
	製造業	3	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	
	建設業	11	7 63.6%	5 45.5%	0 0.0%	0 0.0%	
	金融・保険業	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	飲食業	3	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	
	情報・通信業	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	運輸・郵便業	2	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	不動産業	1	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	農林水産業	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	宿泊業	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	その他	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	従業員規模別	5人以下	17	10 58.8%	6 35.3%	0 0.0%	3 17.6%
		6～9人	7	5 71.4%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%
10～19人		5	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	
20～29人		4	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
30～49人		0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
50～99人		1	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
100人以上		2	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	

●問 14 で「3. あまり効果がなかった」または「4. 効果がなかった」と回答された方のみ

問 16 貴社が、「効果がなかった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「現時点での負担軽減とならないため」が 66.7%と最も高く、次いで「利子補給額や補給期間が少ない」が 33.3%となっています。



◇業種別にみると、サービス業(宿泊業,飲食業除く),卸・小売業では「現時点での負担軽減とならないため」が、製造業では、「利子補給額や補給期間が少ない」が最も高くなっています。

◇従業員規模別にみると、従業員数が5人以下,10~19人の企業では、「現時点での負担軽減とならないため」が最も高くなっています。従業員数が30~49人の企業では、「利子補給額や補給期間が少ない」が最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	利子補給額や補給期間が少ない	現時点での負担軽減とならない	手続きに手間がかかったため	その他	無回答
全体(単純集計)	3	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
業種別	医療・福祉	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	サービス業(宿泊業,飲食業除く)	1 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	公務	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	卸・小売業	1 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	製造業	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	建設業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	金融・保険業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	飲食業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	情報・通信業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	運輸・郵便業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不動産業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	農林水産業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	宿泊業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	従業員規模別	5人以下	1 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
6~9人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
10~19人		1 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20~29人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30~49人		1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
50~99人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
100人以上		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

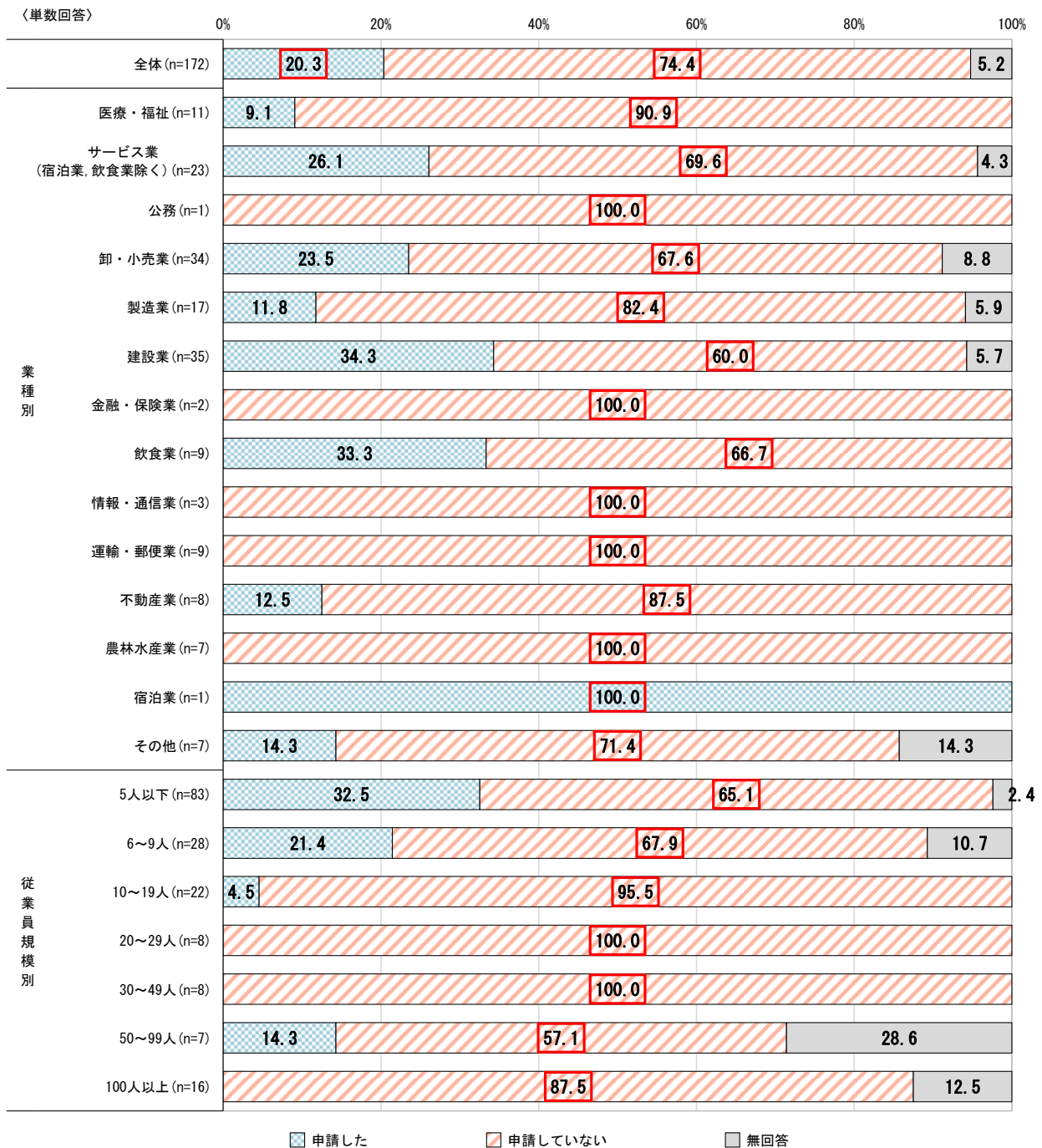
②宇土市小規模企業者事業継続給付金についてお伺いします。

問 17 市では、同月の売上高が R1 年と比較し 50%以上減少した場合、30 万円（賃料がある場合は 35 万円）給付していますが、申請されましたか。

◇全体的にみると「申請した」が 20.3%、「申請していない」が 74.4%となっています。

◇業種別にみると、宿泊業では「申請した」が最も高く、それ以外の業種では「申請していない」が最も高くなっています。

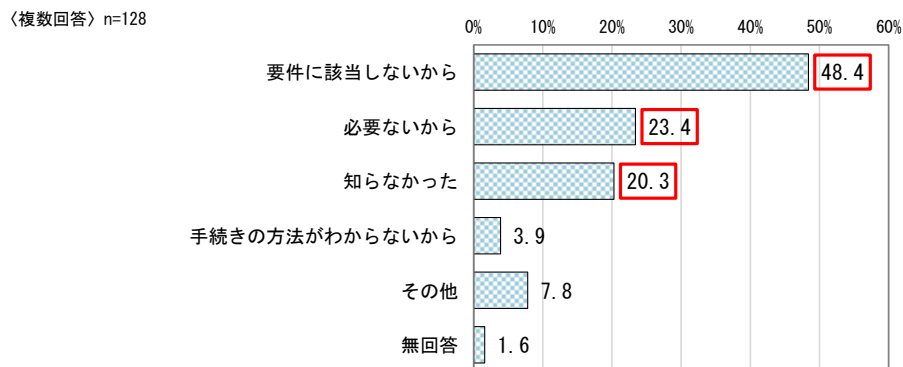
◇従業員規模別にみると、すべての区分で「申請していない」が最も高くなっています。



●問 17 で「2. 申請していない」と回答された方のみ

問 18 貴社が、申請しない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「要件に該当しないから」が 48.4%と最も高く、次いで「必要ないから」が 23.4%、「知らなかった」が 20.3%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・売上減少の条件に満たなかった
- ・銀行の融資を受けたから
- ・県に申請したから
- ・支援対象とならないため

- ◇業種別にみると、ほとんどの業種で「要件に該当しないから」が最も高くなっています。
 製造業、農林水産業では「要件に該当しないから」、「知らなかった」が同率で最も高く、
 金融・保険業、不動産業では「必要ないから」が最も高くなっています。
- ◇従業員規模別にみると、ほとんどの区分において「要件に該当しないから」が最も高くなっています。従業員数が30～49人の企業では「知らなかった」が最も高く、50～99人の企業では「必要ないから」が最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

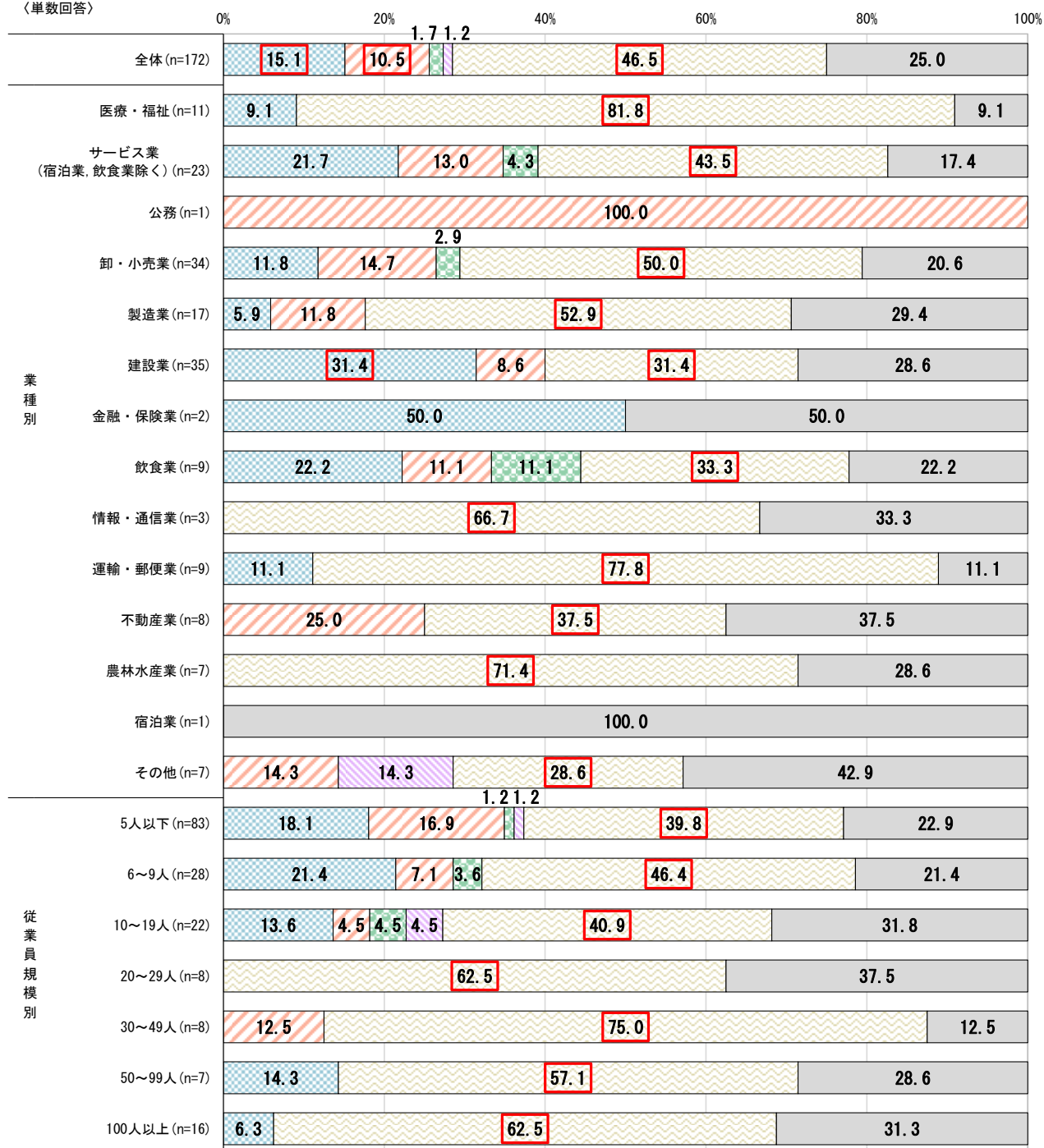
		標本数(人)	必要ないから	要件に該当しないから	手続きの方法がわからないから	知らなかった	その他	無回答	
全体(単純集計)		128	30 23.4%	62 48.4%	5 3.9%	26 20.3%	10 7.8%	2 1.6%	
業種別	医療・福祉	10	3 30.0%	6 60.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	サービス業 (宿泊業、飲食業除く)	16	5 31.3%	8 50.0%	0 0.0%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%	
	公務	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	
	卸・小売業	23	6 26.1%	15 65.2%	0 0.0%	3 13.0%	1 4.3%	0 0.0%	
	製造業	14	3 21.4%	5 35.7%	1 7.1%	5 35.7%	0 0.0%	0 0.0%	
	建設業	21	3 14.3%	9 42.9%	3 14.3%	7 33.3%	1 4.8%	0 0.0%	
	金融・保険業	2	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	飲食業	6	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	
	情報・通信業	3	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	
	運輸・郵便業	9	2 22.2%	6 66.7%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	
	不動産業	7	3 42.9%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	
	農林水産業	7	1 14.3%	3 42.9%	1 14.3%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%	
	宿泊業	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	その他	5	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	
	従業員規模別	5人以下	54	12 22.2%	23 42.6%	3 5.6%	15 27.8%	6 11.1%	1 1.9%
		6～9人	19	4 21.1%	9 47.4%	2 10.5%	3 15.8%	1 5.3%	0 0.0%
10～19人		21	3 14.3%	15 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%	1 4.8%	
20～29人		8	1 12.5%	5 62.5%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	
30～49人		8	2 25.0%	2 25.0%	0 0.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	
50～99人		4	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	
100人以上		14	5 35.7%	7 50.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	

問 19 宇土市小規模企業者事業継続給付金は、効果があったと思われますか。(いずれか1つに○)

◇全体的にみると「わからない」が46.5%と最も高く、次いで「おおいに効果があった」が15.1%、「多少効果があつた」が10.5%となっています。

◇業種別にみると、ほとんどの業種において「わからない」が最も高くなっています。建設業では「おおいに効果があつた」が同率で最も高くなっています。

◇従業員規模別にみると、すべての区分において「わからない」が最も高くなっています。

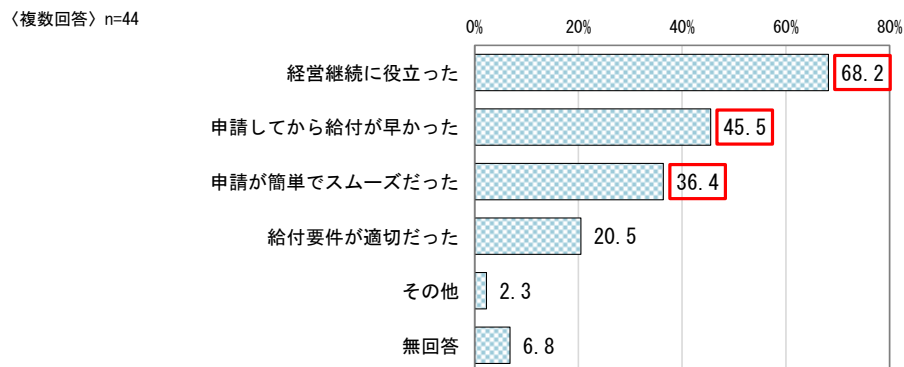


■ おおいに効果があつた
 ■ 多少効果があつた
 ■ あまり効果がなかつた
 ■ 効果がなかつた
 ■ わからない
 ■ 無回答

●問 19 で「1. おおいに効果があった」または「2. 多少効果があった」と回答された方のみ

問 20 貴社が、「効果があった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに
○)

◇全体的にみると「経営継続に役立った」が 68.2%と最も高く、次いで「申請してから給
付が早かった」が 45.5%、「申請が簡単でスムーズだった」が 36.4%となっています。



〈その他〉 ※省略

◇業種別にみると、ほとんどの業種において「経営継続に役立った」が最も高くなっています。サービス業(宿泊業,飲食業除く), 飲食業では,「申請してから給付が早かった」が最も高くなっています。

◇従業員規模別にみると、従業員数が 10 人未満の区分において「経営継続に役立った」とする割合が他より高くなっています。

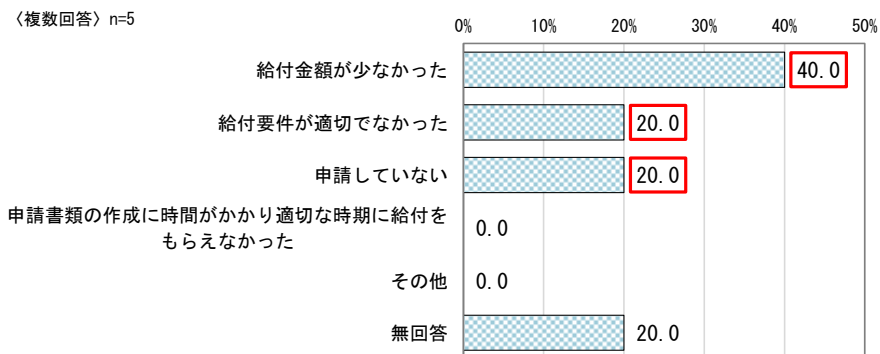
(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	申請が簡単でスムーズだった	申請してから給付が早かった	経営継続に役立った	給付要件が適切だった	その他	無回答
全体 (単純集計)	44	16 36.4%	20 45.5%	30 68.2%	9 20.5%	1 2.3%	3 6.8%
業種別	医療・福祉	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	サービス業 (宿泊業, 飲食業除く)	8 50.0%	5 62.5%	3 37.5%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%
	公務	1 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	卸・小売業	9 33.3%	4 44.4%	7 77.8%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%
	製造業	3 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
	建設業	14 28.6%	4 35.7%	5 78.6%	4 28.6%	0 0.0%	1 7.1%
	金融・保険業	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	飲食業	3 66.7%	2 100.0%	3 33.3%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	情報・通信業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	運輸・郵便業	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不動産業	2 50.0%	1 50.0%	1 100.0%	2 50.0%	1 0.0%	0 0.0%
	農林水産業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	宿泊業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	1 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	従業員規模別	5人以下	29 37.9%	11 48.3%	14 75.9%	6 20.7%	1 3.4%
6～9人		8 25.0%	2 37.5%	3 62.5%	5 25.0%	2 0.0%	1 12.5%
10～19人		4 50.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
20～29人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30～49人		1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～99人		1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
100人以上		1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

●問 19 で「3. あまり効果がなかった」または「4. 効果がなかった」と回答された方のみ

問 21 貴社が、「効果がなかった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「給付金額が少なかった」が 40.0%と最も高く、次いで「給付要件が適切でなかった」、「申請していない」がともに 20.0%となっています。



◇業種別にみると、サービス業(宿泊業、飲食業除く)、飲食業では「給付金額が少なかった」、卸・小売業では「申請していない」と回答しています。

◇従業員規模別にみると、従業員数が10人未満の区分では「給付金額が少なかった」、10～19人の企業では、「給付要件が適切でなかった」、「申請していない」と回答しています。

(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	申請書類の作成に時間がかかった	給付金額が少なかった	給付要件が適切でなかった	申請していない	その他	無回答
全体 (単純集計)	5	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%
業種別	医療・福祉	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	サービス業 (宿泊業、飲食業除く)	1 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	公務	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	卸・小売業	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	製造業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	建設業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	金融・保険業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	飲食業	1 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	情報・通信業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	運輸・郵便業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不動産業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	農林水産業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	宿泊業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	従業員規模別	5人以下	2 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～9人		1 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
10～19人		2 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
20～29人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30～49人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
50～99人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
100人以上		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

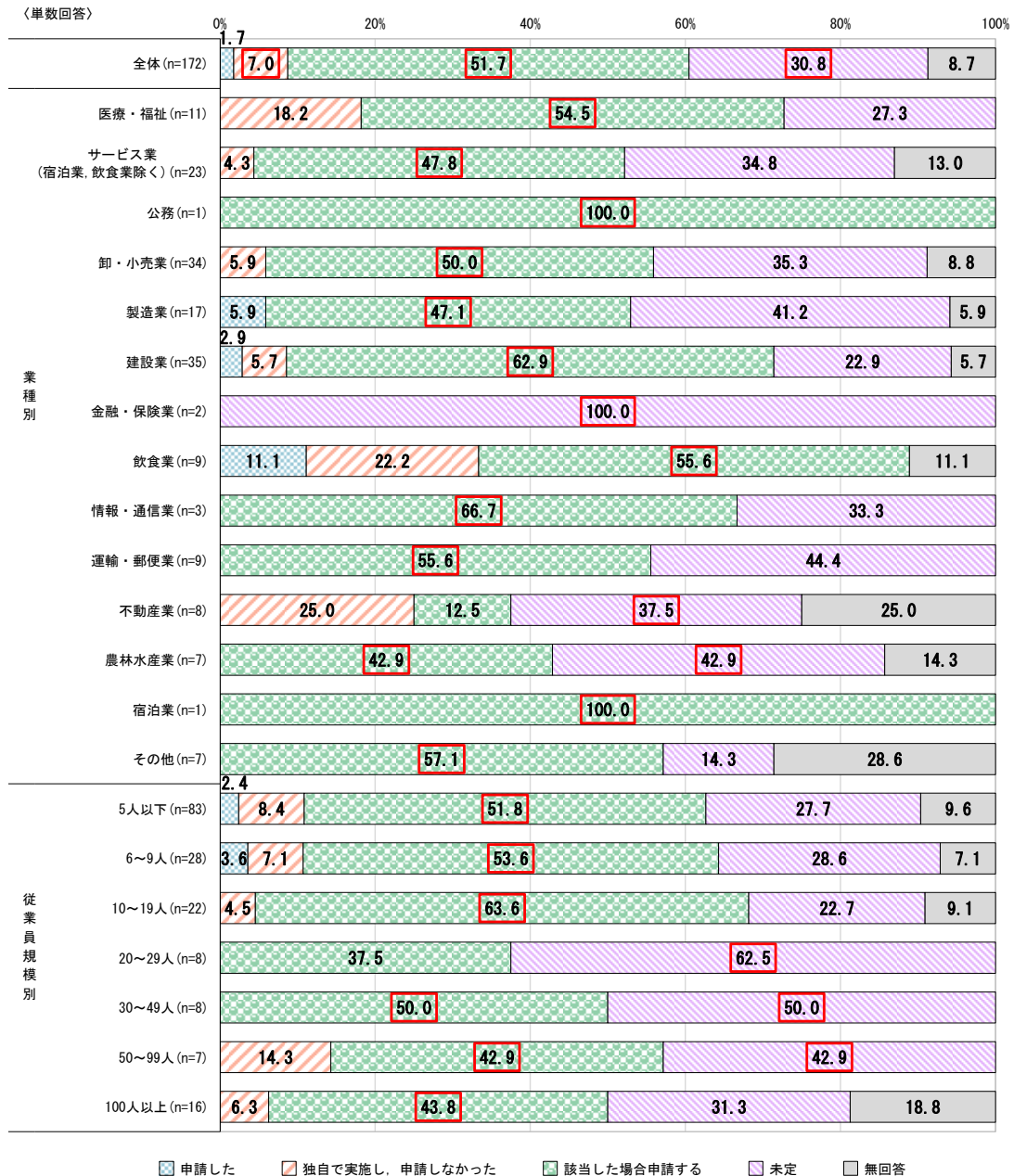
③宇土市新型コロナウイルスに係る消毒事業補助金についてお伺いします。

問 22 市では、感染者が訪問した事業所の消毒作業の1/2（上限50万円）を補助していますが、申請されましたか。（いずれか1つに○）

◇全体的にみると「該当した場合申請する」が51.7%と最も高く、次いで「未定」が30.8%、「独自で実施し、申請しなかった」が7.0%となっています。

◇業種別にみると、ほとんどの業種において「該当した場合申請する」が最も高くなっています。また、農林水産業では「未定」が同率で最も高くなっています。金融・保険業、不動産業では「未定」が最も高くなっています。

◇従業員規模別にみると、ほとんどの区分において「該当した場合申請する」が最も高くなっています。また、従業員数が30～49人、50～99人の企業では「未定」が同率で最も高く、従業員数が20～29人の企業では、「未定」が最も高くなっています。

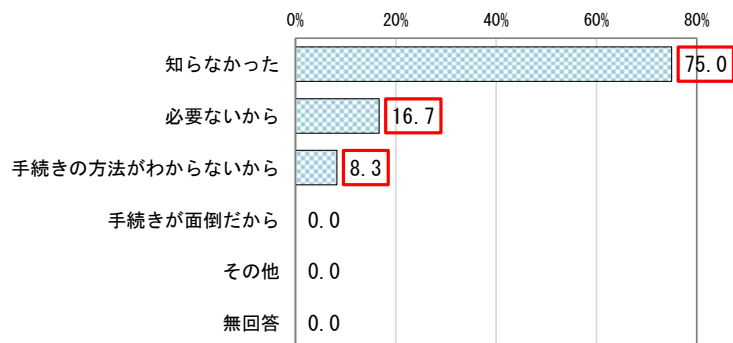


●問 22 で「2. 独自で実施し, 申請しなかった」と回答された方のみ

問 23 貴社が, 申請しない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「知らなかった」が 75.0%と最も高く, 次いで「必要ないから」が 16.7%, 「手続きの方法がわからないから」が 8.3%となっています。

〈複数回答〉 n=12



◇業種別にみると、ほとんどの業種において「知らなかった」が最も高くなっています。

◇従業員規模別にみると、ほとんどの区分において「知らなかった」が最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

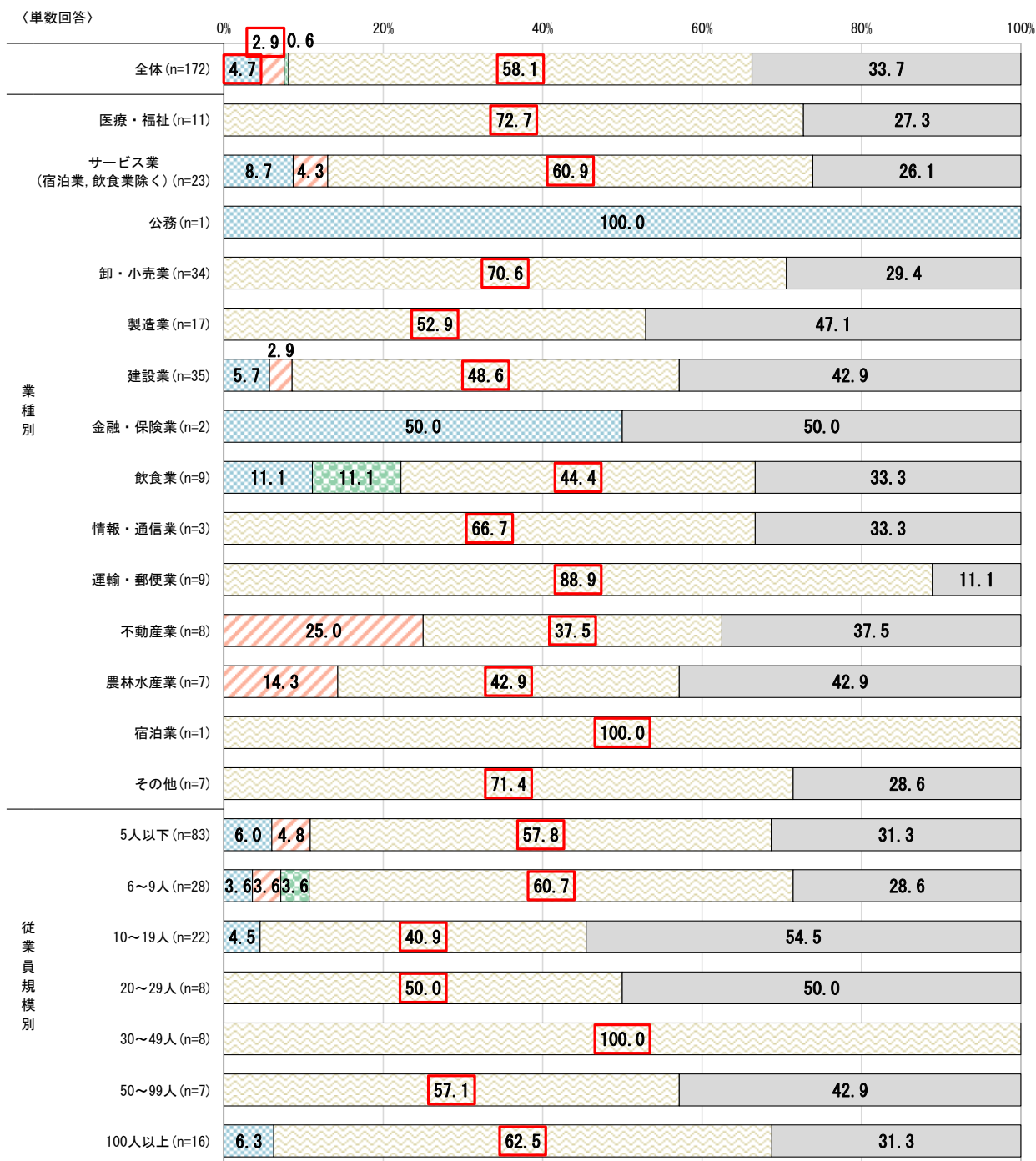
	標本数(人)	必要ないから	手続きが面倒だから	手続きの方法がわからないから	知らなかった	その他	無回答	
全体 (単純集計)	12	2 16.7%	0 0.0%	1 8.3%	9 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	
業種別	医療・福祉	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	サービス業 (宿泊業、飲食業除く)	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	公務	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	卸・小売業	2 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	製造業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	建設業	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	金融・保険業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	飲食業	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	情報・通信業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	運輸・郵便業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	不動産業	2 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	
	農林水産業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	宿泊業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	従業員規模別	5人以下	7 14.3%	1 0.0%	0 0.0%	6 85.7%	0 0.0%	0 0.0%
		6～9人	2 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
10～19人		1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
20～29人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
30～49人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
50～99人		1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
100人以上		1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	

問 24 宇土市新型コロナウイルスに係る消毒事業補助金は、効果があったと思われますか。(いずれか1つに○)

◇全体的にみると「わからない」が58.1%と最も高く、次いで「おおいに効果があった」が4.7%、「多少効果があった」が2.9%となっています。

◇業種別にみると、ほとんどの業種において「わからない」が最も高くなっています。

◇従業員規模別にみると、すべての区分において「わからない」が最も高くなっています。

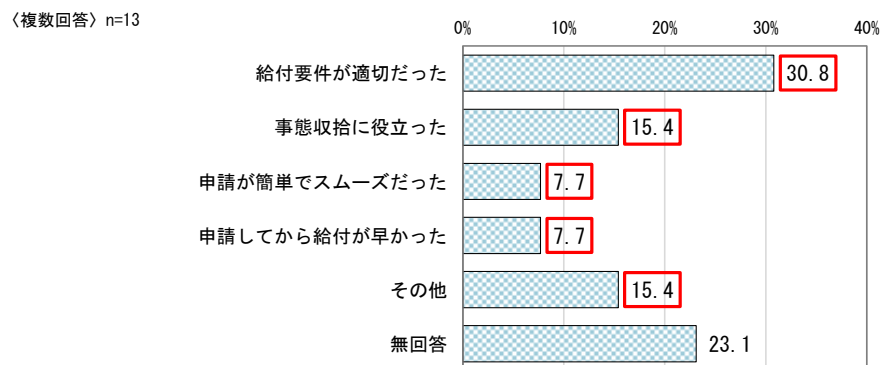


■ おおいに効果があった
 ■ 多少効果があった
 ■ あまり効果がなかった
 ■ 効果がなかった
 ■ わからない
 ■ 無回答

●問 24 で「1. おおいに効果があった」または「2. 多少効果があった」と回答された方のみ

問 25 貴社が、「効果があった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに
○)

◇全体的にみると「給付要件が適切だった」が 30.8%と最も高く、次いで「事態収拾に役立った」、「その他」がともに 15.4%、「申請が簡単でスムーズだった」、「申請してから給付が早かった」がともに 7.7%となっています。



〈その他〉

- ・ 申請した場合助かると思う。
- ・ 補助があり事業としては助かるのでは。

◇業種別で、特に傾向はみられませんでした。

◇従業員規模別にみると、従業員数が5人以下の企業では「給付要件が適切だった」とする割合が他より高くなっています。

(上段：人 下段：%)

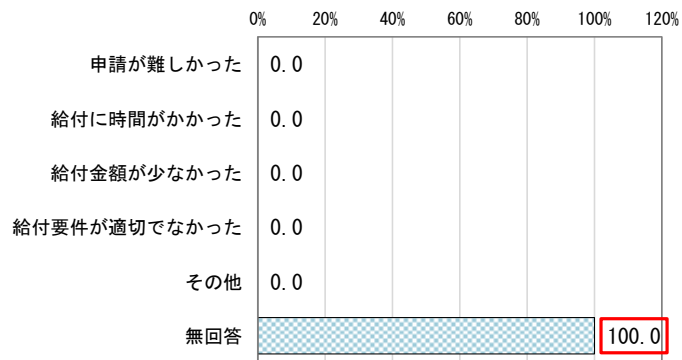
	標本数(人)	申請が簡単でスムーズだった	申請してから給付が早かった	事態収拾に役立った	給付要件が適切だった	その他	無回答
全体 (単純集計)	13	1 7.7%	1 7.7%	2 15.4%	4 30.8%	2 15.4%	3 23.1%
業種別	医療・福祉	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	サービス業 (宿泊業、飲食業除く)	3 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%
	公務	1 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	卸・小売業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	製造業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	建設業	3 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%
	金融・保険業	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	飲食業	1 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	情報・通信業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	運輸・郵便業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不動産業	2 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	農林水産業	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	宿泊業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	従業員規模別	5人以下	9 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%	1 11.1%
6～9人		2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
10～19人		1 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20～29人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30～49人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
50～99人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
100人以上		1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

●問 24 で「3. あまり効果がなかった」または「4. 効果がなかった」と回答された方のみ

問 26 貴社が、「効果がなかった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇すべて無回答となっています。

〈複数回答〉 n=1



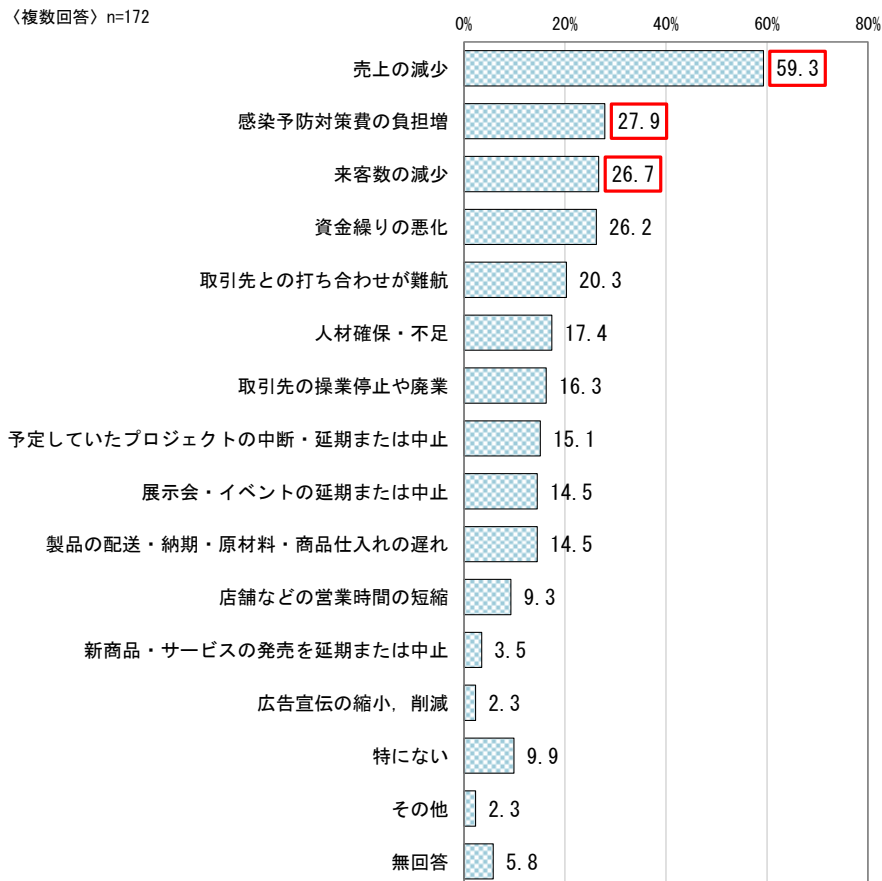
(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	申請が難しかった	給付に時間がかかった	給付金額が少なかった	給付要件が適切でなかった	その他	無回答	
全体 (単純集計)	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	
業種別	医療・福祉	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	サービス業 (宿泊業、飲食業除く)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	公務	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	卸・小売業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	製造業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	建設業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	金融・保険業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	飲食業	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	
	情報・通信業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	運輸・郵便業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	不動産業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	農林水産業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	宿泊業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	従業員規模別	5人以下	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
		6~9人	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
10~19人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
20~29人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
30~49人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
50~99人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
100人以上		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

4 企業経営における困りごとについて（ニーズ調査）

問 27 貴社が自粛期に困っていたことや不安な事はありましたか。（あてはまるものすべてに○）

◇全体的にみると「売上の減少」が 59.3%と最も高く、次いで「感染予防対策費の負担増」が 27.9%、「来客数の減少」が 26.7%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

- ・スタッフの感染への危険感，客離れ
- ・取引先との関係性（感染者等の）
- ・雇用の確保，賃金・賞与のカット

◇業種別にみると、公務、金融・保険業、情報・通信業以外の業種で「売上の減少」が最も高くなっています。また、医療・福祉では「感染予防対策費の負担増」、「人材確保・不足」が同率で最も高くなっています。

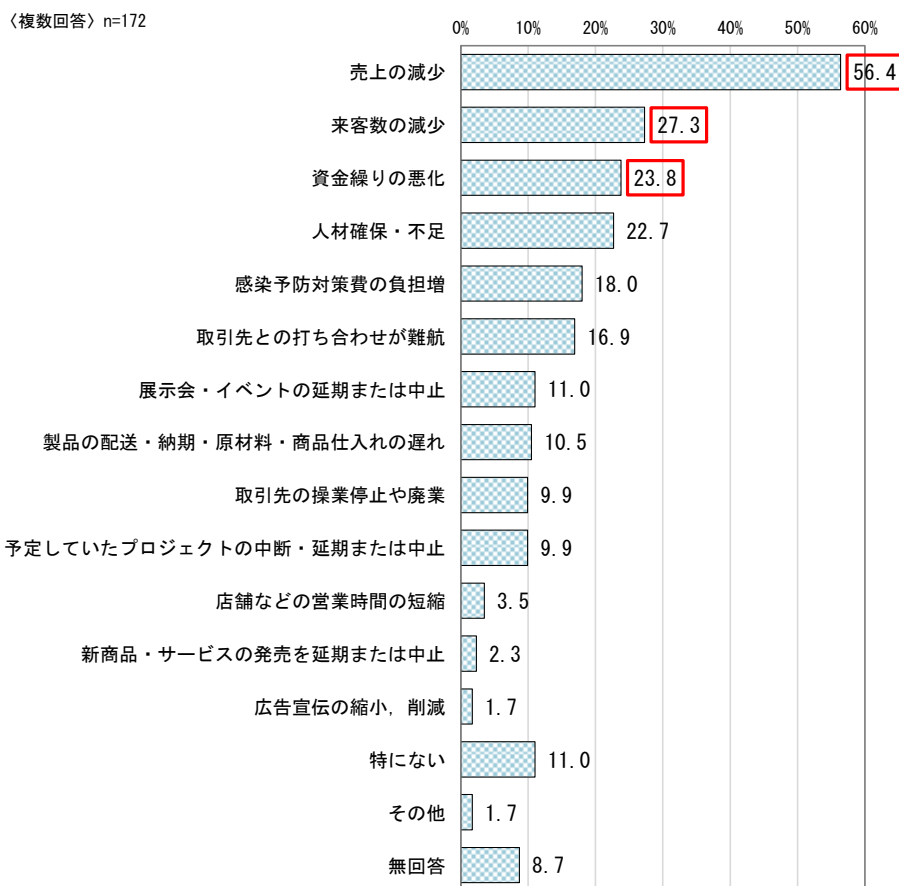
◇従業員規模別にみると、ほとんどの区分において「売上の減少」が最も高くなっています。また、従業員数が30～49人、100人以上の企業では「感染予防対策費の負担増」が同率で最も高くなっています。従業員数が20～29人の企業では「取引先との打ち合わせが難航」が最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

		売上の減少	資金繰りの悪化	来客数の減少	感染予防対策費の負担増	人材確保・不足	取引先との打ち合わせが難航	取引先の操業停止や廃業	断・延期または中止	中止	展示会・イベントの延期または中止	広告宣伝の縮小・削減	新商品・サービスの発売を延期または中止	店舗などの営業時間の短縮	製品の配送・納期・原材料・商品仕入れの遅れ	特になし	その他	無回答	
全体 (単純集計)	172	102 59.3%	45 26.2%	46 26.7%	48 27.9%	30 17.4%	35 20.3%	28 16.3%	26 15.1%	25 14.5%	4 2.3%	6 3.5%	16 9.3%	25 14.5%	17 9.9%	4 2.3%	10 5.8%		
業種別	医療・福祉	11 5 45.5%	1 9.1%	4 36.4%	5 45.5%	5 45.5%	1 9.1%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	
	サービス業 (宿泊業、飲食業除く)	23 14 60.9%	6 26.1%	10 43.5%	8 34.8%	4 17.4%	2 8.7%	0 0.0%	3 13.0%	1 4.3%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	3 13.0%	1 4.3%	1 4.3%	
	公務	1 0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	卸・小売業	34 25 73.5%	11 32.4%	13 38.2%	8 23.5%	5 14.7%	10 29.4%	10 29.4%	6 17.6%	11 32.4%	1 2.9%	1 2.9%	1 2.9%	8 23.5%	10 29.4%	2 5.9%	0 0.0%	1 2.9%	
	製造業	17 13 76.5%	4 23.5%	3 17.6%	6 35.3%	1 5.9%	9 52.9%	4 23.5%	1 5.9%	2 11.8%	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	
	建設業	35 18 51.4%	10 28.6%	7 20.0%	13 37.1%	11 31.4%	7 20.0%	8 22.9%	8 22.9%	3 8.6%	3 8.6%	1 2.9%	1 2.9%	0 0.0%	8 22.9%	2 5.7%	0 0.0%	2 5.7%	
	金融・保険業	2 0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	飲食業	9 9 100.0%	5 55.6%	7 77.8%	5 55.6%	3 33.3%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 44.4%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	
	情報・通信業	3 0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	
	運輸・郵便業	9 4 44.4%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	1 11.1%	
	不動産業	8 3 37.5%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	3 37.5%	0 0.0%	1 12.5%	
	農林水産業	7 5 71.4%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	
	宿泊業	1 1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	その他	7 3 42.9%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	
	従業員規模別	5人以下	83 55 66.3%	25 30.1%	24 28.9%	17 20.5%	13 15.7%	13 15.7%	13 15.7%	13 15.7%	13 15.7%	11 13.3%	2 2.4%	4 4.8%	8 9.6%	11 13.3%	10 12.0%	1 1.2%	4 4.8%
		6～9人	28 15 53.6%	9 32.1%	8 28.6%	9 32.1%	4 14.3%	7 25.0%	5 17.9%	5 17.9%	7 25.0%	1 3.6%	2 7.1%	0 0.0%	6 21.4%	1 3.6%	1 3.6%	1 3.6%	
		10～19人	22 11 50.0%	5 22.7%	7 31.8%	8 36.4%	4 18.2%	4 18.2%	2 9.1%	2 9.1%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	2 9.1%	1 4.5%	1 4.5%	2 9.1%	
20～29人		8 4 50.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	5 62.5%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%		
30～49人		8 3 37.5%	0 0.0%	1 12.5%	3 37.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%		
50～99人		7 5 71.4%	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%	3 42.9%	3 42.9%	3 42.9%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%		
100人以上		16 9 56.3%	3 18.8%	5 31.3%	9 56.3%	4 25.0%	2 12.5%	2 12.5%	2 12.5%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 18.8%	3 18.8%	2 12.5%	1 6.3%		

問 28 貴社が現在困っていることや不安な事がありますか。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「売上の減少」が 56.4%と最も高く、次いで「来客数の減少」が 27.3%、「資金繰りの悪化」が 23.8%となっています。



〈その他〉

- ・雇用の確保, 賃金・賞与のカット。
- ・会員企業の売上げ減少。
- ・スタッフの不安 (感染に対する)。

◇業種別にみると、公務、金融・保険業、情報・通信業、不動産業以外の業種で「売上の減少」が最も高くなっています。また、医療・福祉では「来客数の減少」、「人材確保・不足」が同率で最も高く、飲食業では「来客数の減少」が同率で最も高くなっています。金融・保険業では、「取引先との打ち合わせが難航」が最も高くなっています。

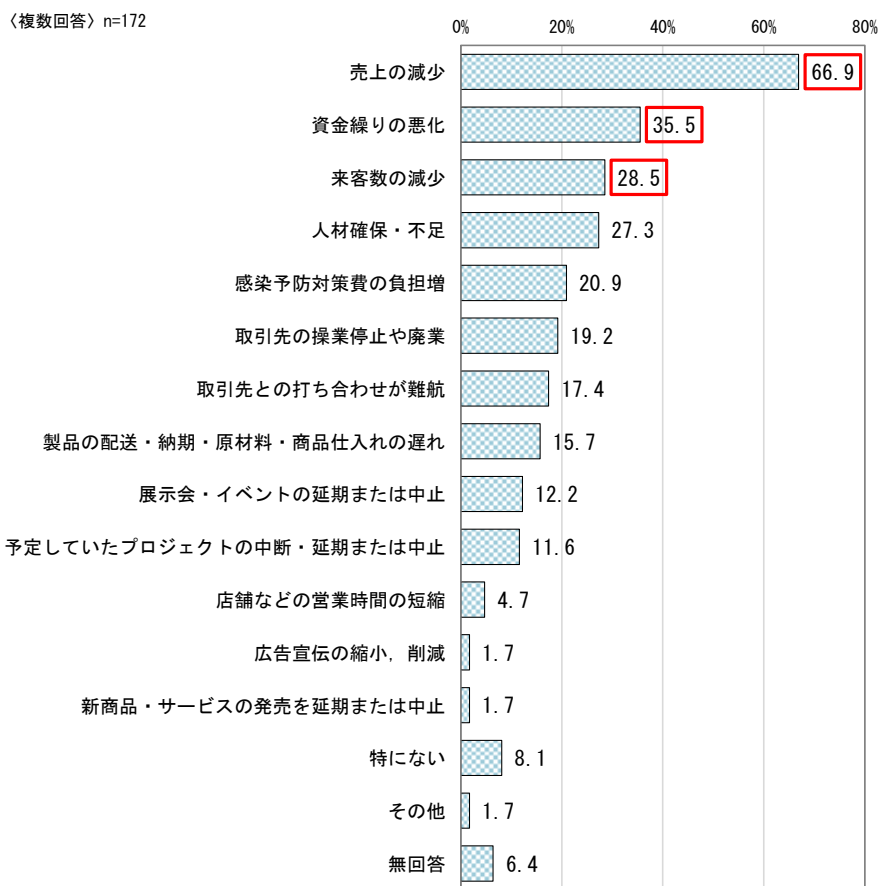
◇従業員規模別にみると、ほとんどの区分において「売上の減少」が最も高くなっています。また、従業員数が20～29人の企業では「取引先との打ち合わせが難航」が同率で最も高くなっています。従業員数が30～49人の企業では「人材確保・不足」が最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

業種別	標本数(人)	売上の減少	資金繰りの悪化	来客数の減少	感染予防対策費の負担増	人材確保・不足	取引先との打ち合わせが難航	取引先の操業停止や廃業	断・延期または中止	展示会・イベントの延期または中止	広告宣伝の縮小・削減	新商品・サービスの発売を延期または中止	店舗などの営業時間の短縮	製品の配送・納期・原材料・商	特にな	その他	無回答
全体(単純集計)	172	97	41	47	31	39	29	17	17	19	3	4	6	18	19	3	15
		56.4%	23.8%	27.3%	18.0%	22.7%	16.9%	9.9%	9.9%	11.0%	1.7%	2.3%	3.5%	10.5%	11.0%	1.7%	8.7%
医療・福祉	11	5	2	5	4	5	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	1
		45.5%	18.2%	45.5%	36.4%	45.5%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	9.1%
サービス業(宿泊業、飲食業除く)	23	14	6	10	5	5	3	0	1	0	1	0	0	0	4	0	1
		60.9%	26.1%	43.5%	21.7%	21.7%	13.0%	0.0%	4.3%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	17.4%	0.0%	4.3%
公務	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
卸・小売業	34	23	8	13	6	6	6	6	4	8	0	1	3	5	2	0	5
		67.6%	23.5%	38.2%	17.6%	17.6%	17.6%	17.6%	11.8%	23.5%	0.0%	2.9%	8.8%	14.7%	5.9%	0.0%	14.7%
製造業	17	13	5	3	3	5	5	2	1	1	0	1	0	2	0	0	0
		76.5%	29.4%	17.6%	17.6%	29.4%	29.4%	11.8%	5.9%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%
建設業	35	17	8	3	9	14	9	4	6	2	1	1	0	6	3	0	1
		48.6%	22.9%	8.6%	25.7%	40.0%	25.7%	11.4%	17.1%	5.7%	2.9%	2.9%	0.0%	17.1%	8.6%	0.0%	2.9%
金融・保険業	2	0	0	1	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
飲食業	9	7	5	7	3	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	1
		77.8%	55.6%	77.8%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%
情報・通信業	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
運輸・郵便業	9	4	2	0	0	1	1	0	2	1	0	1	0	1	2	1	0
		44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%
不動産業	8	3	2	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	4	0	1
		37.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	50.0%	0.0%	12.5%
農林水産業	7	5	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1
		71.4%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
宿泊業	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	7	3	2	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1
		42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%
従業員規模別																	
5人以下	83	53	22	24	12	12	10	10	7	9	1	3	2	9	13	0	6
		63.9%	26.5%	28.9%	14.5%	14.5%	12.0%	12.0%	8.4%	10.8%	1.2%	3.6%	2.4%	10.8%	15.7%	0.0%	7.2%
6～9人	28	14	7	8	4	7	6	2	3	5	1	1	0	4	0	1	3
		50.0%	25.0%	28.6%	14.3%	25.0%	21.4%	7.1%	10.7%	17.9%	3.6%	3.6%	0.0%	14.3%	0.0%	3.6%	10.7%
10～19人	22	11	6	7	4	7	2	0	1	2	1	0	1	1	1	0	3
		50.0%	27.3%	31.8%	18.2%	31.8%	9.1%	0.0%	4.5%	9.1%	4.5%	0.0%	4.5%	4.5%	4.5%	0.0%	13.6%
20～29人	8	4	2	0	0	2	4	1	2	1	0	0	1	1	2	0	0
		50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%
30～49人	8	2	1	0	1	3	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1
		25.0%	12.5%	0.0%	12.5%	37.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%
50～99人	7	5	0	2	3	4	3	2	2	1	0	0	2	1	0	0	0
		71.4%	0.0%	28.6%	42.9%	57.1%	42.9%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
100人以上	16	8	3	6	7	4	3	1	1	1	0	0	0	2	2	1	2
		50.0%	18.8%	37.5%	43.8%	25.0%	18.8%	6.3%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	6.3%	12.5%

問 29 貴社が今後困ることや不安な事がありますか。(あてはまるものすべてに○)

◇全体的にみると「売上の減少」が 66.9%と最も高く、次いで「資金繰りの悪化」が 35.5%、「来客数の減少」が 28.5%となっています。



〈その他〉

- ・雇用の確保, 賃金・賞与のカット。
- ・会員企業の売り上げ減少。
- ・再開日の決定。

◇業種別にみると、医療・福祉、公務、金融・保険業、情報・通信業、不動産業以外の業種で「売上の減少」が最も高くなっています。また、飲食業では「来客数の減少」が同率で最も高くなっています。医療・福祉では「人材確保・不足」が最も高くなっています。

◇従業員規模別にみると、全ての区分において「売上の減少」が最も高くなっています。また、従業員数が20～29人の企業では「取引先との打ち合わせが難航」が同率で最も高くなっています。従業員数が30～49人の企業では「資金繰りの悪化」が同率で最も高くなっています。

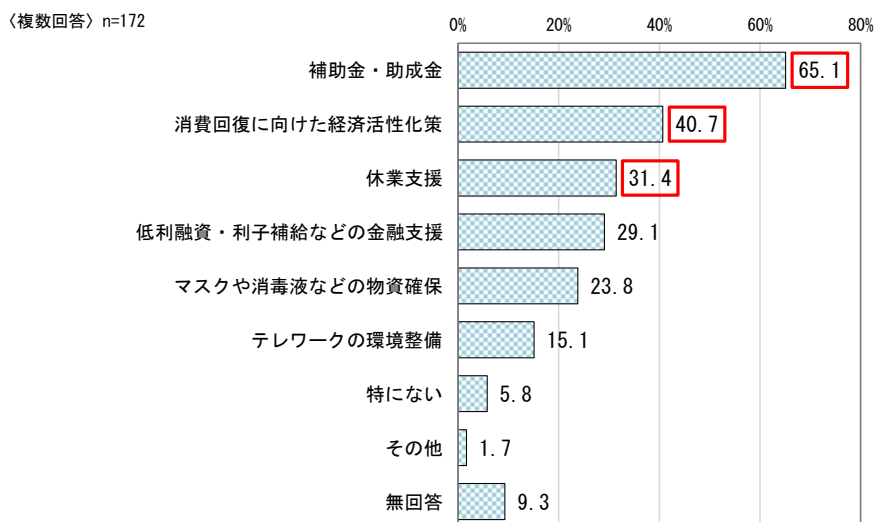
(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	売上の減少	資金繰りの悪化	来客数の減少	感染予防対策費の負担増	人材確保・不足	取引先との打ち合わせが難航	取引先の操業停止や廃業	断・延期または中止 予定していたプロジェクトの中	中止 展示会・イベントの延期または	広告宣伝の縮小・削減	新商品・サービスの発売を延期 または中止	店舗などの営業時間の短縮	製品の配送・納期・原材料・商 品仕入れの遅れ	特になし	その他	無回答
全体 (単純集計)	172	115 66.9%	61 35.5%	49 28.5%	36 20.9%	47 27.3%	30 17.4%	33 19.2%	20 11.6%	21 12.2%	3 1.7%	3 1.7%	8 4.7%	27 15.7%	14 8.1%	3 1.7%	11 6.4%
医療・福祉	11	5 45.5%	3 27.3%	5 45.5%	5 45.5%	7 63.6%	0 0.0%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%
サービス業 (宿泊業、飲食業除く)	23	17 73.9%	7 30.4%	12 52.2%	7 30.4%	5 21.7%	2 8.7%	1 4.3%	1 4.3%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	3 13.0%	0 0.0%	1 4.3%
公務	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
卸・小売業	34	26 76.5%	11 32.4%	13 38.2%	5 14.7%	5 14.7%	6 17.6%	9 26.5%	5 14.7%	9 26.5%	0 0.0%	1 2.9%	5 14.7%	8 23.5%	2 5.9%	0 0.0%	3 8.8%
製造業	17	14 82.4%	9 52.9%	3 17.6%	3 17.6%	6 35.3%	7 41.2%	4 23.5%	1 5.9%	3 17.6%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	3 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
建設業	35	23 65.7%	15 42.9%	2 5.7%	9 25.7%	17 48.6%	7 20.0%	9 25.7%	5 14.3%	1 2.9%	1 2.9%	1 2.9%	0 0.0%	10 28.6%	2 5.7%	0 0.0%	0 0.0%
金融・保険業	2	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
飲食業	9	7 77.8%	5 55.6%	7 77.8%	4 44.4%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%
情報・通信業	3	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
運輸・郵便業	9	6 66.7%	3 33.3%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%
不動産業	8	3 37.5%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	4 50.0%	0 0.0%	1 12.5%
農林水産業	7	6 85.7%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	2 28.6%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%
宿泊業	1	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	7	4 57.1%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
従業員規模別																	
5人以下	83	61 73.5%	30 36.1%	25 30.1%	14 16.9%	16 19.3%	10 12.0%	18 21.7%	12 14.5%	9 10.8%	1 1.2%	2 2.4%	1 1.2%	10 12.0%	9 10.8%	0 0.0%	5 6.0%
6～9人	28	18 64.3%	10 35.7%	8 28.6%	7 25.0%	9 32.1%	5 17.9%	5 17.9%	2 7.1%	4 14.3%	1 3.6%	1 3.6%	0 0.0%	7 25.0%	0 0.0%	1 3.6%	2 7.1%
10～19人	22	14 63.6%	8 36.4%	6 27.3%	5 22.7%	9 40.9%	5 22.7%	2 9.1%	2 9.1%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%
20～29人	8	5 62.5%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	5 62.5%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
30～49人	8	3 37.5%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%
50～99人	7	5 71.4%	3 42.9%	2 28.6%	3 42.9%	4 57.1%	2 28.6%	3 42.9%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
100人以上	16	9 56.3%	4 25.0%	8 50.0%	7 43.8%	5 31.3%	2 12.5%	2 12.5%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	3 18.8%	2 12.5%	1 6.3%	2 12.5%

5 感染予防や新たな生活様式などに関する意見やアイデア等

問 30 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、事業継続のためにどのようなこと（支援など）が必要ですか。（あてはまるものすべてに○）

◇全体的にみると「補助金・助成金」が 65.1%と最も高く、次いで「消費回復に向けた経済活性化策」が 40.7%、「休業支援」が 31.4%となっています。



〈その他〉※一部抜粋

・ワクチン

◇業種別にみると、医療・福祉では「マスクや消毒液などの物資確保」が最も高く、それ以外の業種では「補助金・助成金」が最も高くなっています。

◇従業員規模別にみると、全ての区分において「補助金・助成金」が最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

		補助金・助成金	支低利融資・利子補給などの金融	休業支援	テレワークの環境整備	消費回復に向けた経済活性化策	マスクや消毒液などの物資確保	特にない	その他	無回答	
全体 (単純集計)		112 65.1%	50 29.1%	54 31.4%	26 15.1%	70 40.7%	41 23.8%	10 5.8%	3 1.7%	16 9.3%	
業種別	医療・福祉	11 54.5%	3 27.3%	4 36.4%	1 9.1%	5 45.5%	7 63.6%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	
	サービス業 (宿泊業、飲食業除く)	23 60.9%	8 34.8%	6 26.1%	4 17.4%	11 47.8%	5 21.7%	2 8.7%	0 0.0%	1 4.3%	
	公務	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	卸・小売業	34 58.8%	9 26.5%	10 29.4%	5 14.7%	15 44.1%	6 17.6%	1 2.9%	0 0.0%	4 11.8%	
	製造業	17 76.5%	3 17.6%	4 23.5%	3 17.6%	6 35.3%	5 29.4%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	
	建設業	35 82.9%	16 45.7%	15 42.9%	6 17.1%	11 31.4%	10 28.6%	2 5.7%	0 0.0%	3 8.6%	
	金融・保険業	2 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	飲食業	9 77.8%	1 11.1%	6 66.7%	1 11.1%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	
	情報・通信業	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	
	運輸・郵便業	9 66.7%	1 11.1%	3 33.3%	2 22.2%	5 55.6%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	
	不動産業	8 50.0%	2 25.0%	1 12.5%	2 25.0%	3 37.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 37.5%	
	農林水産業	7 71.4%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	
	宿泊業	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	その他	7 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	
	従業員規模別	5人以下	83 63.9%	25 30.1%	23 27.7%	9 10.8%	34 41.0%	12 14.5%	6 7.2%	2 2.4%	8 9.6%
		6～9人	28 67.9%	7 25.0%	9 32.1%	4 14.3%	7 25.0%	9 32.1%	0 0.0%	0 0.0%	5 17.9%
10～19人		22 72.7%	11 50.0%	8 36.4%	3 13.6%	11 50.0%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	
20～29人		8 62.5%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%	3 37.5%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	
30～49人		8 62.5%	2 25.0%	2 25.0%	3 37.5%	4 50.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
50～99人		7 85.7%	0 0.0%	4 57.1%	1 14.3%	4 57.1%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
100人以上		16 50.0%	3 18.8%	6 37.5%	5 31.3%	7 43.8%	7 43.8%	2 12.5%	1 6.3%	2 12.5%	

問 31 感染予防や新たな生活様式などに関する意見やアイデア等, ご自由にご記入ください。(自由記述) ※一部抜粋

◆少し前までは人手不足でしたが今は夜が人手過多になっています。でも頑張っておられる従業員さん達の為に時間(労働時間)を考えて, 皆で助け合っていこうと話合っています。クラウドファンディング募金も詳しく調べようと思います。

◆コロナ禍が少し落ち着いたなら, 市の賑わいを取り戻すために PR 強化をお願いしたい。

◆まず各人の自覚。それに対する宇土市の繰り返しの通達(詳細に)の徹底。

◆経営者が濃厚接触者となった場合の自宅待機期間などの補償をしてもらえると大変助かります。

◆全ての商売で「入場制限」や「予約制」を導入し, お客様同士の接触を極力減らすような働きかけが必要ではないかと思います。そのための費用の補助などがセットで行う必要はあると思います。

◆一律給付金がほしい。

◆宇土市に店舗を持っている事業者限定で, 宇土市のスーパーの店内に無料で出店できるようにする。

◆企業を呼びこむ政策を至急お願いします。

◆空気清浄機に対する補助金等。

◆経済支援の地域振興券等については, 利用できる時間帯を限定した物を複数種用意してはどうか(消費者の行動分散を図る)。

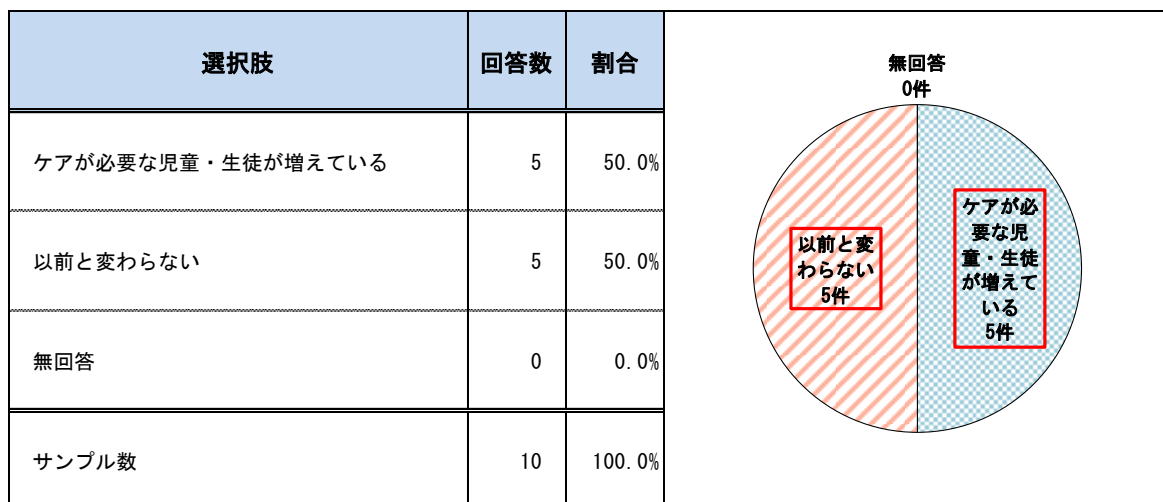
◆◆新型コロナウイルスに伴い, 販売業及びその他の業種について, 今後の時代にあった事業形態についてのアドバイスがほしいので, コンサル等または事例などの話ができる専門家のリモートワークでの話ができる場を考えてほしい。

V 学校向け調査

1 児童・生徒の状況について

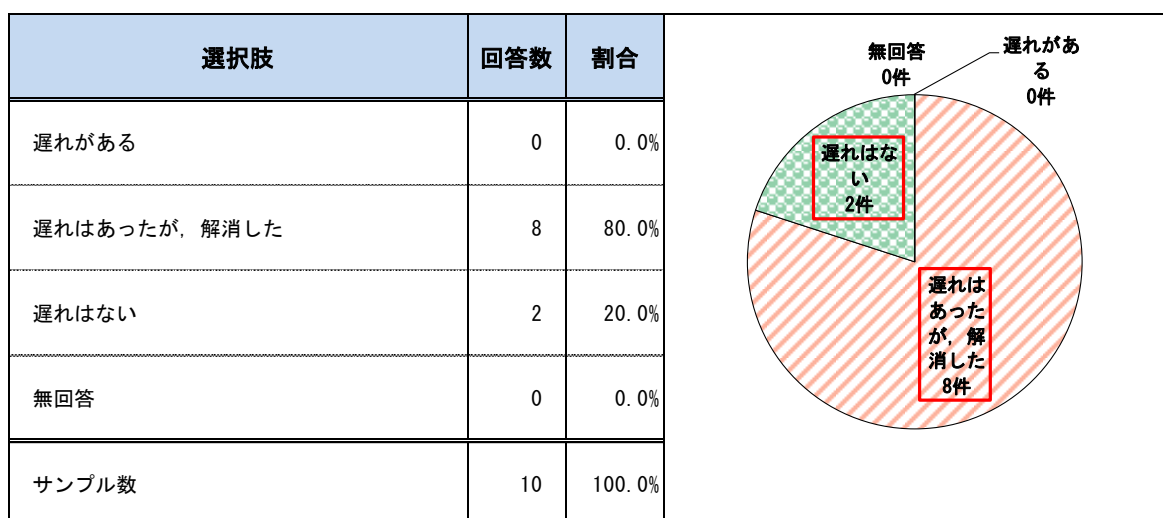
問4 新型コロナウイルス感染症の発生前との変化についてお答えください。

◇「ケアが必要な児童・生徒が増えている」が5件、「以前と変わらない」が5件となっています。



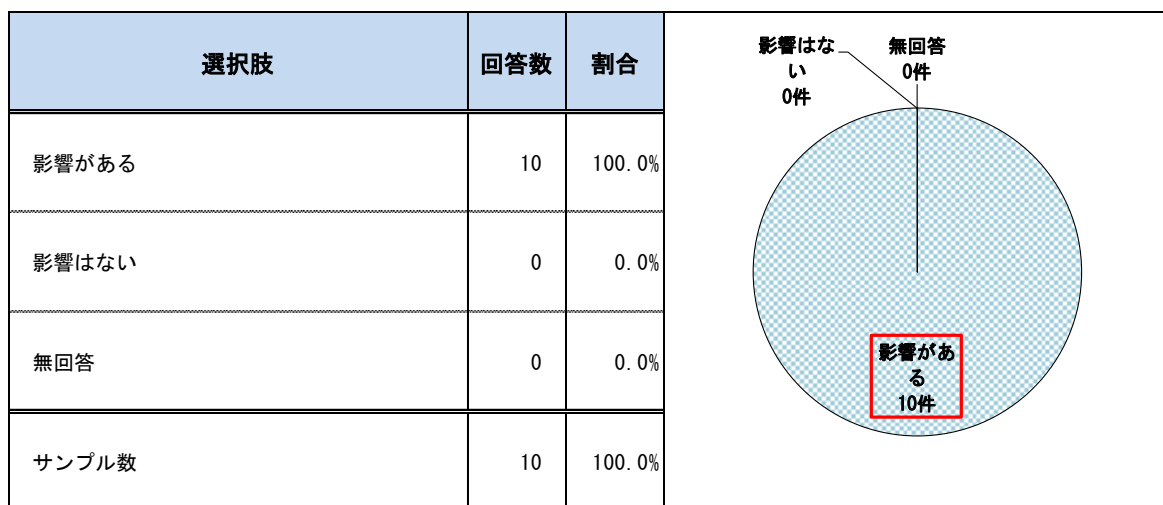
問5 休校に伴う学習の遅れについてお答えください。

◇「遅れはあったが、解消した」が8件と最も高く、次いで「遅れはない」が2件となっています。



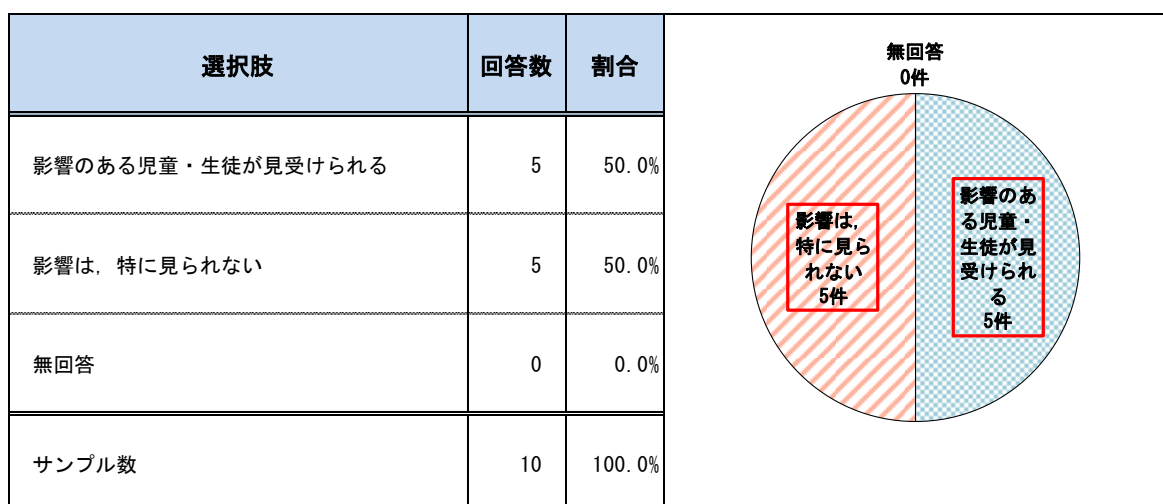
問6 学校行事の中止についてお答えください。

◇すべての方が「影響がある」と回答しています。



問7 保護者の就労状況の変化による影響についてお答えください。

◇「影響のある児童・生徒が見受けられる」、「影響は、特に見られない」がともに5件となっています。



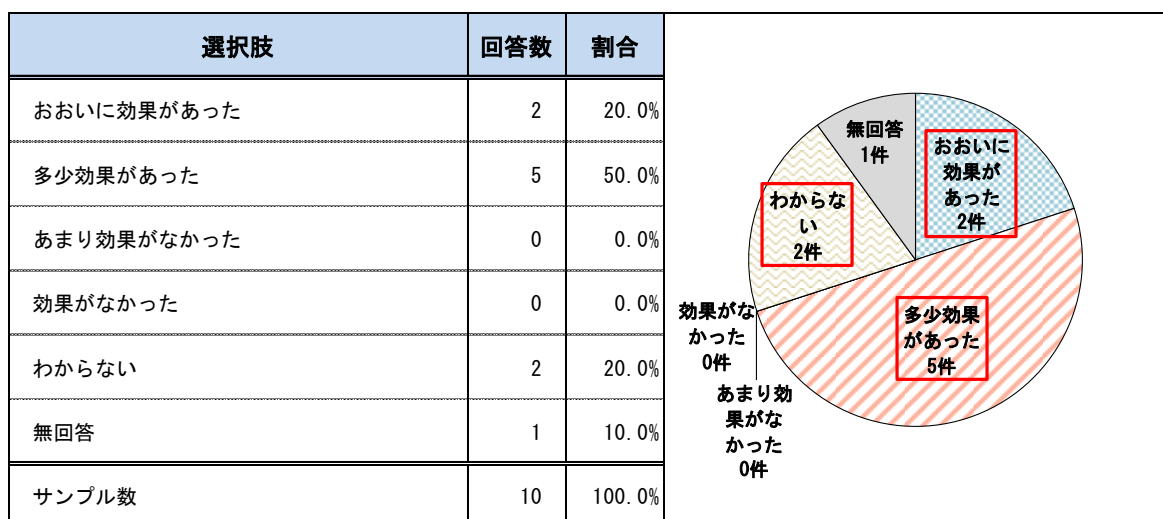
2 国の交付金を活用した市の取り組みについて

(1) 感染拡大の防止のための事業

①遠隔・オンライン学習の環境整備, GIGA スクール構想への支援事業についてお伺いします。

問8 市では、生徒や指導者用のコンピュータ、デジタル教科書用学習用サーバの購入、GIGA スクールサポーターを配置し、ICT を活用した学習環境の充実を図っていますが、効果があったと思われませんか。(いずれか1つに○)

◇「多少効果があった」が5件と最も高く、次いで「おおいに効果があった」、「わからない」がともに2件となっています。



●問8で「1. おおいに効果があった」または「2. 多少効果があった」と回答された方のみ

問9 「効果があった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇「ICT教育の推進へもつながるから」が7件と最も高く、次いで「必要な学習環境が整備されたから」が4件となっています。

選択肢	回答数	割合	(件)
ICT教育の推進へもつながるから	7	100.0%	7
必要な学習環境が整備されたから	4	57.1%	4
その他	0	0.0%	0
無回答	0	0.0%	0
サンプル数	7	100.0%	

●問8で「3. あまり効果がなかった」または「4. 効果がなかった」と回答された方のみ

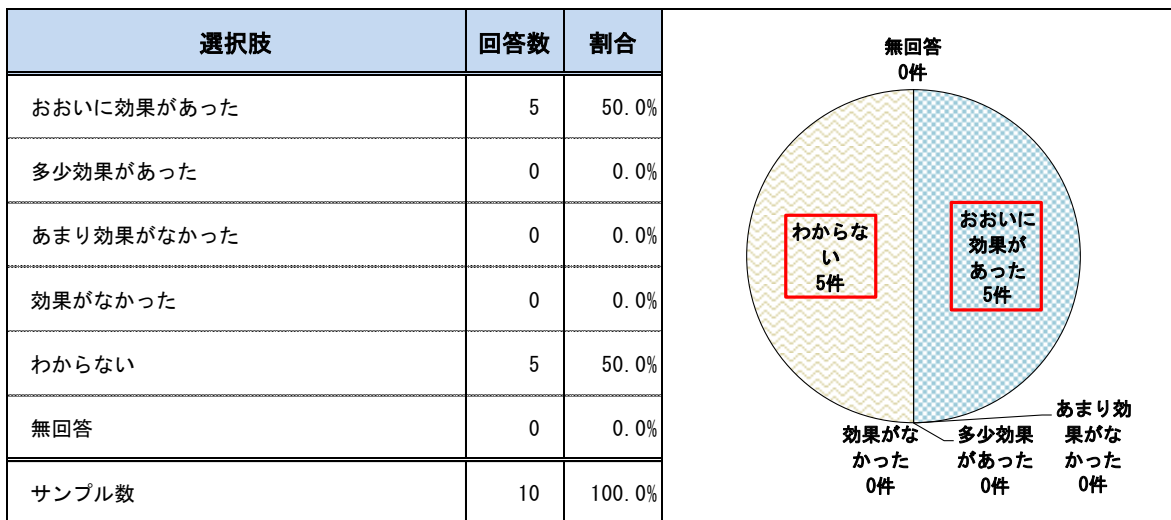
問10 「効果がなかった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇回答対象者はいませんでした。

②教育支援体制整備事業費補助金（補習のための指導員等派遣事業）についてお伺いします。

問 11 市では、児童生徒の学びの保障のため、臨時休業による未指導分の回復措置期間【夏季（7月22日～23日、8月17日～28日／冬季12月25日／1月6日～7日）】に、本来配置できなかった学習支援員(市会計年度任用職員)について、交付金を活用し、小中学校に追加配置を行っていますが、効果があったと思われませんか。
 (いずれか1つに○)

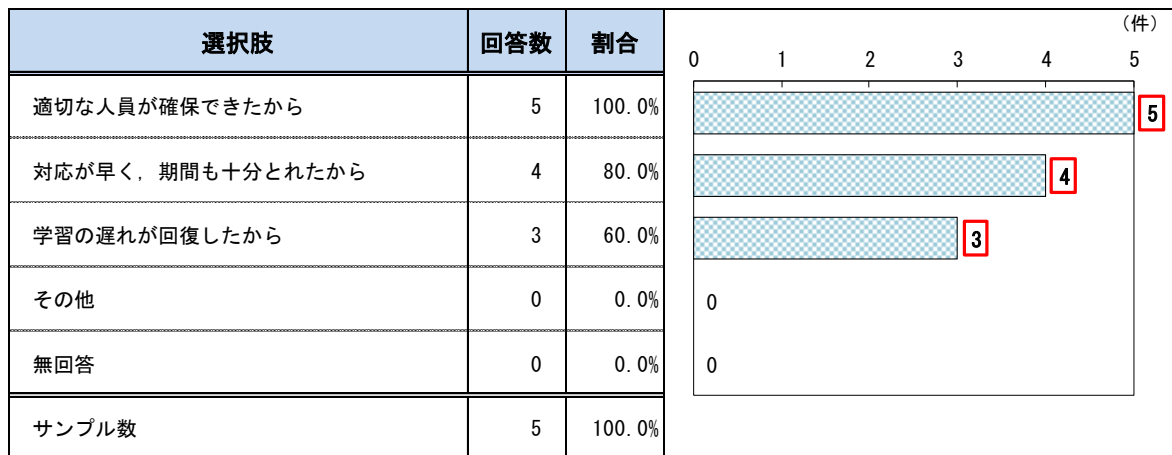
◇「おおいに効果があった」、 「わからない」 がともに5件となっています。



●問 11 で「1. おおいに効果があった」または「2. 多少効果があった」と回答された方のみ

問 12 「効果があった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇「適切な人員が確保できたから」が 5 件と最も高く、次いで「対応が早く、期間も十分とれたから」が 4 件、「学習の遅れが回復したから」が 3 件となっています。



●問 11 で「3. あまり効果がなかった」または「4. 効果がなかった」と回答された方のみ

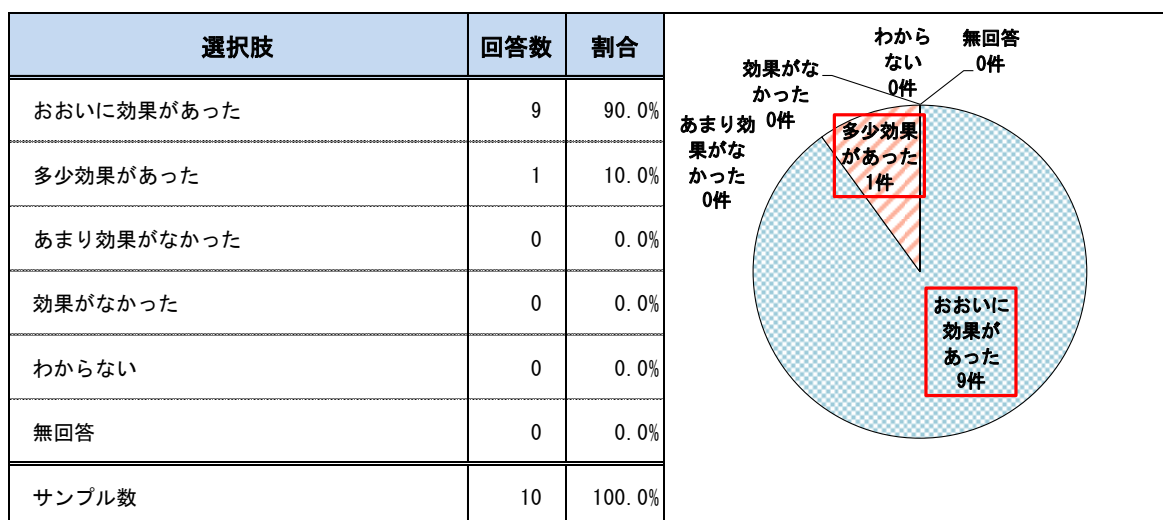
問 13 「効果がなかった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇回答対象者はいませんでした。

③学校保健特別対策事業費補助金についてお伺いします。

問 14 市では、フェースシールドや消毒液、非接触型検温器等の新型コロナウイルス感染症対策用品の購入や児童生徒の学びの保障のための体制整備の予算を学校に配分することにより、安心して児童生徒が学習できる体制を整えています。効果があったと思われますか。(いずれか1つに○)

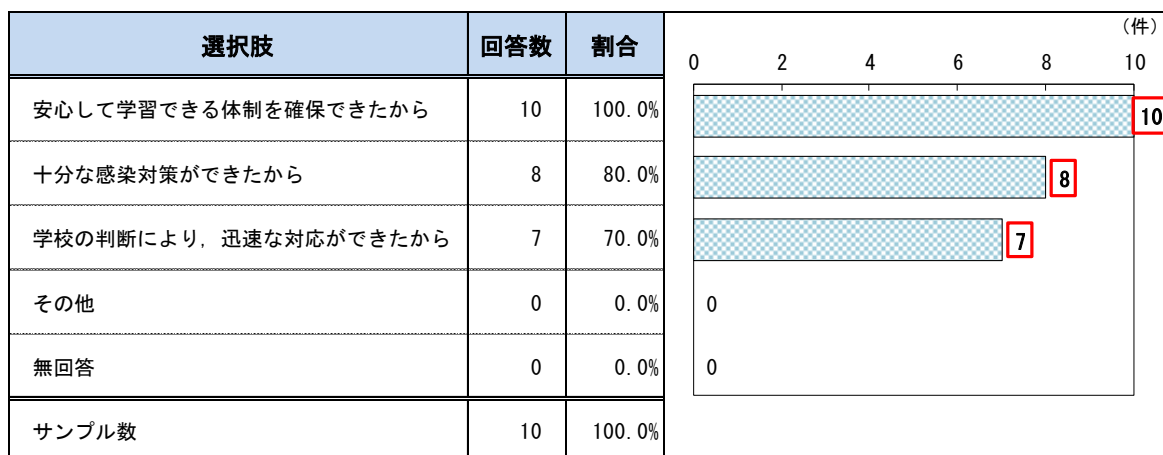
◇「おおいに効果があった」が9件と最も高く、次いで「多少効果があった」が1件となっています。



●問 14 で「1. おおいに効果があった」または「2. 多少効果があった」と回答された方のみ

問 15 「効果があった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇「安心して学習できる体制を確保できたから」が 10 件と最も高く、次いで「十分な感染対策ができたから」が 8 件、「学校の判断により、迅速な対応ができたから」が 7 件となっています。



●問 14 で「3. あまり効果がなかった」または「4. 効果がなかった」と回答された方のみ

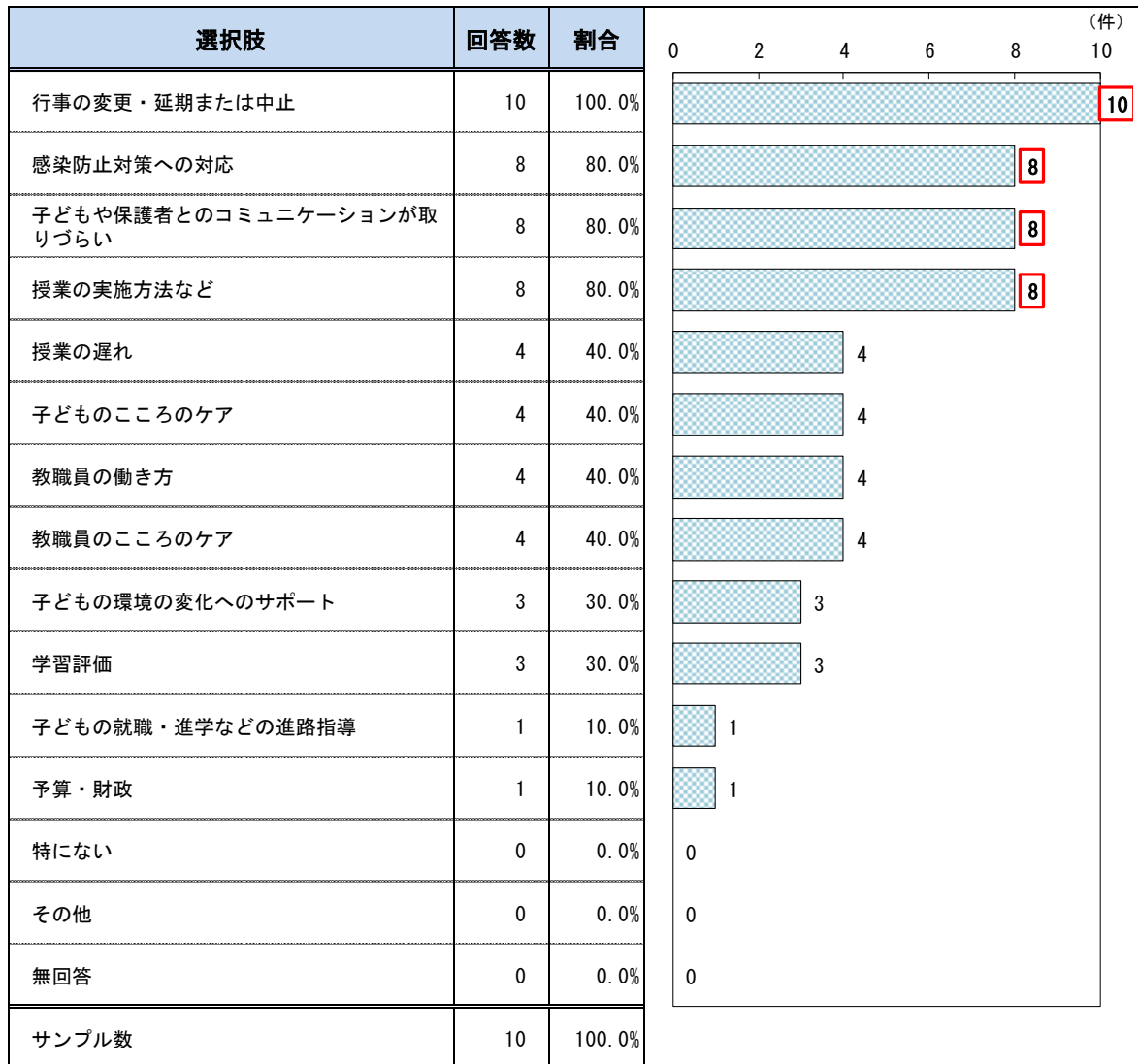
問 16 「効果がなかった」と思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◇回答対象者はいませんでした。

3 学校における困りごとについて（ニーズ調査）

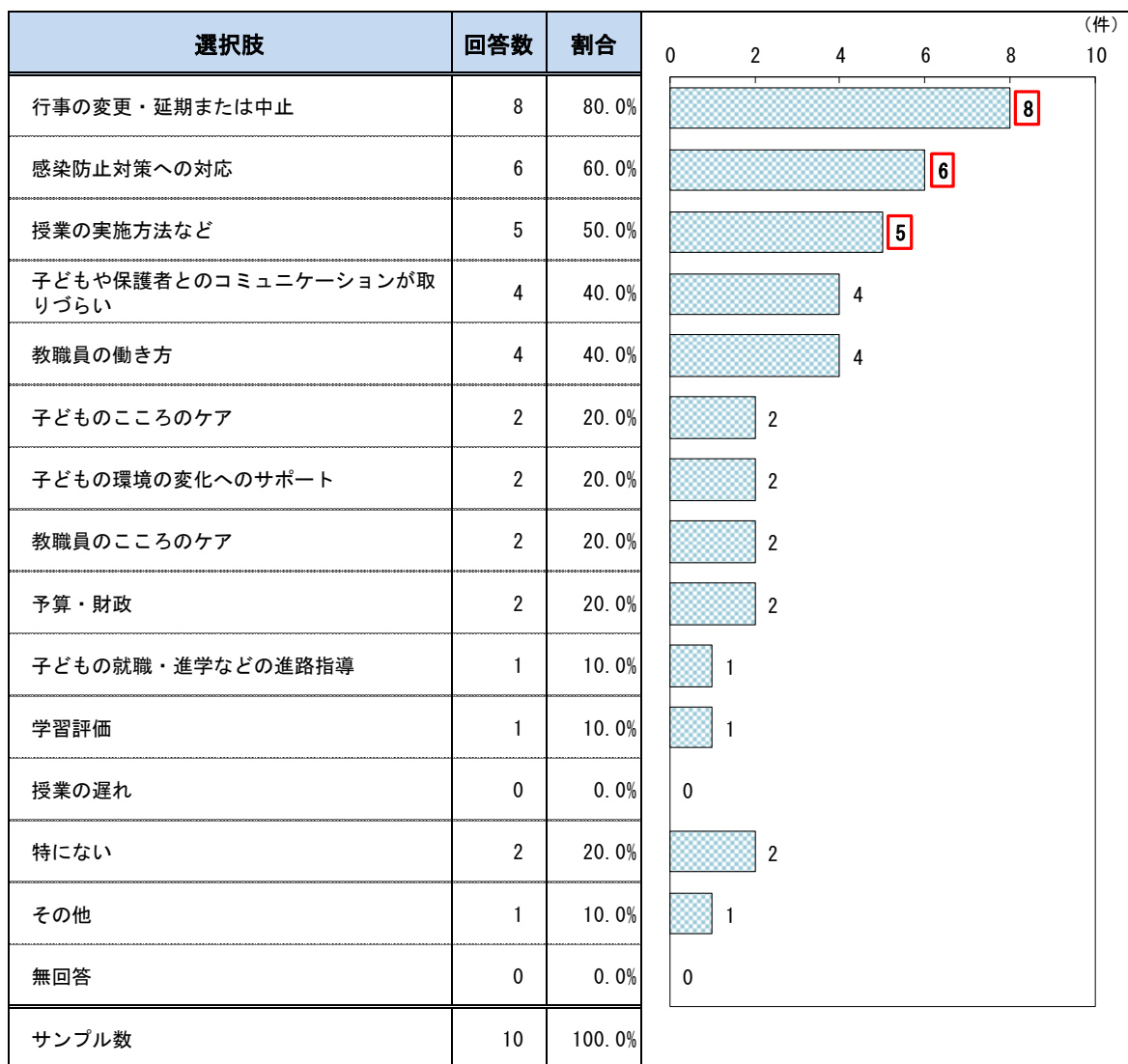
問 17 自粛期に困っていたことや不安な事がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

◇「行事の変更・延期または中止」が 10 件と最も高く、次いで「感染防止対策への対応」、
「子どもや保護者とのコミュニケーションが取りづらい」、
「授業の実施方法など」がともに 8 件となっています。



問 18 現在困っていることや不安な事がありますか。(あてはまるものすべてに○)

◇「行事の変更・延期または中止」が 8 件と最も高く、次いで「感染防止対策への対応」が 6 件、「授業の実施方法など」が 5 件となっています。

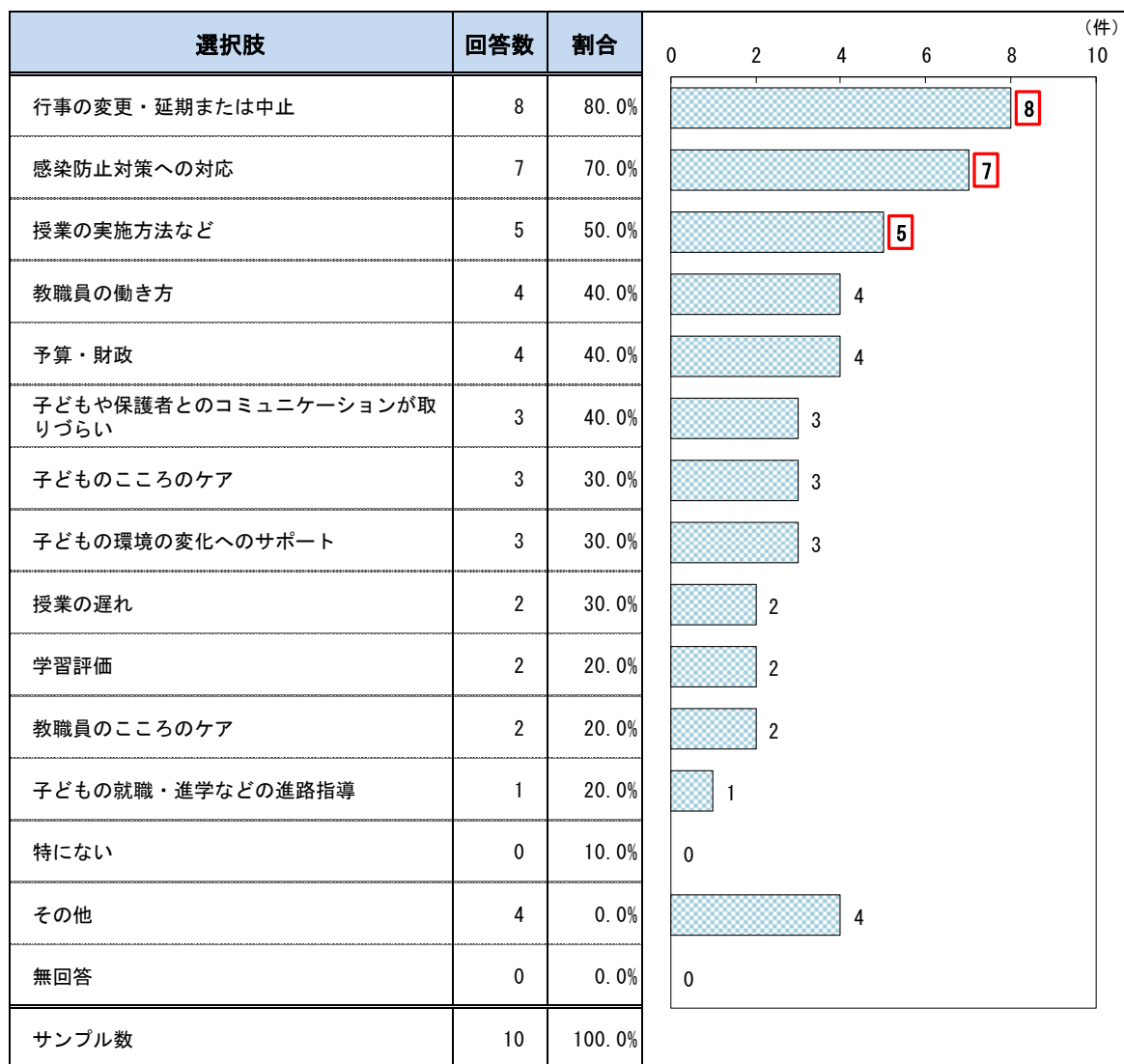


〈その他〉

- ・次年度の行事等計画がしっかりと立てられない。

問 19 今後困ることや不安な事がありますか。(あてはまるものすべてに○)

◇「行事の変更・延期または中止」が 8 件と最も高く、次いで「感染防止対策への対応」が 7 件、「授業の実施方法など」が 5 件となっています。



〈その他〉

- ・感染者が出た場合の対応
- ・地域人材の活用
- ・次年度の諸々の計画立案に際し、どこまで回復できているかに応じ、考えが変わってしまう
- ・行事計画、全校集会等のとり方、異学年・異学校との交流、就学前連携、小中連携の取組 等

4 感染予防や新たな生活様式などに関する意見やアイデア等

問 20 感染予防や新たな生活様式などに関する意見やアイデア等,ご自由にご記入ください。

(自由記述) ※一部抜粋

- ◇新型コロナウイルス感染防止のためには何より校舎内の消毒の徹底が必要であり,教職員への負担が大きかったが,スクールサポートスタッフの導入により,大変助かった。来年度も必要に思う。
- ◇現在,県からスクールサポート・スタッフの任用をいただき,毎日施設の消毒を中心に行っていただくことができ,大変助かっています。いらっしゃらないと,職員が児童の下校後の時間に消毒をして回ることになり,授業の準備,整理等の時間が不足してしまいます。
- ◇ICT 導入に伴いリモート会議が可能になった事で,一堂に会して集まる形式ではない形で,市関連の行事を実施する。
- ◇始終業式での集会を極力避けるため,2 学期制を導入することにより,集まる機会を減らす。
- ◇運動会は半日で実施しコロナウイルス感染拡大防止のため人数制限を行う。
- ◇ICT の環境整備により,リモートによる授業参観の実施。
- ◇消毒作業業務の関係業者への完全委託。
- ◇保護者向けアンケート回収等のデジタル化(紙媒体を扱う事による感染リスク回避)
- ◇学校 HP に「コロナ関連情報」のボタンをつけて,各学校の情報を発信する。
- ◇危機管理や感染予防のためにも,各教室等をつなぐインターホンの設置が必要である。
- ◇配備いただいたタブレット等を効果的に活用するためには,大画面のモニターが必要不可欠である。
- ◇本校では毎日教室や体育館,運動場の消毒を行うための消毒液を精製する機械があり助かっていますが,それが無ければかなり大変だと思います。Zoom を使った集会や交流会,研究発表会に取り組んでいます。
- ◇同じ宇土市内でも,地域の環境や実態は様々であり,難しい判断にはなるが,一律にというのも,考えようでは違いが生じてあたりまえというふうに思う。

宇土市 新型コロナ対策二一ズ調査
【調査結果報告書】

令和3年3月

発行 宇土市 企画部 企画課

〒869-0492 熊本県宇土市浦田町51

TEL:0964-22-1111
